

平成30（2018）年度
新宿区立図書館サービス計画
の事業実績評価

令和元年9月
新宿区立図書館

目次

I	サービス計画の事業実績評価の考え方	1
II	評価	2
	(1)新宿区立図書館基本方針	2
	(2)全館共通取組み事項	4
	① 夏目漱石関連事業	4
	② 東京2020オリンピック・パラリンピック	11
	(3)数値目標	18
	(4)事業管理サイクル	22
	(5)各図書館のサービス計画	23
III	次年度サービス計画の対応	34
IV	自己評価（詳細）	35

I. サービス計画の事業実績評価の考え方

1 サービス計画の事業実績評価のねらい

平成20年6月の図書館法の大幅な改正と、これを踏まえた「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の改正により、各年度の事業計画、運営状況の点検・評価及び、これらの公表などが規定された。この趣旨を踏まえて平成30年度に実施した事業実績の評価を行い、サービス向上につなげていく。

2 評価対象

平成30年度に実施した事業実績

3 評価の方法

(1) 新宿区立図書館基本方針

新宿区立図書館基本方針の達成にどれだけ貢献・寄与したか、区立図書館を総合的に分析する。

(2) 共通取組み事項

当初計画した共通取組み事項に対し、事業内容等、報告する。

(3) 数値目標

区内在住者の利用登録率、区内在住者の新規登録者数、貸出点数、来館者数、レファレンス満足度、子どもへの貸出点数、ホームページアクセス数の7点について、分析する。

(4) 事業管理サイクル

事業管理サイクルについて、計画通り行われたか、分析する。

(5) 各図書館のサービス計画

共通取組み事項及び、基本方針に掲げる6つの取組みについて、各図書館で自己評価する。評価基準は、下記のとおり。

- | | |
|--------|--|
| 4 優良 | サービス計画で求められる水準を超えて良好であり、かつ、〇〇の点で特に評価できる。 |
| 3 良 | サービス計画で求められる水準を超えて良好である。 |
| 2 適当 | サービス計画で求められる水準を満たしている。 |
| 1 課題あり | サービス計画で求められる水準を満たしておらず、改善を要する。 |

4 評価の手順

- ① 各館で実績を記載し、前記の評価基準に基づき、自己評価を行う。(P35~55)
- ② 中央図書館は、①の自己評価に基づき点検、調整したうえで各図書館のサービス計画の評価を行う。(P24~33) (調整した場合は、①の欄外に「*」を記載)
- ③ 図書館運営協議会に報告し、意見等を徴収する。
- ④ ③の意見を反映させ、中央図書館で再度点検し、新宿区立図書館サービス計画の事業実績評価とする。

II 評価

(1) 新宿区立図書館基本方針



【基本方針（6つの方針）と項目番号】

I. 区民に伝える図書館

- 1 資料の充実
- 2 地域資料の充実
- 3 電子資料等の活用
- 4 行政資料の充実
- 5 他自治体等との連携

II. 区民を支える図書館

- 6 区民の課題解決支援
- 7 利用者にわかりやすく役立つサービスの提供
- 8 外国人・障害者・高齢者に対する支援
- 9 区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援
- 10 博物館・大学等との連携
- 11 行政支援

III. 区民が集う図書館

- 12 魅力あるイベントの実施
- 13 多様な学習機会の提供
- 14 情報の生産・発信・交流の支援
- 15 区民との協働

IV. 子どもの成長を応援する図書館

- 16 「新宿区子ども読書活動推進計画」
- 17 読書環境の充実
- 18 読書活動への支援
- 19 区立図書館の利用促進
- 20 学校等との連携
- 21 絵本でふれあう子育て支援

V. ICTの利活用の推進

- 22 図書館情報システムの充実
- 23 ホームページの充実
- 24 ICTのさらなる活用

VI. 図書館環境の整備

- 25 新中央図書館建設と地域図書館の配置
- 26 身近な場所の読書環境の整備
- 27 運営体制の充実
- 28 利用満足度の高い図書館運営
- 29 人材の育成・活用
- 30 利用者の快適な環境づくり

◇新宿区立図書館基本方針（6つの方針）からみた事業達成状況

30年度の総括	<p>「新宿区立図書館基本方針」（以下、「基本方針」という。）の達成に向け、各館で様々な事業に取り組みました。特に、平成30年度は、日本十進分類法（NDC）10版に対応し、約15万点の資料の背ラベルを貼替え、データを修正しました。資料の分類を整理することで、蔵書構成の見直しなど適切に行うことができました。</p> <p>また、サービス計画のサイクル及び計画書や評価のフォーマット等を整えるとともに、分析をし、サービス向上へつなげました。なお、令和元年度の評価については、外部委員を入れた評価を行うように検討します。</p>
I 区民に伝える図書館	<p>「資料の充実（基本方針No.1）」及び「地域資料の充実（同No.2）」については、今年度も区立図書館全館で夏目漱石やオリンピック・パラリンピックに関する資料の収集や展示などを行いました。「行政資料の充実（同No.4）」についても庁内で発行する資料の収集、保存を的確に行い、区民に提供しました。次年度は、これら資料の収集だけでなく、地域で発行している資料などの収集にも力を入れていきます。また、今後は、図書資料の分類別貸出数なども念頭に置きながら魅力ある資料収集に努めていきます。</p>
II 区民を支える図書館	<p>今年度は様々な人々への活動を支えるとともに、図書館サービスを支えていただいている活動についても広く紹介しました。特に、区内の大学や企業、地域団体との連携を図ったイベントなどを行い、多くの方と活動ができました。令和元年度のサービス計画では、より一層活発な活動を行っていくために、全館共通取組み事業のテーマにも掲げ、事業を展開していきます。</p>
III 区民が集う図書館	<p>全館で「魅力あるイベントの実施（同No.12）」や「情報の生産・発信・交流の支援（同No.14）」に取り組みました。引き続き、区民ニーズを的確に捉え、魅力あるイベントの実施や集客の工夫に努めます。今後も地域の特性を活かした図書館事業に力を入れて取り組みます。</p>
IV 子どもの成長を応援する図書館	<p>今年度も子どもの読書活動を支援するための取組みに力を入れて行いました。特に「読書活動への支援（同No.18）」及び「区立図書館の利用促進（同No.19）」では、地域の特性を活かした事業を行い、多くの子どもたちの参加がありました。</p> <p>令和元年度のサービス計画では、全館共通取組み事業として、「調べ学習への支援」を掲げ、これまで以上に子どもの読書活動を支援していきます。</p>
V ICTの活用推進	<p>平成29年度に実施したシステム更新後に導入した新しい機能を更に充実させるために、4館（中央・四谷・西落合・角筈図書館）で、座席管理システムによる時間制限席を導入しました。また、「ホームページの充実（同No.23）」では、各種イベントやサービスなどを区民が必要とする情報を引き続き発信しました。今後は、全館に導入している各種データベースの活用方法などの周知を行っていきます。</p>
VI 図書館環境の整備	<p>「利用満足度の高い図書館運営（同No.28）」では、利用機会の拡充を図るため、平成31年4月1日から月曜休館（5館）と火曜休館（5館）の2グループに分けた「毎日開館体制」の実施に向けて準備を行いました。また、「人材の育成・活用（同No.29）」については、引き続き、効果的な運営を行うとともに、接遇やサービスの質の向上に努めていきます。</p>
その他の取組み	<p>夏目漱石に関連した事業については、全館で取り組む体制を整え、資料の収集のほか、全館で漱石関連のイベントや展示を行い、多くの区民等が参加しました。</p> <p>また、オリンピック・パラリンピックに関しても、資料の収集に努めるとともに、全館で展示などを行いました。令和元年度のサービス計画では、2事業とも全館共通取組み事業として位置付け、引き続き取り組んでいきます。</p>

(2) 全館共通取組み事項

①夏目漱石関連事業（全館で26事業）

項目 図書館名	実施日時 (期間)	展示・イベント名
中央	8月28日(火)～ 11月9日(金)	展示「夏目漱石」
	9月21日(金)	新宿区立漱石山房記念館 開館1周年記念上映「こころ」(日本語音声)
	10月6日(土)	大人のための朗読会「声優が読む夏目漱石」(図書館講座)
こども	10月13日(土)～ 12月28日(金)	「知ってる?!夏目漱石の短編の世界」
四谷	1月5日(金)～ 2月3日(日)	関連図書展示「漱石とその友人たち」
鶴巻	4月1日(日)～ 3月31日(日)	平成30年度 鶴巻図書館「夏目漱石」常設資料展示
		児童作家常設展示「夏目漱石展示」
	10月7日(日)	漱石講演会「地下鉄丸ノ内線から、漱石作品を読み解く・PART1」
	2月3日(日)	漱石講演会「地下鉄丸ノ内線から、漱石作品を読み解く・PART2」
西落合	7月29日(土)～ 8月26日(日)	ミステリークエスト ～夏目漱石からの挑戦状～
	7月29日(土)～ 8月26日(日)	ミステリークエスト期間中特別展示 「文豪 夏目漱石」
	8月19日(日)	漱石山房記念館 出張ブックトーク
	10月7日(日)	西落朗読会 ～夏目漱石～
	10月14日(日)	みんなで「百人染め」! ～漱石の世界を染め上げよう～
戸山	4月1日(日)～ 3月31日(日)	一般展示 「新宿ゆかりの文豪 夏目漱石」の常設展示コーナー(新設)
		児童展示 「新宿ゆかりの文豪 夏目漱石」の常設展示コーナー(新設)
	11月3日(土)	文化の日 映画会 夏目漱石 アニメ「坊っちゃん」
北新宿	9月21日(金)	北新朗読会 「朗読で味わう文学の世界」～漱石特集～
	12月21日(金)～ 1月26日(水)	展示「漱石三昧」
中町	4月1日(日)～ 4月21日(土)	ミニ展示「英文学者 夏目漱石」
	9月1日(土)～ 9月30日(日)	ミニ展示「漱石をめぐる人々」
	10月13日(土)～ 11月3日(土)	神楽坂まち飛びフェスタ2018 夏目漱石のしおり配布
	10月14日(日)	まち歩き「漱石の神楽坂を歩く」
角筈	9月1日(土)～ 9月30日(日)	漱石展示「漱石と月」
大久保	10月12日(金)～ 12月12日(水)	多文化展示 Around the World ～special issue～ Soseki Natsume 展
下落合	10月12(金)～ 12月12日(水)	漱石山房記念館開館1周年記念展示 「My favorite Soseki～新宿区ゆかりの作家・夏目漱石への招待状～」

中央図書館

事業名	大人のための朗読会「声優が読む夏目漱石」(図書館講座)		
日時	10月6日(土) 13時~15時		
参加者数	40名		
内容	<p>漱石山房記念館において開館1周年イベントとして、朗読会等を実施しました。</p> <p>【作品名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『吾輩は猫である』・『草枕』 ・『こころ』・『夢十夜』 <p>ほか、図書館職員によるブックトーク</p>	参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・プロの声優の朗読を間近で聞けて感激した。 ・祖父が漱石に英語を学んでいた。何処かうれしくなった。 ・漱石の世界にたっぷり入ることができた。今後もこのような時間を作ってほしい。

こども図書館

事業名	「知ってる!?夏目漱石の短編の世界」	 	
展示期間	10月13日(土)~12月28日(金)		
展示点数 貸出点数	37点 25点		
内容	<p>「永日小品」等、中・高校生に知られていない漱石の短編の魅力や、職業体験に来館した中学生やインターンシップで来館した大学生に読んでもらい、POPを作成し、展示しました。</p>	参加者の声	<p>中学2年生のPOPより</p> <p>夏目漱石「永日小品：泥棒」</p> <p>この本は、前日寝ている間に泥棒に入られたのに、次の日も台所でカタカタと音がする。その正体は何かというお話です。不条理な表現が印象的。結末は面白いので、ぜひ心が疲れている人に読んでほしいです。</p>

四谷図書館

事業名	関連図書展示「漱石とその友人たち」		
展示期間	1月5日(金)～2月3日(日)		
展示点数 貸出点数	70点 60点		
内容	漱石が幼少期を過ごした四谷・内藤新宿地区に焦点をあて、作家になるまでの漱石に関する資料展示を行いました。	参加者の声	

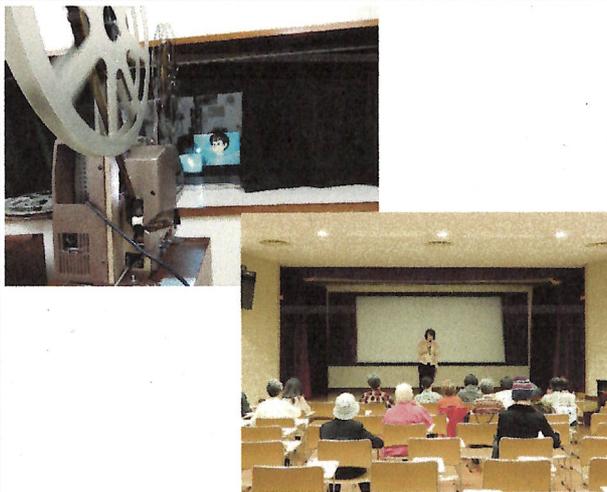
鶴巻図書館

事業名	漱石講演会「地下鉄丸ノ内線から、漱石作品を読み解く・PART1」、同「PART2」		
日時	10月7日(日) 14時～15時30分 2月3日(日) 14時～15時30分		
参加者数	67名		
内容	夏目漱石の研究をされている先生により、「地下鉄丸ノ内線から、漱石作品を読み解く」と題し、地図と電車を材料に漱石の当時の人間関係および時代背景について、2回の講演を開催しました。	参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の中から銭湯、質店、西片町の学者街、本郷座等を想像するだけでも面白い。丸の内線に乗って小さな旅をしたいと思います。 ・もう一度漱石を読み返してみたい意欲をかきたてられた名講演だった。 ・漱石の活動範囲が解ってたいへんおもしろかった。

西落合図書館

<p>事業名</p>	<p>ミステリークエスト ～夏目漱石からの挑戦状～</p>		
<p>受付期間</p>	<p>7月29日（土）～8月26日（日）</p>		
<p>問題配付数 参加人数</p>	<p>764部 356名</p>		
<p>内容</p>	<p>漱石山房記念館との協働事業で、夏休み期間中に施設を訪れないと解けない問題集を両館で配付しました。問題を解きながら漱石をしてもらう企画で、漱石山房記念館でブックトークも行いました。</p>	<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前から漱石山房記念館にいつか行こうと思ってましたが、今回これをきっかけに行くととてもよかったです。いいきっかけをつくっていただきありがとうございます。 ・暗号を解いたりヒントの場所を見つけたりしてとても楽しめた。漱石山房記念館では漱石のことをより深く知ることができた。

戸山図書館

<p>事業名</p>	<p>文化の日 映画会夏目漱石 アニメ「坊っちゃん」</p>		
<p>日時</p>	<p>11月3日（土）14時～16時</p>		
<p>参加者数</p>	<p>36名</p>		
<p>内容</p>	<p>上映作品は新宿ゆかりの文豪、夏目漱石の代表作「坊っちゃん」のアニメ（43分）。本作は、モンキーパンチや、出崎統、杉野昭夫、西城秀樹などが携わった伝説の名作。若い人からお年寄りまで、年齢に関係なく楽しんでもらった。漱石の人物像に迫ると共に、文学作品に親しんだ。</p>	<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漱石の作品は面白い。本で何回も読んでいます。 ・ちょうど坊ちゃんを読んでいるところです。アニメにとっても興味がありました。 ・若いころ本で読んでいたので、内容を知っていた。興味があったので、面白かった。 ・1980年代のアニメを楽しませていただきました。

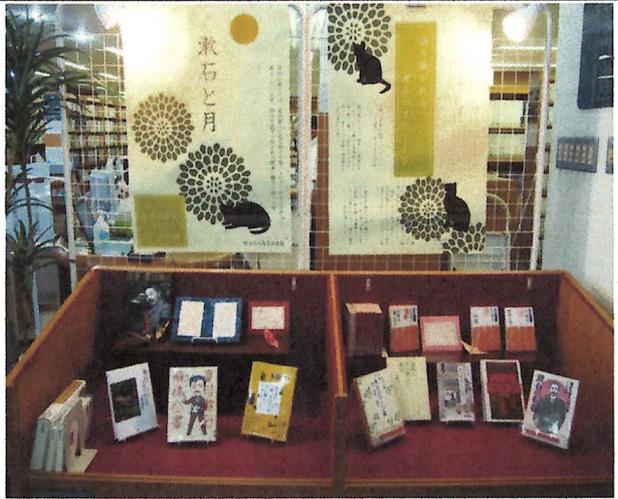
北新宿図書館

<p>事業名</p>	<p>北新朗読会 「朗読で味わう文学の世界」～漱石特集～</p>	 	
<p>日時</p>	<p>9月21日（金）</p>		
<p>参加者数</p>	<p>15名</p>		
<p>内容</p>	<p>NPO日本朗読文化協会による朗読会を開催しました。 【作品名】『泥棒』・『モナリサ』 ・『夢十夜』より第六夜・『文鳥』 ・『結婚式』</p>	<p>参加者の声</p>	<p>漱石の名文を集中して味わう、濃厚な時間となりました。終演後の漱石クイズでは、漱石の意外な素顔も浮かび上がり、驚きの声や笑い声もあがっていました。参加者全員より満足の声をいただき、充実したひとときとなりました。</p>

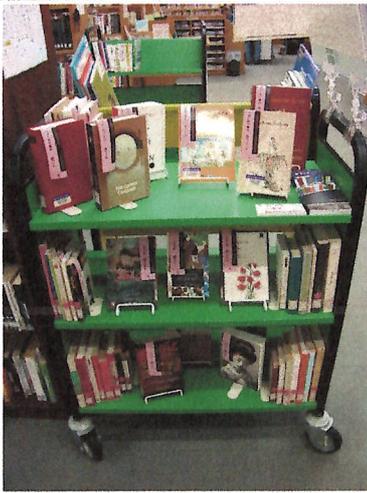
中町図書館

<p>事業名</p>	<p>まち歩き「漱石の神楽坂を歩く」</p>		
<p>日時</p>	<p>10月14日（日）午前10時～12時</p>		
<p>参加者数</p>	<p>14名</p>		
<p>内容</p>	<p>夏目漱石の足跡を辿る企画「漱石の神楽坂を歩く」を開催しました。飯田橋駅付近から漱石ゆかりの場所をめぐりながら漱石山房記念館まで、地域にお住いの郷土史研究家の案内で行いました。</p>	<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しく説明して下さい、よく分かりました。機会がありましたらまた参加したいと思えます。 ・詳しい資料をいただき、ありがとうございました。参考にさせていただきます。 ・大変良かったです。 ・とても楽しかったです。ためになりました。

角筈図書館

事業名	漱石展示「漱石と月」		
展示期間	9月1日（土）～9月30日（日）		
展示点数 貸出点数	33点 33点		
内容	漱石の名文句のエピソード、また意外な一面など、漱石の人物像について語られている資料を中心に展示を行いました。	参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・表には出てこないが、色々な漱石の一面を知ることが出来た。 ・良く聞くエピソードでも本に記されていないこともあると知った。 ・エピソードを知って、改めて漱石の本を読みなおしてみる。

大久保図書館

事業名	多文化展示 Around the World ~ special issue ~ Soseki Natsume 展		
展示期間	10月12日（金）～12月12日（水）		
展示点数 参加者数	46点 339名（展示コーナーに立ち寄った方の人数）		
内容	国際交流基金ライブラリーの協力により、各国語に翻訳をされた漱石の作品を集めた展示を行いました。	参加者の声	<p>「漱石がいろいろな言語で翻訳をされているということ、実際に目の当たりにしてとても驚いた」「あらためて日本語の漱石をもっと読んでみようと思った」等の声をいただきました。フランス語を学んでいる日本人学生が、『吾輩は猫である』のフランス語版にチャレンジしたが、「ちょっとしか読めない」と苦笑していました。</p>

下落合図書館

<p>事業名</p>	<p>「My favorite Soseki～新宿区ゆかりの作家・夏目漱石への招待状～」</p>		
<p>展示期間</p>	<p>10月12（金）～12月12日（水）</p>		
<p>展示点数 貸出点数</p>	<p>54点 145点</p>		
<p>内容</p>	<p>期間中は、関連資料の展示のほかに、Pepperによる漱石作品の朗読コンテンツや、好きな夏目漱石の作品に投票してもらう参加型企画も行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 朗読コンテンツの利用回数312回 • 作品投票参加者数362名 	<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●好きな作品へのシール投票について 「シールを貼るのも楽しいし、どの作品に人気があるのかひと目でわかってとても楽しい企画だと思う」 ●朗読コンテンツについて 「Pepperによる朗読が面白かった。夏目漱石の本を借りるきっかけになった」

②東京2020オリンピック・パラリンピック（全館で14事業）

項目 図書館名	実施日時 (期間)	展示・イベント名
中央	平成27年～常設	東京2020オリンピック・パラリンピック【常設展示】
こども	平成28年～常設	東京2020オリンピック・パラリンピック【常設展示】
四谷	1月6日(日)	パラリンピック関連イベント 「ともに走る ～誰かの目になる～」
鶴巻	8月28日(火)～ 11月14日(水)	企画展示「2020年東京オリンピックに向けたおもてなし企画～東京の魅力再発見！～」
西落合	平成30年4月～	東京オリンピック・パラリンピック関連図書展示コーナー【常設展示】
戸山	8月28日(火)～ 9月30日(水)	オリンピックミニ展示「東京2020 東京でおもてなし ～56年ぶりの夢～」
	11月1日(木)～ 12月19日(水)	企画展示「もっと楽しもう！障害者スポーツ」
北新宿	9月21日(金)～ 10月17日(水)	オリンピック・パラリンピックと東京【9月テーマ展示】
中町	10月19日(金)～ 11月30日(金)	児童展示「オリンピック・パラリンピック～2020年TOKYO～」
	10月19日(金)～ 12月19日(水)	一般展示「オリンピック・パラリンピック～来たれ2020東京五輪～」
	12月21日(金)～ 2月20日(水)	一般展示「ホスピタリティ・おもてなしの心」
角筈	4月1日(土)～ 7月31日(火)	ワールド・ヴィジョン WORLD-VISION ～"世界" とつながる扉をひらこう～ 角筈企画展示 「海外ビジネスと日本との繋がり」
大久保	9月1日(土)～ 10月10日(水)	中学生との共同展示
下落合	4月1日(日)～ 3月31日(日)	児童 中高生特別展示「オリンピックを目指して～東京へのミチシルベ～」

中央図書館

事業名	東京2020オリンピック・パラリンピック【常設展示】		
日時	平成27年～常設		
展示点数 貸出点数	363点 295点		
内容	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、大会の歴史や仕組み、活躍した選手たち、スポーツの魅力を伝える資料などを集めています。	参加者の声	特にありませんが、概ね好評と認識しています。

こども図書館

事業名	東京2020オリンピック・パラリンピック【常設展示】		
日時	平成28年～常設		
展示点数 貸出点数	67点 77点		
内容	オリンピック・パラリンピックの開催競技や活躍選手等を紹介する資料コーナーを常設展示しています。	参加者の声	特にありませんが、概ね好評と認識しています。

四谷図書館

<p>事業名</p>	<p>パラリンピック関連イベント 「ともに走る ～誰かの目になる～」</p>		
<p>日時</p>	<p>1月6日(日) 午後2時～4時</p>		
<p>参加人数</p>	<p>21名(こども8名、大人13名)</p>		
<p>内容</p>	<p>講師に伴走者として活躍されている中田たかし氏をお招きし、伴走者として出場したパラリンピックやその他の大会でのお話をいただき、伴走体験も行いました。</p>	<p>参加者の声</p>	<p>講演では、選手と伴走者は1m程のロープで常に繋がってゴールを目指し、選手への声かけは他選手との駆け引きにもなることを教えていただきました。伴走体験では、選手役と伴走者役を交代しながら行いました。パラリンピックで獲得したメダルに触れる貴重な体験ができました。</p>

鶴巻図書館

<p>事業名</p>	<p>企画展示 「2020年東京オリンピックに向けたおもてなし企画～東京の魅力再発見!～」</p>		
<p>展示期間</p>	<p>平成30年 8月28日～11月14日</p>		
<p>展示点数 貸出点数</p>	<p>87点 232点</p>		
<p>内容</p>	<p>オリンピックが開催される東京都そのものに興味をもっていただく為、東京都の街の歴史に関する資料や、「おもてなし」をテーマにした東京の観光スポットや、商業施設など、地域資料を中心に紹介しました。また、オリンピックの歴史や、東京のビジュアルなど様々な角度から見たオリンピックの資料も合わせて展示しました。</p>	<p>参加者の声</p>	<p>展示コーナーに足を止め、資料をご覧になっている方が多く、貸出も232冊ありました。区民のオリンピックへの期待の高さをうかがい知るとともに、国際都市・東京の魅力をPRする良い機会となりました。</p>

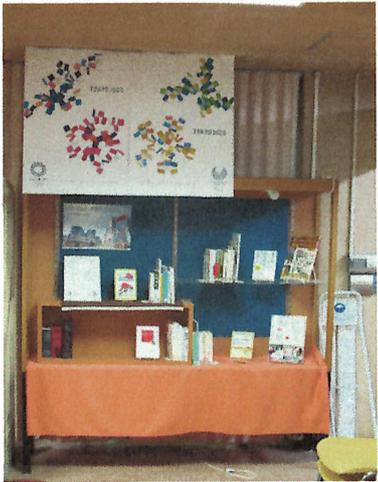
西落合図書館

事業名	東京オリンピック・パラリンピック関連図書展示コーナー		
展示期間	平成30年4月～常設展示		
展示点数 貸出点数	40点 111点		
内容	オリンピック・パラリンピックに関連する資料を集めて展示する。	参加者の声	調べ学習の授業や課題の参考資料として役立てていただきました。また、スポーツへの関心から手に取る子供の姿も見られました。

戸山図書館

事業名	企画展示「もっと楽しもう！障害者スポーツ」		
展示期間	11月1日（木）～12月19日（水）		
展示点数 貸出点数	80冊 81冊		
内容	関連本の展示と共に、パフファインダーや関連チラシなどを設置しました。展示コーナーには、パラリンピックに関する本の展示を行い、障害者スポーツ・競技スポーツへの興味を促進しました。同時に調べた内容をまとめたパネルを展示するなどの工夫もしました。	参加者の声	展示を見た利用者からお声がけいただき、障害者のスポーツを周知した際、マルチメディアDAISY（※）を具体的にどのように使用すべきかを聞かれました。話を伺うと、学習障害を持っているお子様がいるとのことでした。（※）P27参照

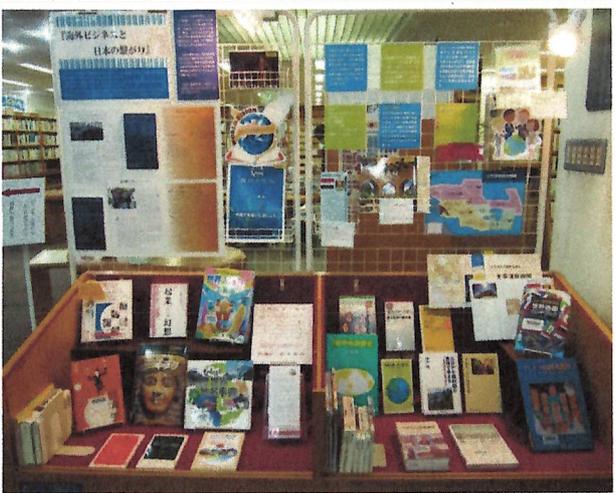
北新宿図書館

<p>事業名</p>	<p>「オリンピック・パラリンピックと東京」9月テーマ展示</p>		
<p>日時</p>	<p>9月21日（金）～10月17日（水）</p>		
<p>展示点数 貸出点数</p>	<p>40点 17点</p>		
<p>内容</p>	<p>2020年夏、ここ東京の地で、オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピック・パラリンピックを歴史的・経済的・社会的視点から取り上げた資料はもちろん、競技や選手について、開催地「東京」のお薦めスポットなど、2年後が楽しみになるような本をたくさんご紹介します。</p>	<p>参加者の声</p>	<p>開催地「東京」のお薦めスポットがわかり、楽しみが増えました。</p>

中町図書館

<p>事業名</p>	<p>一般展示「オリンピック・パラリンピック～来たれ2020東京五輪～」</p>		
<p>日時</p>	<p>10月19日（金）～12月19日（水）</p>		
<p>展示点数 貸出点数</p>	<p>84点 84点</p>		
<p>内容</p>	<p>オリンピック・パラリンピック関連本を展示し、利用者の興味を引き出すとともに、開催への機運を盛り上げる目的で実施しました。今後も、オリンピック・パラリンピック開催へ興味を持ってもらうよう、地域への働きかけを継続していきます。</p>	<p>参加者の声</p>	<p>特にありませんが、概ね好評と認識しています。</p>

角筈図書館

事業名	WORLD-VISION～ “世界” とつながる扉をひらこう～ 角筈企画展示 「海外ビジネスと日本との繋がり」		
展示期間	4月1日（土）～7月31日（火）		
展示点数 貸出点数	71点 161点		
内容	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に当たり、海外の情報を新宿4館（戸山・鶴巻・下落合・角筈）毎にテーマを設定し、展示を行い、グローバルな情報を発信しました。 角筈図書館テーマ：「海外ビジネスと日本との繋がり」	参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料だけでなく、イラン、イラク、インド等の大使館資料もあり、普段手にすることが出来ないパンフレットをもらえて嬉しかった。 ・同時開催の他館のパスファインダーの展示と配布は、良かった。

大久保図書館

事業名	中学生との共同展示		
日時	9月1日（土）～10月10日（水）		
展示点数 貸出点数	36点 6点		
内容	職場体験の中学生と一緒に、オリンピック・スポーツに関する展示コーナーをつくりました。中学生が自分たちでおすすめの本を集め、POPも作りました。	参加者の声	中学生が作ったPOPを見て「手作り感があっていい」「本をかりてほしいという思いが伝わってくる」などの声をいただきました。

下落合図書館

<p>事業名</p>	<p>児童 中高生特別展示 「オリンピックを目指して ～東京へのミチシルベ～」</p>		
<p>日時</p>	<p>平成30年4月1日（日）～ 平成31年3月31日（日）</p>		
<p>展示点数 貸出点数</p>	<p>88点 350点</p>		
<p>内容</p>	<p>児童向け資料や中高生向け資料を中心に、歴代大会に関する資料や競技の紹介、活躍された選手に関する資料を集め、2020年の東京オリンピック・パラリンピック周知のため、オリンピック・パラリンピックに関する資料展示を行いました。</p>	<p>参加者の 声</p>	<p>子育て・家庭支援コーナーに隣接して、コーナー作りをしたことで、スポーツに興味がある子どもの保護者を中心に多くの方に資料をご利用頂きました。</p>

(3) 数値目標

◆区内在住者の登録率 (%)

	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	30年度 目標	30年度 実績	達成率	対前年度比	対前年度 増減数	令和元年度 の目標
区内在住者の 利用登録率	19.3%	19.5%	17.9%	新規のため 設定なし		新規のため 設定なし	102.4%	0.4	
区民登録者数	64,712	66,294	61,213	—	63,360	—	103.5%	2,147	—
新宿区の人口	335,510	339,339	342,867	—	346,425	—	—	3,558	—
新宿区の人口の 対前年度比	—	101.1%	101.0%	—	—	—	101.0%	0	—

※区内在住者の登録率は、区民登録者数を新宿区の人口で割ったもの。
 ※新規登録者数、新宿区の人口、新宿区の人口の対前年度比は、参考に掲載。
 ※区内在住者の利用登録率及び区民登録者数については、図書館年報と合わせるため、区役所内分室を含める。

◎分析

平成29年度にシステム更新を行ったことに伴い、区民登録者数の統計の取り方が変更となりました。これまでは、5年間一度も利用がなかった者の登録抹消処理を4月に一括で行っていましたが、30年1月のシステム更新後からは、毎日、最終利用日から5年間経過した者を登録抹消処理することになりました。そのため、29年度の区民登録者が大幅に減っています。30年度の実績では、区民登録者数は、2,147人増加しました。新宿区の人口は、毎年、微増していることから、令和元年度は、新宿区の人口の伸び率の「1.01」を掛けて目標値としました。

◆区内在住者の新規登録者数 (人)

	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	30年度 目標	30年度 実績	達成率	対前年度比	対前年度 増減数	令和元年度 の目標
中央・こども	2,657	2,589	2,245	新規の ため 設定 なし	2,699	新規の ため 設定 なし	117.5%	392	2,900
四谷	2,054	1,854	1,752		2,039		133.4%	586	2,500
鶴巻	663	675	652		676		126.7%	174	900
西落合	621	618	493		644		130.6%	151	700
戸山	635	584	599		674		112.5%	75	700
北新宿	548	435	541		665		108.1%	44	600
中町	964	888	895		906		101.2%	11	900
角筈	516	479	606		601		132.2%	195	800
大久保	730	652	632		662		107.9%	50	700
下落合	0	892	3,202		2,617		81.7%	△ 585	2,900
合計	9,388	9,666	11,617		12,710		109.4%	1,093	13,900

◎分析

下落合図書館は、平成29年3月に新館開設をし、平成29年度は、全館の新規登録者の約3割を占めました。平成30年度は、新館開設に伴う新規登録者が落ち着いたための減少と分析します。その他の図書館に関しては、29年度よりも増加しました。
 令和元年度の目標については、30年度実績に過去3年間の平均伸び率「1.01」を掛け、100未満を切り捨てとしたため、中町、角筈図書館に関しては、目標値が実績より下回る設定となりますが、区立図書館全体で1,190名増やすための取組みを行っていきます。

◆貸出点数実績（点）

	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	30年度 目標	30年度 実績	達成率	対前年度比	対前年度 増減数	令和元年度 の目標
中央・こども	541,497	552,173	462,835	497,000	489,369	97.4%	104.5%	21,052	503,200
四谷	467,978	470,351	466,393	500,000	491,076	98.3%	105.4%	25,123	511,400
鶴巻	187,364	193,238	186,509	200,000	204,316	102.3%	109.7%	18,007	212,600
西落合	242,326	235,301	193,234	207,000	222,223	107.4%	115.0%	28,989	231,100
戸山	182,983	181,123	179,342	192,000	190,160	99.0%	106.0%	10,818	197,700
北新宿	169,593	163,975	140,964	151,000	146,599	97.1%	104.0%	5,626	152,400
中町	269,231	278,036	281,541	302,000	286,782	94.6%	101.5%	4,241	287,200
角筈	221,203	224,060	221,694	238,000	245,449	103.1%	110.7%	23,755	250,200
大久保	185,997	173,932	154,085	165,000	151,457	91.8%	98.3%	△ 2,628	167,500
下落合	0	26,592	387,596	416,000	399,747	96.1%	103.1%	12,151	415,700
合計	2,468,172	2,498,781	2,674,193	2,868,000	2,827,327	98.4%	105.5%	147,134	2,934,100

◎分析

目標の達成ができた図書館は、鶴巻、西落合、角筈図書館の3館でしたが、平成29年度と比べると大久保図書館以外は増加し、全館の合計は、147,134点の増となりました。

西落合図書館においては、前年度と比較すると大幅に増加していますが、平成29年度は工事休館があったため、例年と比較すると若干、減少しています。角筈図書館でも貸出点数が大幅に増えましたが、こちらは、新たな事業展開を図ったため、特に小学生以下の貸出点数が大幅に伸びたことによります。大久保図書館は過去3年間、貸出点数に伸び悩んでおり、小学生以下と高校生以外は貸出点数が減少しています。今後は、図書資料の分類別貸出数などが抽出できるようになったため、次年度以降、それらを分析し対策を講じていきます。

令和元年度の目標については、30年度実績に過去3年間の平均伸び率「1.04」を掛け、100未満を切り捨てとしました。全館で112,773点増やすための取組みを行っていきます。

◆来館者数（人）

	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	30年度 目標	30年度 実績	達成率	対前年度比	対前年度 増減数	令和元年度 の目標
中央・こども	452,103	483,490	433,651	465,000	455,722	98.0%	105.1%	22,070	469,300
四谷	341,185	335,065	317,780	341,000	340,317	99.9%	107.2%	22,737	350,100
鶴巻	117,137	116,312	103,328	110,000	109,416	98.6%	104.9%	5,088	111,600
西落合	157,227	153,580	122,188	131,000	139,057	106.2%	113.8%	16,899	143,200
戸山	140,448	142,675	127,889	139,000	132,613	95.4%	103.7%	4,727	136,500
北新宿	119,929	118,172	99,703	107,000	104,405	97.6%	104.7%	4,702	107,500
中町	133,239	136,857	126,963	135,000	126,372	94.0%	99.9%	△ 91	130,600
角筈	154,550	152,821	138,449	148,000	194,441	131.4%	140.4%	55,992	200,200
大久保	157,943	152,710	138,135	148,000	136,742	92.1%	98.6%	△ 1,892	140,300
下落合	0	16,973	210,323	225,000	210,642	97.2%	104.0%	8,320	225,200
合計	1,773,761	1,808,655	1,818,409	1,949,000	1,956,961	100.4%	107.6%	138,552	2,015,600

◎分析

目標の達成ができた図書館は、西落合、角筈図書館の2館でしたが、平成29年度と比べると中町・大久保図書館以外は増加し、全館の合計は、138,552人の増となりました。

来館者数についても角筈図書館では前年度に比べて大幅に増加しました。特にビジネス支援について、これまでも行っていた起業支援だけでなく、新たにファッションに関する事業や自己啓発事業などに取り組んできたことによります。

来館者についても大久保図書館は過去3年間、来館者数も伸び悩んでおり、来館へつながる新たな取組みを講じる必要があると考えています。

令和元年度の目標については、30年度実績に過去3年間の平均伸び率「1.03」を掛け、100未満を切り捨てとしました。全館で58,639人増やすための取組みを行っていきます。

◆レファレンス実績（件）①クイックレファレンス ②一歩進んだレファレンス ③複雑なレファレンス

館名	平成29年度実績				平成30年度実績				対前年度増減数
	①	②	③	合計	①	②	③	合計	
中央・こども	2,206	499	82	2,787	2,715	411	96	3,222	△ 606
四谷	2,393	209	8	2,610	2,790	217	4	3,011	△ 689
鶴巻	2,008	39	8	2,055	1,669	8	6	1,683	△ 383
西落合	1,095	77	4	1,176	1,245	66	1	1,312	137
戸山	3,996	29	0	4,025	3,520	16	1	3,537	△ 486
北新宿	1,176	12	0	1,188	1,308	16	0	1,324	33
中町	857	93	2	952	891	29	1	921	△ 121
角筈	1,284	49	12	1,345	1,161	66	7	1,234	△ 109
大久保	1,212	43	2	1,257	1,162	46	0	1,208	△ 56
下落合	2,518	45	5	2,568	2,271	16	5	2,292	△ 274
合計	18,745	1,095	123	19,963	18,461	466	92	19,019	△ 2,554

◎分析

レファレンスの数値目標は、平成30年度よりレファレンス満足度を指標としました。レファレンス件数については、参考として掲載しています。傾向として、受付件数は全館で減少しています。要因としては、自宅のパソコンやスマートフォンで、検索エンジンによる検索を行うことが一般化していることが考えられます。なお、それ以外では、インターネット検索（Web）から資料の予約をする利用者が年々増加していることから、図書館の所蔵に関する質問等も自分で手軽に検索でき、レファレンス数の減少に影響を与えている可能性も考えられます。

【参考：予約の受付方法別受渡点数 30年度（29年度） ○カウンター：72,098（95,043）点、
○館内検索機：39,844（41,903）点、○Web：802,618（764,501）点】

◆レファレンス満足度①（利用しやすさ等のサービス内容の満足度）（5段階評価）

館名	平成29年度実績	平成30年度目標	平成30年度実績	達成率	対前年度比	令和元年度目標
中央・こども	新規のため設定なし	新規のため設定なし		新規のため設定なし	新規のため設定なし	30年度実績超
四谷						
鶴巻						
西落合						
戸山						
北新宿						
中町						
角筈						
大久保						
下落合						
全館平均						

◆レファレンス満足度②（的確さ等の質問に対する回答の満足度）（5段階評価）

館名	平成29年度実績	平成30年度目標	平成30年度実績	達成率	対前年度比	令和元年度目標
中央・こども	新規のため設定なし	新規のため設定なし		新規のため設定なし	新規のため設定なし	30年度実績超
四谷						
鶴巻						
西落合						
戸山						
北新宿						
中町						
角筈						
大久保						
下落合						
全館平均						

◎分析

レファレンス満足度の調査は、平成31年2月5日から14日間、全館で実施し、1,528名に配布し、824名の回収をしました。設問は「相談窓口のわかりやすさ」「図書館からの回答内容の的確さ」等を問うもので、5段階（満足・やや満足・普通・やや不満・不満）を記入してもらいました。

※アンケート用紙は、P56に掲載しています。

◆区立図書館における子どもへの貸出冊数（点）

館名	27年度実績	28年度実績	29年度実績	平成30年度目標	平成30年度実績	達成率	対前年度比	対前年度増減数	令和元年度目標
中央・こども	107,889	111,787	96,380	98,300	109,000	111.6%	113.8%	13,318	98,000
四谷	63,584	69,555	73,471	75,000	81,282	108.4%	110.6%	7,811	90,000
鶴巻	40,372	43,283	43,727	45,000	47,429	105.4%	108.5%	3,702	52,000
西落合	42,667	43,540	34,954	37,000	57,702	156.0%	165.1%	22,748	65,000
戸山	40,446	40,281	42,554	43,000	45,763	106.4%	107.5%	3,209	50,000
北新宿	26,800	27,437	23,388	25,000	26,435	105.7%	113.0%	3,047	30,000
中町	66,724	70,305	71,286	73,000	70,966	97.2%	99.6%	△ 320	72,000
角筈	12,284	10,984	12,296	14,000	29,072	207.7%	236.4%	16,776	32,000
大久保	20,778	20,562	18,054	20,000	18,480	92.4%	102.4%	432	19,000
下落合	0	0	68,868	72,000	81,219	112.8%	117.9%	12,350	96,000
合計	421,544	437,734	484,978	502,300	589,051	113.1%	117.1%	83,073	632,000

※子どもへの貸出冊数は、視聴覚資料を除いた高校生以下。平成29年度までの実績は、第四次子ども読書活動推進計画と合わせるため、1月末時点で掲載している。そのため、28年度の下落合図書館は「0」となる。

◎分析

目標を達成していなかったり、前年度と比べやや減少している図書館もありますが、概ね達成しました。特に、西落合図書館と角筈図書館では大幅に増加しました。

西落合図書館、角筈図書館、どちらの館においても出張おはなし会をはじめとしたイベントなどを頻繁に行うとともに、併せて図書館への利用案内も行ったため、図書館に興味を持つ子どもたちの増加につなげることができました。

また、全館の合計は、新宿区第四次子ども読書活動推進計画で設定した指標を大きく上回り、令和元年度に策定する新宿区第五次子ども読書活動推進計画では、指標を改めることとしています。

◆ホームページアクセス数

項目名	平成29年度実績	平成30年度目標	平成30年度実績	達成率	対前年度比	対前年度増減数	令和元年度目標
トップページ閲覧数	—	新規のため設定なし	1,000,503	新規のため設定なし	—	—	1,022,000

◎分析

ホームページアクセス数は、これまでは、WebOPAC（図書館のホームページ内にある資料検索システムの数）としていましたが、平成30年1月にホームページをリニューアルに伴い、平成30年度からは、区立図書館のホームページのトップページを指標としました。令和元年度の目標値は、30年度実績に各種の平均伸び率である「1.03」を掛け、100未満切り捨てにしたものとし、目標値の設定については、今後、検討する必要があると考えています。

(4) 事業管理サイクル

【計画】

平成30年5月	平成30年度サービス計画 公表・実施
平成30年5月～9月	平成29年度実績 点検・評価
平成30年9月～12月	平成30年度サービス計画の検討・予算編成
平成31年1月～3月	平成31年度サービス計画の作成 平成30年度サービス計画完了

【平成30年度の取組み】

平成30年5月	平成30年度サービス計画 公表・実施
平成30年5月～9月	平成29年度実績 点検・評価
平成30年10月	今後の点検・評価方法及び平成31年度計画の検討開始
平成30年11月	平成29年度実績 点検・評価の公表
平成31年1月～3月	平成31年度サービス計画の作成 平成30年度サービス計画完了

【分析】

平成30年度のサービス計画については、平成29年度に作成をし、計画どおり、5月に公表し、平成31年3月まで、計画に則った事業を行いました。

サービス計画の点検・評価に関しては、図書館運営協議会や教育委員会等で点検・評価方法や冊子のフォーマットの見直しなどを行いました。そのため、平成29年度のサービス計画の点検・評価の公表は、当初計画の9月末から2か月遅れの11月となりましたが、点検・評価方法等の整理が行えました。

また、平成30年度は、地域図書館の運営を行っている指定管理者選定を行う関係で、平成31年度（令和元年度）の計画策定期間が短いながらも、計画どおりに策定することができました。

(5) 各図書館サービス計画

●各図書館のサービス計画の見方

新宿区立図書館基本方針
(6つの方針)
の評価の平均点

新宿区立図書館基本方針(6つの方針)を4段階のレーダーチャートで記載
各図書館の特徴が一目でわかるように記載しています。次年度の取組みの参考にします。

中央・こども図書館

◎年度の総括	<p>平成28年度に改定した「新宿区立基本方針」の達成に向け、各館で様々な事業に取り組ましました。特に図書館の根幹である資料の充実について力を注ぐことで、多様な資料や情報を提供することができました。</p> <p>また、課題解決につながる情報の提供を始め、新宿で活動するすべての人々の支援に貢献しました。さらに子どもを始め、様々な人々の読書活動の支援も行いました。</p>	評価点の平均	<p>2.30</p>
--------	--	--------	-------------

基本方針に基づく主な取組・評価

I 区民に伝える図書館	基本方針に基づく主な取組・評価	評価
I 区民に伝える	「資料の充実(基本方針No. 1)」及び「地域資料の充実(同No. 2)」について、区立図書館全館で夏目漱石やオリンピック・パラリンピックに関する資料の収集に努めました。「行政資料の充実(同No. 4)」についても庁内で発行する資料の収集、保存を的確に行い、区民に提供しました。次年度は、これら資料の収集だけでなく、活用に向けた情報収集を行い、検討します。	3
II 区民を支える図書館	「外国人・障害者・高齢者に対する支援した図書館サービスを行いました。なかでも、検索等の補助、字幕や手話付の資料を行いました。次年度は様々な人々への提供についても広く紹介していきます。	3
III 区民が集う図書館	全館で「魅力あるイベントの実施(同No. 14)」に取り組ましました。引き続き、区民ニーズを踏まえた活動発表の機会や環境を整備していきます。	
IV 子どもの成長を応援する図書館	「新宿区子ども読書活動推進計画(同No. 16)」では、推進会議を開催し、各事業の進捗状況を確認しました。その中で、区立図書館における子どもへの貸出冊数や不読率について、目標を大きく上回っていることから、新たな指標の検討が必要です。全館で取り組んでいる「調べる学習コンクール」の参加については、引き続き学校と連携し、応募作品の質の向上に努めていきます。	
VICTの推進	システム更新後に導入した新しい機能について、利用者への周知を的確に行い、利用者の利便性を高めました。また、区のホームページから独立した図書館のホームページを作成し、イベント情報や図書館サービスをわかりやすく表示し、発信しました。引き続き、区民が必要とする情報を提供し、区立図書館全館に導入している各種データベースの活用方法など、周知を工夫してまいります。	3
VI 図書館環境の整備	「利用満足度の高い図書館運営(同No. 28)」では、四谷図書館の休館日を変更したことにより、利用機会の充実に貢献しました。31年度からは月曜休館と火曜休館にグループ分け、より利便性を高めています。また、これまでも人材育成に努めてきましたが、効果的な運営を行うとともに接遇を高め、サービスの質の向上に努めていきます。	3
その他の取組み	夏目漱石に関連した事業については、全館で取り組む体制を整え、資料の収集のほか、文化観光課の所管する情報誌「新宿フィールドミュージアム」を活用し、全館の漱石関連イベント・展示を多くの区民等に周知しました。また、全館でオリンピック・パラリンピックに関する資料の収集に努めるとともに、常設展示を設けたりしました。次年度も引き続き全館で取り組んでいきます。さらに、全館で「障害を理由とする差別の解消に関する法律」の内容を理解し、必要に応じ合理的配慮が行えるように努めたり、防災マニュアルの整備や訓練を行い、利用者の安全確保に努めました。	

サービス計画の評価基準は、以下の4段階である。

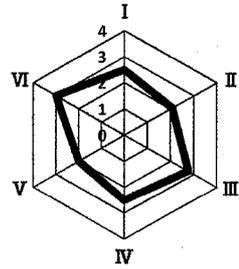
- 4 優良 サービス計画で求められる水準を超えて良好であり、かつ、〇〇の点で特に評価できる。
- 3 良 サービス計画で求められる水準を超えて良好である。
- 2 適当 サービス計画で求められる水準を満たしている。
- 1 課題あり サービス計画で求められる水準を満たしておらず、改善を要する。

- ・評価点が「4」「3」「1」で特筆すべき内容を中心に記載
- ・評価点の次年度改善すべき点なども記載

中央・こども図書館（区直営）

<p>30年度の総括</p>	<p>基本方針に掲げる6つの方針のうち、特に「Ⅲ区民が集う図書館」及び「Ⅳ子どもの成長を応援する図書館」に力を入れて取り組みました。しかしながら、昨年度よりも各々の実績が伸び悩み、内容など検討が必要な事業が多く見受けられました。 また、子どもの読書活動については、「第五次子ども読書活動推進計画」を策定する中で他部署とも連携しながら、より充実したサービス展開を図ります。</p>	<p>評価の平均点 2.05</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>評価</p>
<p>Ⅰ 区民に伝える図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No.1）」については、区立図書館全体のバランスを考慮しつつ、ビジネス街や外国人の集住地域など地域の特色を反映した資料収集に努めました。 「地域資料の充実（同No.2）」については、新宿区ゆかりのマンガ作家の植田まさし著『コボちゃん』を地域資料コミックとして40冊、手塚治虫関連資料を20冊受け入れました。また、地域センターで発行される広報誌等について、地域資料として長期的に収集する方向で、各図書館での現在の取り扱い等の確認を行いました。</p>	<p>1.9</p>	
<p>Ⅱ 区民を支える図書館</p>	<p>「利用者にわかりやすく役立つサービスの提供（同No.7）」については、図書館未利用者も含めて、興味を持たれる情報リテラシー支援講座を開催しましたが、参加人数は昨年よりも少なく、内容や時期など検討が必要です。 「区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援（同No.9）」については、中小企業診断士によるビジネス情報支援相談会を実施しましたが、参加者が少なく、より活用されるための検討が必要です。 「行政支援（同No.11）」については、区の施策の企画立案に役立つ資料の提供を行いました。昨年度より庁内レファレンス（※）の件数が増えており、今後も区の職員に周知していきます。 ※利用者の求める情報や資料を探すお手伝いをするサービスです。</p>	<p>2.2</p>	
<p>Ⅲ 区民が集う図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No.12）」については、ビジネス、情報リテラシー、考古学、視聴覚としてクラシック音楽をテーマに図書館講座を行いました。 「情報の生産・発信・交流の支援（同No.14）」については、中央図書館の2階展示コーナーの活用を区民団体が利用できるように要領を作成し、申請書等の様式を整えました。また、展示品募集について館内チラシ、図書館ホームページに掲載などを行いました。</p>	<p>2.4</p>	
<p>Ⅳ 子どもの成長を応援する図書館</p>	<p>「区立図書館の利用促進（同No.19）」については、子ども向け行事を開催し、図書館の利用促進を行いました。新たにカルタ大会や、クリスマススペシャルおはなし会なども実施しましたが、昨年度より参加人数が減りました。また、中高生の利用を促進するための取組みも行いましたが、不十分な点も見受けられたため、令和2年度策定の「第五次子ども読書活動推進計画」において、充実させていきます。 「学校等との連携（同No.20）」については、学校、幼稚園、保育園、子ども園、児童館等57施設への団体貸出登録を78施設へ拡大し、多くの施設に利用していただきました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>Ⅴ 利活用の推進</p>	<p>「図書館情報システムの充実（同No.22）」については、利用者から寄せられるサービスについての意見・要望に対し、図書館情報システムの改修等の対応をしました。読書通帳の導入や電子書籍の提供について、引き続き検討していきます。</p>	<p>2.0</p>	
<p>Ⅵ 図書館整備環境の</p>	<p>「身近な場所の読書環境の整備（同No.26）」については、身近な場所での貸し出しや返却のあり方等を検討することとしていましたが、検討に至りませんでした。 「運営体制の充実（同No.27）」については、地域図書館9館の指定管理者の選定を行いました。また、日本十進分類法（NDC）10版への移行対応を行いました。この対応は、約15万点の資料の背ラベルの貼替えや、図書館情報システムに登録されているデータの修正を行い、新たな配架位置に図書を移動する作業で、全館協力の下、適切に行いました。 さらに、平成31年4月から実施の毎日開館体制の基盤整備を行いました。今後は「毎日開館体制」の効果（影響）について、館ごとの来館者数・資料貸出点数を基に分析し、必要に応じ課題に取り組みます。</p>	<p>1.9</p>	
<p>その他の取組み</p>	<p>中央図書館による漱石関連事業は、漱石山房記念館での声優による朗読会を始め、「夏目漱石」に関する図書と視聴覚展示、上映会で「こころ」を行いました。どのイベントも好評でした。また、こども図書館でも「知ってる！？夏目漱石の短編の世界」と題する展示や、職業体験に来館した中学生やインターンシップで来館した大学生に読んでもらい、POPを作成し、展示しました。 東京2020オリンピック・パラリンピックに関する事業については、新規の出版物だけでなく、過去のオリンピック・パラリンピックで活躍した選手や開催競技の記録内容に関する資料など幅広く関連本を収集し、展示コーナーの充実を図りました。</p>		

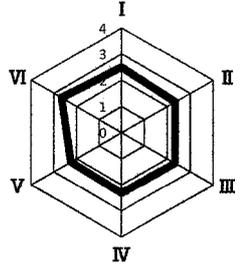
四谷図書館（紀伊國屋書店・ヴィアックス共同事業体）

<p>30年度の総括</p>	<p>基本方針に掲げる6つの方針のうち、「Ⅲ区民が集う図書館」及び「Ⅳ子どもの成長を応援する図書館」に力を入れて取り組みました。参加人数が伸び悩んだイベント等もありましたが、周知方法を見直すなど工夫していきます。 「Ⅰ区民に伝える図書館」では、前年度に引き続き、外国語や地域資料の充実に努めました。</p>	<p>評価の平均点 2.53</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>評価</p>
<p>Ⅰ区民に伝える図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No.1）」については、前年度に引き続き、外国語の資料の充実に努めました。特に英語多読関連資料の充実に努め、新たに100点購入しました。 「地域資料の充実（同No.2）」については、「四谷文化ネット」などの掲示スペースを活用して、区発行の地域情報資料、および多文化関連施設を含む近隣の公共施設の活動を紹介しました。</p>	<p>2.5</p>	
<p>Ⅱ区民を支える図書館</p>	<p>「利用者にわかりやすく役立つサービスの提供（同No.7）」については、「調べもの講座」と題する図書館での資料の活用方法や、インターネットを使った情報検索の講習を3回にわたり開催しました。 「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No.8）」については、近隣の高齢者の集いの場である地域交流館やシニア活動館と連携して、年配の方々を対象としたビブリオバトル・ワークショップを実施しました。周知が足りず、昨年度の半分しか参加がありませんでした。 「博物館・大学等との連携（No.10）」については、毎年恒例で行っている近隣にある消防博物館でのおはなし会を開催しましたが、こちらも昨年度の半分しか参加がなかったため、周知方法を再検討します。</p>	<p>2.1</p>	
<p>Ⅲ区民が集う図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No.12）」については、6事業を展開しましたが、参加人数に伸び悩みました。また、新宿御苑をフィールドにした野鳥観察会の開催日の天候が悪化したため急遽開催を取りやめた事業があったり、「内藤新宿・四谷地域に関連した事業」については、参加した方々からは好評でしたが、こちらも昨年度より参加人数が減りました。 「多様な学習機会の提供（No.13）」については、英語多読に関する講座等を開催しました。こちらは、昨年度よりも約2倍の参加があり、好評でした。</p>	<p>2.8</p>	
<p>Ⅳ子どもの成長を応援する図書館</p>	<p>「読書環境の充実（同No.17）」については、児童、生徒に対して「図書館たんけん隊」を行いました。小学校低学年と高学年の2回に分かれ、本の分類説明、館内のバックヤード見学、本を探すゲームなどを行ったところ、大勢の参加がありました。 「学校等との連携（同No.20）」については、「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」関連事業を行いました。参加校は1校減少したものの応募数は大幅に増加し、また質の優れた作品がとても多く、全国コンクールで受賞する作品もありました。</p>	<p>2.5</p>	
<p>ⅤICTの活用</p>	<p>「ICTのさらなる活用（同No.24）」については、利用者自身に調べもの手ほどきをする「一般向け調べもの応援講座」を開催しました。また、デジタルサイネージを新たに設置し、イベント告知、利用案内、図書館理念などのコンテンツをスライドショー放映しています。</p>	<p>2.0</p>	
<p>Ⅵ図書館環境の整備</p>	<p>「利用者満足度の高い図書館運営（同No.28）」については、四谷図書館で先行して月曜日開館（火曜日休館）を実施し、平成31年4月1日から全館での毎日開館体制の実施に向けて貢献できました。 「利用者の快適な環境づくり（同No.30）」については、防災マニュアルを見直し、独自に実施している防災訓練の充実に努めました。</p>	<p>3.0</p>	
<p>その他の取組み</p>	<p>夏目漱石が幼少期を過ごした四谷・内藤新宿地区に焦点をあて「漱石とその友人たち」と題する図書企画展示を実施しました。 また、障害者スポーツへの理解と支援を促進するため、体験型イベントの開催やテーマ展示を開催しました。</p>		

鶴巻図書館（株式会社図書館流通センター）

<p>30年度の総括</p>	<p>基本方針に掲げる6つの方針のうち、特に「Ⅲ区民が集う図書館」及び「Ⅳ子どもの成長を応援する図書館」について、前年度実績を上回る取組みができました。 文豪「夏目漱石」と最も繋がりが深い地域という特性を活かした様々な事業に取組むとともに、新たな事業にもチャレンジしました。 次年度は、指定管理事業者を交代するため、これまで培ってきた知識や経験を的確に引き継ぎました。</p>	<p>評価の平均点 2.32</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>評価</p>
<p>Ⅰ区民に伝える図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No.1）」については、夏目漱石に関する資料を常設展示し、一定の貸出はあるが伸び悩んでおり、「今月の1冊」などのおすすめ図書を紹介したり、書架の鮮度の保持に努めるなど工夫しました。 また、今年度から新たに「2020年東京オリンピックに向けたおもてなし企画～東京の魅力再発見！～」と題して企画展示を行いました。オリンピックの歴史や、2020年に向けて様々な角度から見たオリンピックの資料を収集し展示することで、232点の貸出がありました。</p>		<p>2.0</p>
<p>Ⅱ区民を支える図書館</p>	<p>「区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援（同No.9）」については、区の地場産業である「印刷・製本」のワークショップを開催しました。地場産業の知識や理解を深めていただく機会として、糸がかりによる製本講座は、アンケートでも、「丁寧に教えて頂きよかったです」「とても楽しかった」など、大変好評でした。 また、大学教授による夏目漱石の講演会を開催したり、朗読グループの方々にご協力いただいた朗読会では、夏目漱石の作品を演目にしたところ、参加者に大変喜ばれました。</p>		<p>2.1</p>
<p>Ⅲ区民が集う図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No.12）」については、毎年恒例の事業がマンネリにならないよう様々な工夫を凝らしたため、安定した参加者数が得られました。初めて取り組んだワールドカフェ（※）については、参加者同士の交流が図れたとともに、存分に楽しんでいただけました。 「区民との協働（No.15）」についても、新規事業を展開しました。地域の子育て世代を対象に、近隣の写真館と早稲田大学生がコラボしたおたのしみ会を定期的に開催しました。1回あたりの人数は、想定していたよりも多く、毎回30人前後が参加されました。 （※）テーマに対し、意見を出し合って考え、わかりやすく情報をまとめ直し、より深く理解する参加型グループワークです。</p>		<p>2.5</p>
<p>Ⅳ子どもの成長を応援する図書館</p>	<p>「区立図書館の利用促進（同No.9）」については、「季節の風物を題材としたおりがみ会」「絵本ライブ」などを開催し、親子の交流の場を設けることができました。 「学校等との連携（同No.20）」については、「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」の関連事業に伴い、担当校への丁寧な説明を心がけるとともに、テーマの決め方を始め、資料の調べ方や、まとめ方について講義しました。</p>		<p>2.7</p>
<p>ⅤICTの利活用</p>	<p>「ICTのさらなる活用（同No.24）」については、今年度も引き続き、利用者用パソコンに閲覧可能なデータベースの一覧を掲示したり、データベースの活用を促しました。また、データベースの使い方などの問い合わせに際して、迅速な回答を提供できるように各種マニュアル等のファイルを常備しました。</p>		<p>2.0</p>
<p>Ⅵ図書館環境の整備</p>	<p>「利用満足度の高い図書館運営（同No.28）」については、当初の計画通り、すべてのイベントでアンケートを実施し、参加者の満足度調査に加え、利用者が今何を望んでいるのかを把握し次への一歩に役立てることができました。特に子どものイベントの開催日時について、貴重なご意見を伺うことができ、多くの利用者が参加できるように工夫しました。 「人材の育成・活用（同No.29）」については、スタッフ2名が司書資格を取得するなど、スキルの向上に努めました。</p>		<p>2.7</p>
<p>その他の取組み</p>	<p>夏目漱石生誕150周年を機に平成29年1月から行っている常設展示を継続するとともに、夏目漱石の研究をされている先生による講演会も2回開催しました。 また、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に当たり、4館（戸山・鶴巻・下落合・角筈）合同で事業を実施しました。鶴巻図書館では、東京での「おもてなし」をテーマに東京都内の観光スポットや、商業施設の紹介のほか、オリンピックの歴史など様々な角度から見たオリンピックの資料を収集展示しました。</p>		

西落合図書館（紀伊國屋書店・ヴィアックス・不二興産共同事業体）

<p>30年度の総括</p>	<p>基本方針に掲げる6つの方針のうち、特に「I区民に伝える図書館」と「VI図書館環境の整備」に力を入れて取り組みました。 「II区民を支える図書館」においては、パスファインダー（※1）の作成やレファレンスサービス（※2）の周知について課題を残したため、次年度は工夫して取り組んでいきます。 （※1）調べるときに役立つ基本的な図書資料、情報源、その探し方などを紹介した情報資料をいいます。 （※2）利用者の求める情報や資料を探すお手伝いをするサービスです。</p>	<p>評価の平均点 2.40</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>評価</p>
<p>I区民に伝える図書館</p>	<p>「地域資料の充実（基本方針No.2）」については、「落合文豪散策マップ」の活用にとどまらず、区などが発行した観光マップや防災関連資料なども積極的に配布しました。 「他自治体等との連携（同No.5）」については、イベントポスター等を隣接区の図書館と相互で掲示するなど、情報発信を行いました。</p>	<p>2.5</p>	
<p>II区民を支える図書館</p>	<p>「区民の課題解決支援（同No.6）」については、昨年度に引き続き、子育てで抱える不安や疑問を解決できるような子育て講座を開催しました。今年度は、託児サービスを設けたり、テーマを「アンガーマネジメント」とし、また、保育園と協働で実施するなど工夫したため、ご夫婦の参加が多く大変好評でした。 「博物館・大学等との連携（同No.10）」については、「京王電鉄と新宿の歴史」をテーマに近隣にある鉄道模型会社の会場を借りて講座を開催しました。区の歴史と鉄道の関わりなどのお話があり、地元への愛着と興味を一層深めてもらうことができました。アンケートでも図書館が主催したことへの驚きの声を始め、多くの高評価をいただきました。</p>	<p>2.4</p>	
<p>III区民が集う図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No.12）」については、漱石山房記念館との初めての協働事業で、「ミステリークエスト」と題する施設を訪れないと解けない問題集を両館で配付しました。764枚の問題集が利用者に行き渡り、想定を大きく超えました。また、漱石山房記念館を会場にブックトークも行い好評でした。 「区民との協働（同No.15）」については、利用者から「しおり」や「かるたの絵札」を募集し、それぞれ事業を開催しました。</p>	<p>2.3</p>	
<p>IV子どもの成長を応援する図書館</p>	<p>「新宿区子ども読書活動推進計画（同No.16）」については、子ども読書の日と読書週間に合わせ、「ぬいぐるみお泊まり会」を行い読書へのきっかけを作りました。保護者からは「子どもたちの想像力を豊かにしてくれる」などの意見を多くいただきました。 「読書活動への支援（同No.18）」については、区立小学校の朝読の支援を行う予定でありましたが、保護者ボランティアがいらっしゃるとのことので要請はなかったため、代わりに読書支援としてビブリオバトル（※）を提案しました。教師、学校図書司書、保護者の協力を得てビブリオバトルを行うことができ、本に興味をもってもらうきっかけづくりができました。 （※）みんなで集まって5分で本を紹介。読みたくなった本（＝チャンプ本）を投票して決定する、スポーツのような書評会です。</p>	<p>2.3</p>	
<p>VICTの推進</p>	<p>「ICTのさらなる活用（同No.24）」については、「子ども向けのコンピュータプログラミング講座」を開催しました。昨年度、初めて開催したところ、定員オーバーで参加出来ない子どもたちが大勢いたため、同じ内容で開催しました。今回も定員を上回る申し込みがあり保護者から論理的思考力が高まるなど、高い評価を得られました。</p>	<p>2.3</p>	
<p>VI図書館環境の整備</p>	<p>「利用満足度の高い図書館運営（同No.28）」については、イベント終了後には必ずアンケートを実施し、結果を講師とも共有し、次回のイベントに活かしています。また、満足度調査アンケートの結果をサービス向上に活かし、今回いただいたご意見により、自動貸出機の横に荷物置き台を設置しました。 「人材の育成・活用（同No.29）」については、スタッフ1名が司書資格を取得するなど、スキルの向上に努めました。</p>	<p>2.7</p>	
<p>その他の取組み</p>	<p>西落合図書館では、これまで子育て支援などに力を入れてきましたが、今年度は新たに、病人や障害者を抱えている方への不安や課題解決につながる講座を開催しました。講師には、ダウン症の子どもを育てている女優にお願いしたり、日本ダウン症協会から広報協力をいただいたりしました。また、他の障害のある参加者もいたことから、手話通訳手配や聞こえ支援スピーカー（磁気ループ）を用意したりし、想定を大きく上回る参加がありました。</p>		

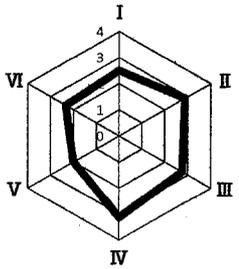
戸山図書館（株式会社図書館流通センター）

<p>30年度の総括</p>	<p>基本方針に掲げる6つの方針のうち、特に「I区民に伝える図書館」「IV子どもの成長を応援する図書館」について、力を入れて取り組みました。戸山図書館の特色である障害者サービスの充実を図るとともに、高齢者や介護が必要な方、される方への支援、児童・生徒への読書支援にも貢献しました。</p>	<p>評価の平均点 2.90</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>評価</p>
<p>I区民に伝える図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No.1）」については、今年度新たに、障害をテーマにした書籍や障害がある方の著作等を収集し、常設展示としました。また、闘病記と介護をテーマにした資料についても新たに収集し、常設展示としました。 「電子資料等の活用（同No.3）」については、電子化した新宿区発行の「新宿と庭園」とマルチメディアDAISY（※1）に収録された絵本の音声付電子書籍をタブレットに搭載し、カウンター前に常設、電子書籍をいつでも体験できるようにしました。 （※1）DAISYには、録音図書の声源DAISY、テキストDAISY、マルチメディアDAISYの3種類があります。音声DAISYは、資料交換者による朗読したものです。テキストDAISYは、文字を合成音声ソフトで読み上げる仕様、マルチメディアDAISYは、パソコン等で文字・音声・画像の再生できる録音図書の一種で、音声で読み上げている文字がハイライトされたり、文字の大きさや読む速さを変えられるため、学習障害などで読むことが困難な方に有効なツールです。</p>	<p>3.3</p>	<p>3.3</p>
<p>II区民を支える図書館</p>	<p>「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No.8）」については、日本点字図書館を始め、近隣の障害者施設や団体等に利用案内を配布したり、連携を呼びかけ、図書館で行っている障害者サービスを周知しました。また、国会図書館へ音声DAISYデータ（※1）を提供しており、公立図書館の中で最もダウンロード件数が多いことから、7月6日に行われた「2018年度サピエ図書館（※2）利用者研修会」では、事例発表を行いました。 （※2）サピエ図書館は、視覚障害者等を対象として、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営する、インターネット上の電子図書館です。</p>	<p>3.1</p>	<p>3.1</p>
<p>III区民が集う図書館</p>	<p>「多様な学習機会の提供（同No.13）」については、視覚障害者が読み手として行う朗読会を開催したり、国立国際医療研究センターと連携した医療セミナー、身近な法律や経済問題をテーマにした講演会などを実施しました。 「情報の生産・発信・交流の支援（同No.14）」については、多言語での子ども向けやゲーム等を取り入れたイベントを開催しました。おはなし会を通し、日本との言葉や文化の違いを感じてもらって、他国への興味を持つきっかけに出来ました。</p>	<p>2.6</p>	<p>2.6</p>
<p>IV子どもを成長を応援する図書館</p>	<p>「区立図書館の利用促進（同No.19）」については、季節感のある工夫を凝らした親子で楽しめる工作会を開催しました。前年度に比べて2倍以上の参加がありました。また、学校教育でも注目されているアクティブラーニングを取り入れたワールドカフェ（※3）を開催し、多くの参加がありました。 「学校等との連携（同No.20）」については、「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」への応募が昨年度を上回り、充実した内容の作品が集まりました。 （※3）テーマに対し、意見を出し合って考え、わかりやすく情報をまとめ直し、より深く理解する参加型グループワークです。</p>	<p>3.4</p>	<p>3.4</p>
<p>VICTの推進</p>	<p>「ICTのさらなる活用（同No.24）」については、音声資料等をテキストDAISY化（※1）し、製作期間の短縮化と製作コストの削減を図るとともに、有償ボランティア用マニュアルも整備しました。また、マルチメディアDAISYを使ってのお話を開催しました。iPadを使用し、自分で操作しながら、誰もが楽しめる読書への理解を深めることができました。</p>	<p>2.6</p>	<p>2.6</p>
<p>VI図書館環境の整備</p>	<p>「人材の育成・活用（No.29）」については、戸山図書館の特色である障害者サービスの研修を重点に行いました。職員全員が業務内容を理解し、登録や機器の使い方、障害をお持ちの方への初期対応ができるようにしました。 「利用者の快適な環境づくり（同No.30）」については、消防署の指導の下、戸山ハイツ11号棟の住民の方、図書館利用者、生涯学習館利用者、職員の参加を含めた地域交流大規模訓練を行いました。</p>	<p>2.5</p>	<p>2.5</p>
<p>その他の取組み</p>	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック開催に当たり、4館（戸山・鶴巻・下落合・角筈）合同で事業を実施しました。戸山図書館では、「グローバル」をテーマに世界遺産などの展示を行いました。 新宿ゆかりの文豪、夏目漱石の常設展示コーナーを新設しました。コーナーには、夏目漱石の作品、研究書などを含め、夏目漱石に関連のある資料（一般112点・児童68点）を取り揃えました。また、パスファインダー（※4）を作り、図書の紹介のほか、夏目漱石の生涯について簡単にまとめたものを作成し配布しました。 （※4）調べるときに役立つ基本的な図書資料、情報源、その探し方などを紹介した情報資料をいいます。</p>	<p></p>	<p></p>

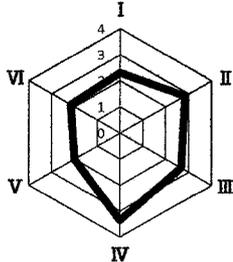
北新宿図書館（ミライト・リブネット共同事業体）

<p>30年度の総括</p>	<p>基本方針に掲げる6つの方針のうち、特に「Ⅱ区民を支える図書館」と「Ⅲ区民が集う図書館」に力を入れて取り組みました。外国人や高齢者の利用が多い地域のため、外国人には日本の文化を、日本人には外国の文化を知っていただくための事業を行いました。次年度は、指定管理者を交代するため、これまで培ってきた知識や経験を的確に引き継ぎました。</p>	<p>評価の平均点 2.13</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			
<p>Ⅰ区民に伝える図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No.1）」については、多文化共生地区にふさわしく、外国語資料を充実させるとともに、多言語による館内表示を行いました。 「地域資料の充実（同No.2）」については、区や柏木地区に関する資料を収集しました。今年度は新たに地域の団体やベトナム人向けの生活情報紙も収集し提供しました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>Ⅱ区民を支える図書館</p>	<p>「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No.8）」については、家庭配本の紹介と利用促進しました。北新宿図書館では、高齢者の利用が多いので、資料の案内など必要に応じて丁寧に行いました。また、館内を利用する外国人にわかりやすい案内をしました。 「区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援（同No.9）」については、北新宿第二地域交流館で開催している脳トレ講座に毎月出張し、朗読をしました。毎回14～15名の参加者があり、定着した講座であると実感できました。また、北新宿生涯学習館など併設の施設すべてが参加する「きたさんまつり」では、リサイクル本を提供し、夕方には全てなくなり、盛況のうちに終了しました。</p>	<p>2.1</p>	
<p>Ⅲ区民が集う図書館</p>	<p>「多様な学習機会の提供（同No.13）」については、7事業を行いました。そのうち、多文化共生を考えたテーマを設定しての講演会では、7月に「ユネスコ世界記憶遺産 朝鮮通信使の過去・現在・未来」と題する講演会を朝鮮通信使研究の方に、9月には、南極越冬隊で調理を担当されていた方をお招きし、南極の生活についてお話いただきました。また、韓国を中心とした料理教室や語学講座の他、新たにベトナム料理、ミャンマー語講座なども行いました。新たな取組みとテーマを工夫したことで、昨年よりもほとんどのイベントで参加人数が増え好評でした。</p>	<p>2.6</p>	
<p>Ⅳ子どもを成長を応援する図書館</p>	<p>「読書環境の充実（同No.17）」については、子どもの読書週間と秋の読書週間には、ポップの設置、缶バッジの装着などで読書週間であることを周知しました。特に、秋の読書週間は、「子どもの本の相談強化週間」とし、読書相談などが相次ぎました。また、期間中は、児童向けのオリジナルブックリストを手取る利用者も多く見受けられました。 「読書活動への支援（同No.18）」については、人形劇と映画会を行いました。どちらも好評で、図書館の利用促進に繋げることができました。</p>	<p>2.1</p>	
<p>ⅤICTの推進</p>	<p>「ICTのさらなる活用（同No.24）」については、イベントの講師の方にSNSでイベントを案内していただきました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>Ⅵ図書館環境の整備</p>	<p>「利用者満足度の高い図書館運営（同No.28）」については、利用者アンケートを実施し、ニーズを取り入れ次年度の計画づくりに役立てました。 「人材の育成・活用（同No.29）」については、中央図書館で主催の研修を始め、指定管理事業者で行うレファレンス研修などに参加しました。職員が受講した研修を基に、職員間で情報共有を行いました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>その他の取組み</p>	<p>夏目漱石関連事業としては、季節をテーマにした朗読会のなかで【「朗読で味わう文学の世界」～漱石特集～】と題する朗読会を行いました。また、「漱石三昧」と題する展示も行いました。展示した資料の1.2倍の資料が貸し出されました。 東京2020オリンピック・パラリンピックをテーマにした展示を行いました。4月に「パラリンピック・オリンピック」と題する展示を、9月に「オリンピック・パラリンピックと東京」を行い、49点の貸出がありました。</p>		

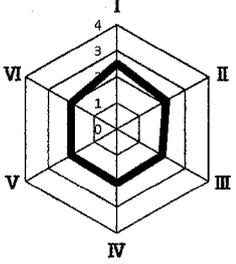
中町図書館（丸善雄松堂株式会社）

<p>30年度の総括</p>	<p>基本方針に掲げる6つの方針のうち、特に「Ⅱ区民を支える図書館」と「Ⅳ子どもの成長を応援する図書館」に力を入れて取り組みました。これまで月に2回実施していた赤ちゃん連れの利用者が気兼ねなく利用できる「赤ちゃんタイム」を毎週火曜日に変えて取組んだり、建物の障壁に負けない工夫を凝らし、利用者が満足できる図書館を目指して運営しました。</p>	<p>評価の平均点 2.60</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>評価</p>
<p>Ⅰ区民に伝える図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No.1）」については、神楽坂に関連する小説やエッセイ、史跡、名所などの資料を収集しました。利用者から神楽坂に関する本の問い合わせも多く、地域資料コーナーを設置したことにより、利用者が資料に早く辿り着ける場所となりました。 また「子育て支援コーナー」を新設し、このコーナーに立ち寄れば、離乳食のことから子育て全般のことまで一目でわかる棚となりました。</p>	<p>2.5</p>	
<p>Ⅱ区民を支える図書館</p>	<p>「外国人・障害者・高齢者に対する支援（No.8）」については、中町図書館はエレベーターがない地下に位置することで、利用がしづらくなっています。そのため、図書館の様々なサービスが受けられるよう図書館の入口にあるインターホンを活用して、地下に降りられない方のためにスタッフが予約本の受取り代行を行うなどの対応をしました。また、スタッフ全員がサービス介助士の資格を取得しました。 「博物館・大学等との連携（同No.10）」については、東京理科大学大学院生の協力の元、算数教室を開催しました。併せて行った関連展示も好評でした。</p>	<p>2.9</p>	
<p>Ⅲ区民が集う図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No.12）」については、映画会を始め、朗読会、落語会、街歩きなどを開催しました。いずれのイベントも参加者のほとんどが満足されたようです。また古書の稀覯本（希少価値の高い古書）の展示を行いました。展示した本はガラスケースに入れたものであるため、毎日ページを変えるとともに、関連本のブックリストを作成し、配布も行いました。 「区民との協働（同No.15）」については、これから読み聞かせ活動を行いたい方を対象に、3回連続講座を実施しました。受講者のうち2名が活動を開始しました。</p>	<p>2.8</p>	
<p>Ⅳ子どもの成長を応援する図書館</p>	<p>「区立図書館の利用促進（同No.19）」については、工作会や人形劇、英語絵本のおはなし会などを開催しました。昨年度とほぼ同数の参加者数で、地域に定着した事業が行えました。また、小学生を対象にした今年で5年目の「なかまち調査隊」については、図書館員の仕事や分類、レファレンス体験、装備体験などをオリジナル調査ノートに沿って説明し、参加者には「なかまち調査隊認定証」と記念品を贈呈しました。 「学校等との連携（同No.20）」については、中学校の司書・図書委員と連携して、おすすめ本とおすすめコメントを中町図書館内に展示するとともにブックリストを作成・配布しました。</p>	<p>3.1</p>	
<p>ⅤICTの活用</p>	<p>「ICTのさらなる活用（同No.24）」については、地元企業と連携し、デジタル技術を活用したイベントを開催しました。また、Facebookでイベントや新刊案内をアップロードし、中町図書館のアピールにつなげました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>Ⅵ図書館環境の整備</p>	<p>「人材の育成・活用（同No.29）」については、図書館員のための英会話講座や接遇研修など、利用者サービスに直結する研修に参加しました。また、中央図書館が主催するレファレンス研修等に参加し、スタッフの育成に力を入れました。</p>	<p>2.3</p>	
<p>その他の取組み</p>	<p>地域にお住いの郷土史研究家の案内で、夏目漱石の足跡を辿る企画「漱石の神楽坂を歩く」を開催しました。キャンセル待ちが多数出るなど大変人気で、また開催して欲しいとの声が多数ありました。 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組みとしては、児童向けのパスファインダー（※）を作成し、オリンピック・パラリンピックに興味を持っていただく工夫をしました。 （※）調べるときに役立つ基本的な図書資料、情報源、その探し方などを紹介した情報資料をいいます。</p>		

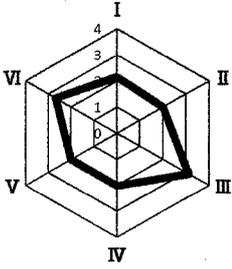
角筈図書館（株式会社図書館流通センター）

30年度の総括	<p>基本方針に掲げる6つの方針のうち、特に「Ⅱ区民を支える図書館」及び「Ⅳ子どもの成長を応援する図書館」について力を入れて取り組みました。ビジネス支援の拠点館として、新たな事業をいくつか行った結果、新規登録者を大幅に増やすことができました。</p>	<p>評価の平均点</p> <p>2.55</p>	
基本方針に基づく主な取組・評価			評価
Ⅰ区民に伝える図書館	<p>「資料の充実（基本方針No.1）」については、ビジネス関連資料（区内全域に所在する企業の社史、業界新聞・専門誌など）を積極的に収集し提供しました。角筈図書館では、ビジネス支援に力を入れていることから業界紙を約350種類を揃えており、最新リストを更新し、利用しやすいように工夫しました。また、ビジネスコーナーの資料を整理し、見やすく、わかりやすい棚づくりを行いました。</p>	2.3	
Ⅱ区民を支える図書館	<p>「区民の課題解決支援（同No.6）」については、新規に3事業を実施しました。これまでも中小企業診断士によるビジネス相談会を行ってましたが、利用者数が伸び悩んでいるため、新たに行政書士によるビジネス講座や社会労務士によるハラスメント講座などを開催し、講座の受講生から展開を図るなどの工夫を凝らしました。「区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援（同No.9）」については、西新宿シニア活動館と連携したり、近隣の養護学校へ出張おはなし会を行うなどしました。</p>	2.8	
Ⅲ区民が集う図書館	<p>「魅力あるイベントの実施（同No.12）」についても新規に3事業を実施しました。近隣のカフェオーナーによる珈琲講座では、講座後、普段余り貸出のない資料が多く貸出されたり、江戸東京野菜の復活と栽培状況を紹介する講座では、地元の参加者が多く、地域密着のイベントができました。また、ライフプランセミナーや、街歩きなども行い、どの講座も好評でした。「情報の生産・発信・交流の支援（同No.14）」については、全館で行っている平和事業の際に「平和をフィクションとノンフィクションから読む」と題する展示をしたところ、例年よりも多くの貸出がありました。</p>	2.7	
Ⅳ子どもの成長を応援する図書館	<p>「区立図書館の利用促進（No.19）」については、13事業を展開し、なかでも英語おはなし会においては、昨年度よりも2.5倍の参加者がありました。おはなし会やその他の事業においても参加者が増えており、事業が定着してきたことを実感しました。「学校等との連携（同No.20）」については、今年度も「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」関連事業に力を入れました。そのため、全国大会では2年連続で、『文部科学大臣賞』を頂く快挙を成し遂げることができました。</p>	3.4	
ⅤICTの推進の活用	<p>「ホームページの充実（同No.23）」については、角筈図書館では、区立図書館ホームページ内の「ビジネス情報」のページを受け持っていますが、情報の更新を行う次年度に向けて準備をしました。「ICTのさらなる活用（同No.24）」については、利用者用インターネットパソコンで閲覧できるデータベースの操作手順などを整備し提供しました。</p>	2.0	
Ⅵ図書館環境の整備	<p>「利用者満足度の高い図書館運営（同No.28）」については、毎年行っている利用者アンケートに基づき、「強み・弱み」の確認や課題の分析を行い、より良いサービスに繋げるよう検討しました。「利用者の快適な環境づくり（同No.30）」については、居心地の良い空間作りを考え、館内にアートフラワーを設置するなど工夫を凝らしました。</p>	2.2	
その他の取組み	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック開催に当たり、4館（戸山・鶴巻・下落合・角筈）合同で事業を実施しました。角筈図書館のテーマは、「日本と海外ビジネスとの繋がり」と題する展示を行いました。展示資料の収集にあたり、幾つかの大使館と連携を図るなどしたことで、よりリアルな展示ができました。また、新宿区漱石山房記念館オープン1周年を記念して、「漱石と月」と題し、漱石の名文句のエピソード、また意外な一面など、漱石の人物像について語られている資料を中心とした展示を行いました。</p>		

大久保図書館（紀伊國屋書店・ヴィアックス共同事業体）

<p>30年度の総括</p>	<p>基本方針に掲げる6つの方針のうち、特に「I区民に伝える図書館」及び「II区民を支える図書館」について力を入れて取り組みました。外国人が多く暮らし、働き、学ぶ地域の特色を捉えた図書館運営ができました。今後も外国人の生活に密着した役立つ情報発信に努めていきます。</p>	<p>評価の平均点 2.12</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>評価</p>
<p>I区民に伝える図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No.1）」については、様々な言語の外国語資料を所蔵しているということが広く知られるようになり、寄贈の申し入れが急激に増えました。毎年購入している、韓国（朝鮮）語、中国語に加え、タイ語、タガログ語の本の購入と、ネパール語、ペルシャ語、アラビア語などの寄贈を受け入れることにより、資料を充実させました。 「地域資料の充実（同No.2）」については、できるだけ幅広く収集し、わかりやすい設置を心がけました。特に、分別ごみの出し方（10言語）、就労に関する情報（6言語）など生活に密着した役立つ情報を収集し、外国の方への発信に努めました。</p>	<p>2.5</p>	
<p>II区民を支える図書館</p>	<p>「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No.8）」については、10事業を展開し、なかでも大久保地域で生活する在日外国人とともに行った展示は大変好評でした。日本ではめったに見ることができない写真や絵画を展示したことで、多くの方に関心を持っていただけました。また、中国語・韓国（朝鮮）語で対応可能なスタッフを配置したり、日本語が難しい方々へ利用案内や書架の案内などを行い、図書館と利用者との距離を縮めることに大きく貢献しました。</p>	<p>2.2</p>	
<p>III区民が集う図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No.12）」については、大久保地域に関連した「新宿学」の講座や企画展示を行いました。また、今回で5回目の外国人と日本人とが一緒に参加してのビブリオバトル（※）を開催しました。多くの参加があり、「本を通しての国際交流」を推し進めることができました。 「情報の生産・発信・交流の支援（同No.14）」については、読書案内、イベントの紹介及び実施したイベントの様子や内容を掲載したものを発行し、図書館事業のアピールに努めました。 （※）みんなで集まって5分で本を紹介。読みたくなった本（＝チャンプ本）を投票して決定する、スポーツのような書評会です。</p>	<p>2.0</p>	
<p>IV子どもの成長を応援する図書館</p>	<p>「学校等との連携（同No.20）」については、出張おはなし会の際に多言語で行ったり、日本語学校の図書館見学を積極的に受け入れるなど、各種学校等への支援や多文化サービスの情報発信に努めました。 「絵本でふれあう子育て支援（同No.21）」については、各保健センターで実施している3歳児健診および3～4か月児健診の乳幼児、保護者を対象に、絵本の読み聞かせを実施し、子どもが絵本とふれあう場の提供に協力しました。その際、外国のお母さん方には、多文化サービスの情報もお伝えしました。</p>	<p>2.1</p>	
<p>VICTの活用</p>	<p>「ICTのさらなる活用（同No.24）」については、利用者用インターネットパソコンから閲覧可能なデータベースを利用者に広く周知し、活用できるよう利用方法の案内を充実させるとともに、職員の研修を定期的に行い、レファレンスサービスの向上に努めました。また、指定管理事業者が管理しているサイトに「やさしい日本語の本を読んでみませんか？」のポスターを掲示したり、日本語の習得に関心がある外国人を対象に、Facebookでのアクセスを可能にするなど情報発信に努めました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>VI図書館環境の整備</p>	<p>「利用者満足度の高い図書館運営（No.28）」については、毎年行っている利用者アンケート用紙の工夫を図りました。外国人向けにふりがなをつけたり、簡易な日本語に変換したアンケート用紙を作成し、外国人からのご意見を汲み取る努力をしました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>その他の取組み</p>	<p>オリンピックをテーマにした展示コーナーを中学生の職場体験で、中学生と一緒に設置しました。展示資料の選定を始め、POPの作成など、中学生自身に行ってもらったため、中学生が立ち寄りやすいコーナーができました。 また、今年度も国際交流基金ライブラリーの協力により、「Around the World 特別展示」と題して、各国語に翻訳された漱石の作品を集めた“Soseki Natsume”展を実施しました。様々な言語に翻訳された漱石作品を目にして足を止める方々がたくさんおり、昨年度と比べ約3.5倍の参加がありました。</p>		

下落合図書館（株式会社図書館流通センター）

<p>30年度の総括</p>	<p>基本方針に掲げる6つの方針のうち、特に「I区民に伝える図書館」及び「III区民が集う図書館」に力を入れて取り組みました。下落合図書館の特色である介護・高齢者支援、育児・家庭支援を中心に事業を展開しました。また、地域ゆかりの手塚治虫や赤塚不二夫に関する資料も積極的に行い、その魅力を発信するために案内ロボットの「pepper」を活用した紹介ができました。</p>	<p>評価の平均点 2.33</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>評価</p>
<p>I区民に伝える図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No.1）」については、地域の特性を活かし、介護・高齢者支援、育児・家庭支援の資料の充実を図りました。介護する人もされる人も役立つ実用的な資料を約200点、子育て資料についても関係者が必要とする資料を中心に約280点、新たに所蔵しました。 「地域資料の充実（同No.2）」については、染色業、地場産業などを紹介する資料を収集し、地域資料コーナーの充実を図りました。また、今年度より新たに林美美子や尾崎翠、佐伯裕三など「ゆかりの作家・芸術家」という見出しをつくり、利用者の関心を高める工夫を行いました。</p>		<p>2.2</p>
<p>II区民を支える図書館</p>	<p>「利用者にわかりやすく役立つサービスの提供（同No.7）」については、初めて来館しても理解できるように閲覧席用のデジタルサイネージや自動貸出機などの使い方案内を新設しました。 「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No.8）」については、筆談ボードやコミュニケーションボード（※1）の設置や、リーディングトラッカー（※2）の使い方案内を作成し設置するなど、障害者や外国人利用者への配慮を行いました。また、外国籍の方の利用が多く見込まれる閲覧席の利用方法については、英語版と中国語版を作成しました。 （※1）イラストを指さしすることで意思を伝えることができるツールのことです。（※2）読書をサポートする補助具です。</p>		<p>2.0</p>
<p>III区民が集う図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No.12）」については、8事業を展開し、なかでも夜の時間帯に行った「アカデミアナイト」は、好評であったため昨年度よりも回数を増やして開催しました。毎回テーマを変えることで、生涯学習の支援につながる機会を提供できました。 「情報の生産・発信・交流の支援（同No.14）」については、全館で行っている平和事業の際に「物語に描かれた戦争と平和」というテーマで展示を行ったところ、貸出点数が2倍以上増えるなど、図書館利用を通じて平和について考えるきっかけを提供することができました。</p>		<p>3.1</p>
<p>IV子どもたちの成長を応援する図書館</p>	<p>「区立図書館の利用促進（同No.19）」については、6事業を展開しました。どの事業も概ね昨年度と同様の参加がありましたが、中高生向けの「夢を叶えよう講座」は、周知活動が弱く、参加者数が昨年度を大きく下回る結果となってしまいました。将来を考える中高生が様々な業界と触れ合う良い機会だと思うので、次回は地域の学校などへ積極的に広報を行っていきます。</p>		<p>2.0</p>
<p>ICTの推進</p>	<p>「ICTのさらなる活用（同No.24）」については、案内ロボットの「pepper」を活用し、利用者自ら基本情報や新規情報を得られるように随時工夫を行いました。また、職場体験の中学生や図書館実習生によるおすすめ図書紹介や、地域の作家・夏目漱石の作品朗読コンテンツなど、それぞれの事業を盛り上げる一役を担うことができました。</p>		<p>2.0</p>
<p>VI図書館環境の整備</p>	<p>「利用者満足度の高い図書館運営（同No.28）」については、イベント開催時のアンケートを始め、ご意見箱やカウンター、フロアなど直接を含め頂いた意見を記録し、関係各部への報告を適切に行うと同時に改善に役立てました。また、毎年行っている利用者満足度調査では、職員の接客満足度が5ポイント向上しました。 「人材の育成・活用（同No.29）」については、区の「子育て支援員養成講座」を2名が受講するなど、館内外の研修に積極的に参加しました。また、認知症患者やその家族などが抱える悩みなどの情報を積極的に収集し、情報共有を図ることで、職員のスキル向上に努めました。</p>		<p>2.7</p>
<p>その他の取組み</p>	<p>常設にてオリンピック・パラリンピックの精神、学べるスポーツの本、アスリートの伝記、障害をテーマにしている本、我が国の伝統文化など、様々な観点から平昌オリンピック・パラリンピック開催から東京開催へ機運を高める展示を行いました。また、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に当たり、4館（戸山・鶴巻・下落合・角筈）合同での事業も実施しました。 漱石山房記念館の開館一周年記念に合わせ、特別展示を実施しました。期間中は、関連資料の展示のほかに、Pepperによる漱石作品の朗読コンテンツや、好きな夏目漱石の作品に投票してもらう参加型企画も行い、多くの方に多くの利用者に夏目漱石の魅力を伝えることができました。</p>		

Ⅲ 次年度サービス計画の対応

基本方針の項目	次年度に向けた重点項目（区立図書館全館）
I. 区民に伝える図書館	
1 資料の充実	全館でオリンピック・パラリンピックの関連資料を充実する。
2 地域資料の充実	地域で発行する資料を効率よく収集するための検討を行う。
3 電子資料等の活用	引き続き、電子書籍に関する検討を行う。（実行計画）
4 行政資料の充実	行政資料の収集に努め、区の職員が施策立案に活用できるよう周知していく。
5 他自治体等との連携	他の自治体の図書館等と協力し、図書館資料の相互貸借を行うとともに、区内在住、在勤、在学性がより利用しやすい仕組みづくりを検討する。
II. 区民を支える図書館	
6 区民の課題解決支援	区民の課題解決支援のための情報提供を促進する。
7 利用者にわかりやすく役立つサービスの提供	館内掲示物を始め、利用案内の工夫を行う。
8 外国人・障害者・高齢者に対する支援	引き続き、全館で、外国人・障害者・高齢者へ配慮した図書館サービスを行う。
9 区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援	様々な人々の社会貢献的な活動の支援を通じて、図書館サービスを支援していただく工夫をする。
10 博物館・大学等との連携	引き続き、歴史博物館や漱石山房等と連携を図るとともに、区内のミニ博物館等とも連携していく。
11 行政支援	各部の事業検討に役立つ新聞報道や裁判例など、図書館が提供可能な情報を具体的にPRする。
III. 区民が集う図書館	
12 魅力あるイベントの実施	地域ごとのニーズを的確に捉え、魅力あるイベントの実施に努めるとともに、地域でのイベントと日時が重ならない工夫を行う。
13 多様な学習機会の提供	区民の自発的な活動発表の機会や環境を整備する。
14 情報の生産・発信・交流の支援	参加型グループワークなどで区民同士をつなぐきっかけを作る。
15 区民との協働	図書館サポーターの活動を広く紹介し、区民と協働した運営を行う。
IV. 子どもの成長を応援する図書館	
16 「新宿区子ども読書活動推進計画」	子どもの読書活動を推進する。（実行計画）
17 読書環境の充実	本に触れ、本を親しむ機会を整えていく。
18 読書活動への支援	引き続き、子どもたちが読書に興味を持たせる工夫を行う。
19 区立図書館の利用促進	季節の伝統行事などを実施し、子どもたちに図書館に興味を持たせる工夫を行う。
20 学校等との連携	図書館を使った調べる学習ツールを活用し、主体的・対話的で深い学びを支援する。
21 絵本でふれあう子育て支援	各保健センターで実施している読み聞かせの参加向上をめざす。（実行計画）
V. ICTの利活用の推進	
22 図書館情報システムの充実	図書館情報システムに寄せられた利用者からの要望を踏まえ、改修が必要な項目について改善を図る。
23 ホームページの充実	引き続き、利用者への情報提供を的確に行う。
24 ICTのさらなる活用	全館で各種データベースのPRや活用方法など周知を工夫する。
VI. 図書館環境の整備	
25 新中央図書館建設と地域図書館の配置	引き続き、新中央図書館等の建設について検討していく。（実行計画）
26 身近な場所の読書環境の整備	引き続き、学校や児童館など団体貸出の配本サービスなど行う。
27 運営体制の充実	事業評価等を通じて、適正な運営を行う。
28 利用満足度の高い図書館運営	区民優先制度について検討する。
29 人材の育成・活用	効果的な運営を行うとともに接遇を高め、資質の向上に努める。
30 利用者の快適な環境づくり	引き続き、利用者の快適な環境を作っていく。
全館共通テーマ	
1 夏目漱石関連事業	漱石山房記念館とも連携しながら、新宿ゆかりの人物である夏目漱石の魅力を区民に伝える。
2 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業	東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた気運醸成を図るとともに、大会終了後も東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした読書の推進を図る。
3 区の各部署との連携事業	区民の課題解決支援のための情報提供を促進するために、区の各部署と連携した事業を行う。
4 図書館を応援する地域団体等との協働事業	区民の課題解決支援のための情報提供を促進するために、図書館を応援する地域団体等と連携した事業を行う。
5 調べ学習への支援	子どもの学びを応援するために、調べ学習の支援を行う。

Ⅳ自己評価（詳細）

中央・こども図書館

基本方針	事業内容	指標	単位	数量 上段：30年度 下段：29年度	実績	自己評価
Ⅰ 区民に伝える図書館						
1資料の充実	①バランスや地域の特性を考慮した資料収集計画を毎年作成し、計画に基づいて資料収集を行います。区の歴史、産業、地域資料等の中長期的・重点的な収集に配慮しつつ取り組みます。	資料点数	点	55,950 (54,010)	区立図書館全体のバランスを考慮しつつ、ビジネス街や外国人の集住地域など地域の特色を反映した資料収集に努めた。区に関する地域資料を網羅的に収集し、所蔵資料の充実を図った。	2
	②東京2020オリンピック・パラリンピックに関連した資料を毎年収集し、展示コーナーを充実します(年間20冊程度)	資料点数	点	24 (51)	新規の出版物だけでなく、過去のオリンピック・パラリンピックで活躍した選手や開催競技の記録内容に関する資料など幅広く関連本を収集し、展示コーナーの充実を図った。	1
2地域資料の充実	①新宿区にゆかりのある漫画家や新宿区に関する漫画で、地域資料となる資料の収集を推進します。また、手塚治虫の生誕90周年に関連する資料の収集活用を図ります。	資料点数	点	60 (64)	新宿区ゆかりのマンガ作家の植田まさし著『コボちゃん』を地域資料コミックとして40冊、手塚治虫関連資料を20冊受け入れた。	2
	②区の歴史、産業等の関連資料を収集します。	資料点数	点	1,104 (1,131)	区や都に関する地域資料を幅広く収集した。	2
	③地域のお知らせなどの資料の情報収集を図り、収集範囲や課題等を検討します。	回数	回	4 (4)	地域センターで発行される広報誌等について、地域資料として長期的に収集する方向で、各図書館での現在の取り扱い等の確認を行った。	2
	④東京府開設150年に関連する資料の収集活用を図ります。	貸出点数	点	239 (-)	図書展示「東京の150年」(10/19-12/19)を行い、帝都・近代建築・東京に関する文学作品等104点に対し239点の貸出となった。	2
3電子資料等の活用	①電子書籍の課題、先進事例の情報収集、電子資料の活用方法について検討します。	フォーラム、企業説明会視察への参加	回	5 (5)	電子図書館の導入や電子資料の活用に関して先進的な取り組みを行っている自治体視察、電子資料に関するフォーラム等への参加による情報収集及び検討を行った。	2
4行政資料の充実	①各部署で作成し、各区立図書館で所蔵している行政資料について、区民が活用しやすい仕組み作りについての情報収集を行います。	資料点数	点	323 (324)	区で作成する行政資料並びに地域資料の収集に努めた。	2
5他自治体等との連携	①他の自治体の図書館等と協力し、図書館資料の相互貸借を行うとともに、区内在住者への優先制度の検討など、区民がより利用しやすいしくみを進めています。	検討回数	回	4 (1)	他の自治体の図書館等と協力し、図書館資料の相互貸借を行うとともに、区内在住者への優先制度・時間制限席の設置の検討などを行った。下半期から座席管理システムを使った時間制限席を中央・四谷西落合・角筈の4館で導入した。	2
Ⅱ 区民を支える図書館						
6区民の課題解決支援	①区の担当課との連携による、健康づくり等展示の取り組みを行います。また、区内の専門機関や相談窓口のある団体等と連携し、区民の課題解決に向けた資料収集のための情報交換等を行います。	連携による展示回数 情報交換等の実施数	回	2 (2) 2 (1)	健康部(9月)、選挙管理委員会(10月・11月)の依頼により企画図書展示を行った。6月には、中央図書館、産業振興課、角筈図書館の三者でビジネス支援事業についての情報交換を行った。また、NPO法人と連携し自殺予防に関する企画図書展示を行った。	2
	②利用者用インターネット端末で閲覧できる商用データベースについて、内容や使いやすさ等をふまえて適宜見直しを行います。	利用可能な商用データベース数	件	15 (15)	新聞バックナンバー、法律情報、学習サイト、雑誌横断検索等、利用者に対して便利で精度の高い情報収集ツールを提供した。	2
7利用者にわかりやすく役立つサービスの提供	①図書館未利用者も含めて、興味を持たれる情報リテラシー支援講座を開催します。	参加人数	人	39 (41)	利用者向け情報リテラシー講座「楽しく学ぶiPad!〜図書館で情報社会を生き抜く術を学ぶ〜」を3回実施した。	2
	②利用者の情報検索を的確に支援できるよう、地域図書館の職員を含め、能力向上を図ります。	参加人数	人	39 (31)	情報検索講習会を4回実施し、地域図書館含む全館の職員向けに商用データベースの検索能力向上を図った。また、司書によるレファレンス講習会を実施した。	2
8外国人・障害者・高齢者に対する支援	①館利用に障害がある方への利用援助や、家庭配本サービスを促進します。	家庭配本回数 家庭配本資料点数	回 点	619 (702) 2,498 (3,169)	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の内容を理解し、必要に応じ合理的配慮が行えるように努めた。障害者サービスは戸山図書館を拠点館として、家庭配本サービスは各館でサービスを提供した。中央図書館の配本回数42回、配本資料点数189点。	2
	②「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、検索等の補助、字幕や手話付の映画会を開催するなど、障害があっても図書館利用の妨げにならない工夫を行います。	音声読み上げソフト操作研修 字幕付映画会開催回数	回 回	1 (1) 18 (18)	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の内容を理解し、必要に応じ合理的配慮が行えるように努めた。図書館へ異動した職員・新規採用職員を対象に音声読み上げソフトの操作研修を行った。字幕付映画会を前年度と同回数開催した。	2
	③障害者サービスの拠点館である戸山図書館が行っている対面朗読サービス、録音図書(カセットテープ版・DAISY版)の製作・貸出等のサービスを提供していくため、録音システムの管理維持等を通じ、戸山図書館を支援していきます。	録音機器点検	回	1 (1)	録音機器等の点検を実施し、機器の故障等はなかった。	2
	④設置計画に基づき、順次拡大読書器、点字案内板を設置します。(拡大読書器未設置：◎北新宿・①中町・◎西落合・◎鶴巻)(点字案内板未設置：◎中町・①西落合・◎鶴巻) ※丸数字は導入予定年度	拡大読書器・点字案内板設置台数	台	2 (2)	録音システム・拡大読書器の管理維持のほか新たに拡大読書器を北新宿図書館、点字案内板を中町図書館に設置した。	2
9区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援	①中小企業診断士によるビジネス情報支援相談会に合わせて、魅力ある講座等を開催し、相談者の拡大を図ります。	参加人数	人	中央13(12) 角筈10(17)	中央図書館が申込17名、キャンセル4名、利用者計13名。角筈図書館が申込14名、キャンセル4名、利用者計10名。	1
	②図書館の会議室について、読書推進の活用や利用促進の方策を検討します。	参加人数	人	54 (58)	絵本の読み聞かせ団体、歴史勉強の会、就労支援団体等への貸出を行った。(1回・平均3時間)	2
10博物館・大学等との連携	①新宿区と協定を結んでいる大学図書館との連携を利用者へPRします。	本制度の利用者	名	35 (38)	協定大学は31名が本制度を利用した。協定を締結していない大学は4名に紹介状を発行した。	2
11行政支援	①区の施策の企画立案に有効な情報を収集・提供するため、庁内周知を行います。	庁内レファレンス件数	件	9 (4)	災害・学校運営・ごみ屋敷対応等、地域課題に関する情報を常時収集している。また、事業の企画検討に役立つ図書館情報支援として、「庁内レファレンスサービス」を職員に周知した。	3
Ⅲ 区民が集う図書館						
12魅力あるイベントの実施	①図書館講座の開催に際して、関連資料の紹介やPRを促進し、図書館イベントを通じた交流機会の拡大を図ります。	参加人数	人	194 (140)	ビジネス、情報リテラシー、考古学、視聴覚としてクラシック音楽をテーマに図書館講座を行った。	3

中央・こども図書館

基本方針	事業内容	指標	単位	数量		実績	自己評価
				上段:30年度	下段:29年度		
12魅力あるイベントの実施	④漱石山房記念館開館1周年イベントとして、朗読会等を実施します。	参加人数	人	40 (38)		漱石山房記念館で声優による朗読会を実施し(10月)、アンケート結果では非常に好評であった。中央図書館にて「夏目漱石」に関する図書・視聴覚展示(8-11月)、「こころ」上映会(9月)も並行して行った。	2
13多様な学習機会の提供	①図書館の会議室の利用について、読書推進の活用や利用推進の方策を検討します。(再掲)	参加人数	人	54 (58)		絵本の読み聞かせ団体、歴史勉強の会、就労支援団体等への貸出を行った。(1回:平均3時間)	2
14情報の生産・発信・交流の支援	①中央図書館の2階展示コーナーの活用方法やルールづくりを検討します。	活用方法の検討	回	4 (1)		展示コーナー利用の要領を作成し、申請書等の様式を整えた。展示品募集について館内チラシ、図書館HPに掲載などを行った。	3
15区民との協働	①図書館の活動に原則無償で協力している図書館サポーターの登録、コーディネートを行い、年2回、サポーター講習会(2月)を開き、意見交換とスキルアップを図ります。また、出版社等の人材との協力・連携を図ります。	活動回数 登録者数	回 人	1,355 1,255 263 (253)		日常的に図書館サポーターの登録・活動を支えるとともに、サポーター講習会を行い、意見交換とスキルアップを図った。中央・こどもの活動回数372回、登録者数124人	2
IV 子どもの成長を応援する図書館							
16「新宿区子ども読書活動推進計画」	①新宿区子ども読書活動推進会議を開催し、子ども読書活動推進計画に挙げている各事業の進捗状況を把握、検証し、計画事業を円滑に推進していきます。	回数	回	3 (3)		7月、11月、1月に会議を開催し、第四次子ども読書推進計画の各事業の進捗状況の報告や絵本でふれあう子育て支援事業において配付する絵本の選定を行った。また、第五次新宿区子ども読書活動推進計画の策定に向けて課題や方向性等の検討を行った。	2
	②「子ども読書活動の推進に関する法律」に定められた「子ども読書の日」(4月23日)、「こども読書週間」(4月23日～5月12日)を「広報しんじゅく」及び「しんじゅくの教育」に掲載するとともに、「読書週間」(10月27日～11月5日)にはポスター掲示を行います。期間中に、子どもたちが読書と図書館に親しむイベントを開催し、子ども読書活動の普及啓発と推進を図ります。	子ども読書活動の普及啓発 参加人数 (絵本かるたづくり)	人	66 (-)		全図書館、学校及び子育て関係施設で「子ども読書の日」「こどもの読書週間」のポスター掲示を依頼した。こども図書館で普及啓発のために、絵本かるたづくりと人形劇会等を実施した。	2
	③「新宿子育てメッセ」(子ども家庭部主催)に参加し、絵本でふれあう子育て支援事業をはじめ、子ども読書活動の普及啓発と区立図書館事業の周知に努めます。	参加人数	人	159 (269)		「新宿子育てメッセ」に全館が一括ブースを出展し、図書館のPRを行った。雨に関わらず、当日、159名がブースに参加し、親子で絵本を手に取り読んでいた。図書館の場所や利用手続き等の基本的な質問や、絵本の選び方等について質問が寄せられ、普段、図書館を利用していない方にも情報発信することができた。	2
	④各家庭において本や絵本を読み、家族で語り合う家庭読書(家読)の普及に努めます。日常生活の中で子どもが本に触れ、楽しむ環境整備の啓発を図ります。	-	-	-		家庭内読書向けに推薦図書「クローバー」の図書展示を行った。また、子どもが自分の好きな本の感想を書いたカードを掲示するコーナーは人気があり、それを見ながら親子で本を探したり、読んで本を話しあったりしている姿を日常的に見かけている。	2
17読書環境の充実	②東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた気運醸成のため、オリンピック関連情報やスポーツに関する図書の展示コーナーを充実します。	展示点数	点	67 (67)		常設展示コーナーを設置し、情報発信した。	2
	①お話室の空き時間を活用し、親子(特に乳幼児)がゆったりくつろぎながら読書を楽しみ、親同士の情報交換の場としても利用できる「本と親子のふれあいの場」とします。引き続き、多くの親子に楽しんでもらえるよう取り組みます。	参加人数	人	269 (265)		平日の毎日、午前中にお話室を開放し、乳幼児づれ親子が読み聞かせを楽しみながら交流している。簡単な工作会を毎月1回行っている。	2
18読書活動への支援	②学校、幼稚園、保育園、子ども園等の要望に応じ、出張お話し会やブックトーク等を実施します。子どもたちが本に親しむ機会を増やし、読書活動を支援します。	回数	回	7 (4)		保育園等に出張し、読み聞かせを行い、図書館の利用促進を図った。	2
	③司書による推薦図書リストの「クローバー」(小学生向け)、「Clover」(中学生向け)を作成し、区立小中学校の全児童・生徒に配付して読書活動を支援します。	小学校・中学校への配付数	枚	小学生9,000 (8,946) 中学生3,000 (2,454)		子どもの読書の発達段階に応じて利用できる推薦図書リスト「クローバー(小学生向け)」と「Clover(中学生向け)」の2冊を作成し、区立小・中学校の全児童・生徒に1部ずつ配付した。	2
	④小学生から中学生を対象に、本や図書館の楽しさを実感できる、子ども読書リーダー講座を開催し、子どもたちが自ら読書活動の中心となることを目指します。	参加人数	人	8 (33)		POP作成やレファレンス調査、読み聞かせ講座等、計5回開催し、子どもたちが読書や調べ学習の楽しさを体験することができた。	2
	①読書から遠ざかりがちな中学生、高校生を対象とした中高生コーナーの利用促進を図ります。また、中高生向け図書の新着情報リストを毎月発行し、学校図書館へ提供することで、図書館の利用促進を図ります。	資料点数	点	2,972 (-)		中・高校生コーナーに、読み物や調べ学習、進学や将来の仕事選び、生き方や悩みの参考となる図書を2,972冊を配置し、年間延べ3,385冊(うち中学生770冊・高校生88冊)の利用があった。図書リストは毎月作成したが学校図書館提供には至らなかった。今後、第五次新宿区子ども読書活動推進計画の策定において支援の充実を検討する。	1
19区立図書館の利用促進	②夏目漱石に関連した図書展示や読書手帳の作成・配布等を行い、子どもたちが新宿ゆかりの文豪や地域資料に親しみと関心を持てるようにします。	資料点数	点	37 (38)		「知ってる!? 夏目漱石の短編の世界」という展示を11月13日から12月28日まで行った。「永日小品」等、中・高校生に知られていない漱石の短編の魅力を職業体験に来館した中学生やインターンシップで来館した大学生に読んでもらい、POPを作成し、展示した。	2
	④子ども向け行事を開催し、図書館の利用者及び利用者登録を促進します。(おはなし会、こどもえいが会、人形劇、作家講演会、スペシャルおはなし会など)	参加人数	人	4,873 (5,280)		①おはなし会 参加人数 4,333 (4,826) ②こどもえいが会 参加人数 年間3回 80 (100) ③人形劇会(再掲) 36 (23) ④工作会 ※前年度はかがくあそび 20 (19) ⑤ぬいぐるみおとまりかい 118 (95) ⑥おたのしみふくろ 24 (27) ⑦作家の講演会 講師:村上しい子氏 45 (9) ⑧本と絵本の講座 講師:藤田浩子氏 24 (-) ⑨カルタ大会 27 (41) ⑩スペシャルおはなし会参加人数 53 (-) ⑪クリスマススペシャルお話し会 23 (26) ⑫外国語お話し会	2
	①朝読書や調べ学習で使用するためのテーマ別資料セットを学校の意見を聞きながら充実・更新し、貸出利用を促進します。	朝読書提供件数 学習支援提供件数	件 件	330 (299) 349 (380)		朝読書セットは、学年別に1セット20冊(これまで40冊)箱詰め・記本し、子どもたちのニーズにきめ細かく対応できるようにしている。 「学習支援便」は、学校から教材の貸出依頼を受け、子ども図書館が選書する配本サービスで、調べる学習等の授業を支援している。	2

中央・こども図書館

基本方針	事業内容	指標	単位	数量		実績	自己評価
				上段・30年度	下段・29年度		
20学校等との連携	②地域図書館事業の「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」の実施を支援します。地域コンクールを合同で開催し、各館ごとに優秀作品を表彰します。上位作品については、全国コンクールに推薦します。	図書館を使った調べる学習コンクール参加点数(区内)	件	3,067 (2,710)		各地域館の調べ学習支援や学校との連携効果もあって、昨年度より応募作品数が増加した。そのうち館長賞・優秀賞を61点(54点)全国コンクールに出品し、2年連続で最高賞の文部科学大臣賞を受賞した。また、初めて日本児童教育振興財団賞を受賞した。 [応募作品数]小学生:2,244(2,293)、中学生:582(349)、高校生:241(88)うち地域コンクール表彰数:館長賞:31(29)優秀賞:30(25)奨励賞:241(219) [全国コンクール表彰数]:入賞:2:文部科学大臣賞1(1)、日本児童教育振興財団賞1(-)、優良賞:3(4) 奨励賞:11(10)佳作:45(39)	3
	③学校、幼稚園、保育園、子ども園、児童館等への団体貸出の配本便数を拡大し、利用機会の拡充を図ります。(年間22回→36回、学校を除く57施設→78施設)	貸出点数	点	64,686 (57,868)		新規施設等への事業周知を行い、利用を呼び掛けた結果、団体貸出数の増加につながった。	3
	④区立図書館が購入した新刊本の中から、学校における活用に推薦する「新刊選書リスト」を作成し、学校図書館支援員に提供することで、学校図書館の充実役立ててもらいます。	「新刊選書リスト」発行回数	回	12		図書館が購入した児童書の中から司書が選んだ学校向け「新刊選書リスト」を作成し、学校に配付した。(毎回、15冊程度掲載)学校図書館システムで閲覧・活用して、区立図書館との連携と学校図書館の充実を図った。	2
21絵本でふれあう子育て支援	①各保健センターが実施する0歳児(3~4か月児)および3歳児健診の対象乳幼児とその保護者を対象として、絵本でふれあう子育て事業を行います。絵本の配付や読み聞かせ、図書館の利用案内等を行うことで、読み聞かせを通じた親子のふれあいと乳幼児の心豊かな成長を図り、楽しく育児できるよう支援します。	読み聞かせ参加率	—	※3~4か月児 98% (89.2%) ※3歳児 84% (81.2%)		健診対象者全員を対象として読み聞かせと絵本の配付を行った。 -絵本配付数 3~4か月児 配付数:2,431(2,670)セット(2冊組。保健センターで配付) 3歳児への絵本配付数:1,345(1,299)冊(図書館で配付)	2
V ICTの利活用の推進							
22図書館情報システムの充実	①30年1月から稼働した図書館情報システムを安定的に稼働するとともに、読書通帳の導入や電子書籍の提供など利用者からの要望事項についてシステムに反映することにより、より良いサービスを提供できないか検討を行います。	—	—	—		座席管理システムを使った時間制限席の導入など、日々利用者から寄せられるサービスについての意見・要望に対し、図書館情報システムの改修等の対応を行った。読書通帳の導入や電子書籍の提供については30年度は結論に至らなかったため、引き続き検討していく。	2
23ホームページの充実	①障害のある方、高齢者、外国人への支援等の紹介や、レファレンスサービスのページを充実させるなど、区民の学びを促進するホームページをめざします。	—	—	—		利用案内のページに障害者・家庭配本サービス、レファレンス、ビジネス・就活支援のページを設けた。	2
24ICTのさらなる活用	①新宿ゆかりの人物データベースや、地域資料探検隊データベースに情報を追加します。	人物データ件数	件	253 (252)		30年度より、職員によるデータベース作成に切替えて追加した。	2
	②電子書籍の課題、先進事例の情報収集及び電子資料の活用方法について検討を行います。(再掲)	フォーラム、企業説明会視察への参加	回	5 (5)		電子図書館の導入や電子資料の活用に関して先進的な取り組みを行っている自治体視察、電子資料に関するフォーラム等参加による情報収集及び検討を行った。	2
VI 図書館環境の整備							
25新中央図書館建設と地域図書館の配置	①新中央図書館等基本計画を踏まえ、引き続き、関連部署等との検討を継続します。	会議回数	回	5 (5)		図書館運営協議会で都内の新中央図書館を視察するなど、引き続き検討した。	2
26身近な場所の読書環境の整備	①身近な場所での貸出しや返却のあり方等を検討します。	会議回数	回	0 (2)		手段・コスト等、引き続き検討することとされていたが、30年度は検討に至らなかった。	1
27運営体制の充実	①地域図書館9館の次期(平成31年度からの5年度間)の指定管理者の選定を行います。	—	—	—		指定管理者選定委員会を7回開催し、書類選考・プレゼンテーションを行い、次期指定管理者候補団体を選定した。教育委員会の議決を経て、第4回区議会定例会において次期指定管理者が議決された。	2
	②日本十進分類法(NDC)10版への移行対応を行います。	資料点数	点	150,760 (-)		全館で対象資料の洗い出しを行い、作業を業者に委託して取り組んだ。全館の予定総数152,876冊のうち、150,760冊(約98%)をNDC10版の内容に背ラベルを貼替るとともに、図書館データの修正を行い、新たな配架位置に図書を移動した。	3
28利用満足度の高い図書館運営	①28年10月に実施した四谷図書館の休館日の変更を踏まえ、さらなる利用機会の拡充を図るため、10館を月曜開館館と火曜開館館の2グループに分けた「毎日開館体制」について検討します。	検討回数	回	5 (0)		図書館条例を改正し、四谷図書館に加え4館(鶴巻・北新宿・大久保・下落合)の休館日を月曜日から火曜日に変更した。それと併せて、配本車の運行体制の見直し、中央図書館休館日業務体制の再構築等、毎日開館体制実施の基盤を整備した。31年1月から利用者への周知を行って、4月からの実施に備えた。今年度において効果について検証する。	3
	②資料予約・閲覧席利用等について、区内在住者への優先のあり方を検討の上、優先制度を導入します。	検討回数	回	4 (1)		資料予約・閲覧席利用等について、区内在住者への優先のあり方については結論に至らなかったため、次年度において引き続き検討する。図書館の利用登録者の優先制度として、下半期から座席管理システムを使った時間制限席を中央・四谷西落合・角筈の4館で導入した。次年度において導入効果を検証する。	2
29人材の育成・活用	①中央・こども図書館内の係員研修(7月)、中央・こども図書館と地域図書館の相互派遣研修(11月)を行い、業務等に対する知識や認識を深めます。	参加人数	人	25 (26)		相互の図書館業務を行うことにより臨機応変に対応できるような図書館職員を目指し、さらなる知識や認識を高めた。	2
	②図書館の専門職員養成のため、職員を司書講習に派遣します。	参加人数	人	0 (1)		毎年度1人派遣していたが、H30年度は「日本十進分類法(NDC)10版への移行対応、毎日開館準備」等多忙を極め、司書講習に職員を派遣することができなかった。	1
	③日本図書館協会認定司書の取得をめざします。	参加人数	人	0 (-)		30年度は認定司書取得した職員はいなかったが、取得をめざし、自己研鑽した職員が2名いた。	2
30利用者の快適な環境づくり	①区民意見システム、館内ポスト等に寄せられる様々な方からのご意見を集約し、サービス改善等を図ります。	苦情共有のしくみづくり	件	342 (302)		寄せられた意見を集約し、図書館全体で共有するしくみづくりを行った。(参考)寄せられた意見の内訳 ・中央図書館事務連絡簿148(140)件・区民意見システム147(140)件・他投書箱等47(22)件	2
	②防災マニュアルを点検し、防災訓練を行います。	回数	回	1 (1)		防災マニュアルを更新し、計画通り防災訓練を行った。	2
	③中央図書館敷地内の校庭の環境整備に努め、今後の有効利用についても検討します。	検討回数	回	2 (3)		計画どおり除草等を行った。また、プロジェクトチームによる検討を2回行い、そのうち1回は、公民連携事業の専門家を交えて検討した。	2

四谷図書館

基本方針	提案事業	指標	単位	数量		実績	自己評価
				上段・30年度	下段・29年度		
I 区民に伝える図書館							
1資料の充実	①外国語資料、特に英語多読関連資料を充実させるため、洋書書架を一新します。	資料点数	点	3,100 (3,000)		外国語資料、特に英語多読関連資料の受入を積極的にを行い、洋書(英語)の所蔵点数をこれまでの最高実績まで伸ばした。	3
	②図書館報『よつば』の号外・増刊号として、地域の歴史・文化などを独自のテーマとして特集し発行します。	回数	回	1 (1)		今年度は『新宿と富士講』についての特集を組み掲載した。	3
2地域資料の充実	①区発行の地域情報資料および多文化関連施設を含む近隣の公共施設の活動等を、「四谷文化ネット」などの機関を通じて設置します。	—	—	—		「四谷文化ネット」などの掲示スペースを活用して、区発行の地域情報資料、および多文化関連施設を含む近隣の公共施設の活動紹介資料を設置した。	2
	②障害者スポーツへの理解と支援を促進するため、体験型イベントの開催やテーマ展示を開催します。	—	—	—		障害者スポーツへの理解と支援を促進するため、体験型イベントの開催やテーマ展示を開催した。	2
	③夏目漱石の作品に関連する図書企画展示を行います。	展示点数	点	25 (39)		漱石が幼少期を過ごした四谷・内藤新宿地区に焦点をあて、作家になるまでの漱石に関する資料展示を行った。	2
II 区民を支える図書館							
7利用者にわかりやすく役立つサービスの提供	①現在設置中のパスファインダーのうち、2種(各200部)を更新します。	展示点数	点	2 (2)		パスファインダーの掲載情報の更新は、全種類を対象に適宜作業を行っている。点数ごとの更新が済み次第、順次印刷し設置している。	2
	②図書館での資料の探し方や、インターネットを使った情報検索講習会を開催します。	参加人数	人	26 (19)		「調べもの講座」として図書館での資料の活用方法や、インターネットを使った情報検索の講習会を3回にわたり開催した。	3
	③レファレンス事例内容を職員間で共有する機会を設け、職員のレファレンス能力を向上させ、利用者の課題解決に役立たせます。	—	—	—		頻繁に受ける利用者の質問や調査依頼に専門的に対応するため、貸出カウンターの隣りに「レファレンスカウンター」を特別に設け、図書館実務に熟練した司書職員を配置している。	2
8外国人・障害者・高齢者に対する支援	①「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、筆談ボードを活用したコミュニケーションや拡大読書器など図書館利用の工夫を行います。	—	—	—		障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の内容を理解し遵守するよう努めた。利用者パソコンの音声読み上げソフトや筆談ボードを活用したコミュニケーションなど、図書館利用に対する工夫を行った。拡大読書器を継続設置し、利用に供した。	2
	②四谷保健センター等と連携して認知症サポーター講座を開催します。	参加人数	人	20 (40)		近隣地域の高齢者支援を目的として、四谷高齢者総合相談センターの協力を得て講座を開催した。	2
	③地域交流館の来館者を対象とした高齢者中心のビブリオバトル(知的書評合戦)を行います。	参加人数	人	12 (24)		近隣の高齢者の集いの場である地域交流館やシニア活動館と連携して、年配の方々を対象の中心としたビブリオバトル・ワークショップを実施した。	2
9区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援	①四谷地区協議会および分科会、花いっぱい運動・ゴミゼロ運動など地域活動に参加して協力します。	—	—	—		四谷地区協議会および分科会の委員として、花いっぱい運動やゴミゼロ運動などの地域活動に参加して支援協力した。	2
10博物館・大学等との連携	①消防博物館と連携し、同館のイベントスペースを使っておはなし会を開催します。	参加人数	人	19 (45)		近隣施設である消防博物館(東京消防庁四谷消防署内)1階のイベントスペースでの恒例のおはなし会を開催した。	2
III 区民が集う図書館							
12魅力あるイベントの実施	①内藤新宿・四谷地域に関連した事業を行います。 ①内藤とうがらし調理ワークショップ ②街歩き「江戸四谷ぶらり」 ③街歩き「地形からみる四谷の今昔part V」 ④歴史講演会 ⑤街歩き「玉川上水ぶらり」	参加人数	人	68 (146)		「内藤とうがらし調理ワークショップ」では料理研究家の指導のもと、内藤とうがらしなどを使ったカレーとタイ風サラダを作り好評であった。また、「内藤新宿ぶらり」では地区協議会ガイドによる案内により南寺町界隈を重点的に歩き、「玉川上水ぶらり」では玉川上水博物館長より展示解説を受け屋外で実際に取水堰を見学した。	2
	②児童だけでなく保護者・成人も対象に児童絵本作家講演会を開催します。	参加人数	人	21 (14)		絵本作家の読み聞かせとワークショップを開催した。作品中の「おとなになりますボタン」を模して、参加者が自分だけの「○○しますボタン」を作成するなどし、盛況であった。	2
	③新宿御苑(入園料実費)での野鳥観察会を開催します。	参加人数	人	0 (70)		新宿御苑をフィールドにした野鳥観察会の開催日の天候が悪化したため急遽開催を取りやめ、参加予定者全員に電話連絡を行った。	1
	④手づくりで自分だけの本を作る製本講座を行います。	参加人数	人	21 (25)		初心者にもわかりやすい和綴じ(和本)に挑戦し、和本の説明を受けた後、基本となる大福帳と判取帳を作成した。	3
	⑤女性の健康づくりを推進するため、ヨガ等のイベントを開催します。	参加人数	人	18 (15)		日本アロマケア協会のインストラクターを招き、女性のみを対象として、膝の痛みに関する講演とセルフケアの実技を行った。	3
	⑥日々の生活に役立つため、インテリアの講座を開催します。	参加人数	人	17 (11)		日本インテリアコーディネーター協会の講師を招き、講義とミニチュア家具を使ったワークショップを行った。	3
13多様な学習機会の提供	①英語多読に関する講座や実践指導を開催します。	参加人数	人	107 (64)		絵本などを使った英語多読の効果的な方法を紹介し、参加者に体験してもらった講座を開催した。	3
14情報の生産・発信・交流の支援	①図書館の事業活動や地域の歴史・文化などを紹介した図書館報『よつば』を発行します。	回数	回	5 (5)		各号の1面では、江戸狂歌、水鉢と馬水槽、四谷出身映画監督の成瀬巳喜男、新宿山ノ手七福神めぐりにそれぞれ特集した。また、増刊号の紙面を使い「富士講」のテーマで特集を掲載した。	3
IV 子どもの成長を応援する図書館							
17読書環境の充実	①児童、生徒に対して図書館たんけん隊を行います。【子ども読書の日関連】	参加人数	人	22 (6)		小学低学年と高学年の2回に分かれ、本の分類説明、館内(閉架を含む)見学、本を探すゲームなどを行った。	3
18読書活動への支援	①四谷図書館オリジナルキャラクターを用いた「よつぼう読書手帳」を作成し配付します。	参加人数	人	411 (411)		昨年度に引き続き、キャラクターの「よつぼう」をデザインした読書通帳を作成し(第3版)、希望する利用者に配付した。	2

四谷図書館

基本方針	提案事業	指標	単位	数量 上段:30年度 (下段:29年度)	実績	自己評価
19区立図書館の利用促進	①親子で楽しめるクラシック音楽の鑑賞講座を開催します。	回数	回	—	予定していた講師の日程が最終的に調整できず、開催を断念した。	1
	②16ミリフィルムを用いた子ども映画会を開催します。	参加人数	人	78 (131)	『クマのプーさんとほちみつ』『ごめんね友だち』『ぎろんやまと10びきのかえる』『だるまちゃんとのごちやん』など9回開催した。	2
	③人形劇を開催します。	参加人数	人	89 (45)	人形劇の上演、四谷図書館オリジナルソングを参加者全員で作成して歌った。	3
	④楽しみながら科学技術に親しみをもたせる科学工作会を行います。	参加人数	人	110 (103)	オリジナルの湿度計、乾湿計、キャンドル、発砲入浴剤及び泡消火器作りを体験した。	2
	⑤点字を学んだり、手話を使ったゲームを行ったり、補助犬を招いて学んだり、バリアフリーイベントを行います。	参加人数	人	21 (27)	パラリンピック関連イベント「ともに走る～誰かの目になる」と企画し、パラリンピックなどでの伴奏体験の話、後半は実技を行った。	2
	⑥忍者体験を通して四谷地域の歴史と伝統を楽しんで学ぶ機会を設けます。	参加人数	人	18 (62)	黙想、礼、歩き方や走り方など忍者の基本所作や立ち居振る舞い、手裏剣など忍者道具の使い方体験した。	2
20学校等との連携	①「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ①地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レプリカを作成します。 ②出版社見学 ③調べものガイダンス(小学生向けおよび中学生向け)	参加人数	人	185 (143)	「調べる学習コンクール」では、当館所轄の参加校は1校減少したものの応募数は大幅に増加した。質の点で、応募作品の内容は優れたものが多かった。本年も全国コンクールで受賞する作品が現れ、当コンクールへの取り組みは着実に実を結んできたといえる。また、調べもの講座も6回開催した。	3
	②小中学校でのブックトーク、職場体験受け入れなど学校を支援します。	回数	回	12 (8)	小・中学校でのブックトーク(年4回)や職場体験・見学・実習の受け入れなど、教育機関を支援した。	3
V ICTの利活用の推進						
24ICTのさらなる活用	①デジタル古地図アプリ『内藤新宿ぶらり』を更新します。	回数	回	1 (1)	デジタル古地図アプリ『内藤新宿ぶらり』の充実を図った。	2
	②商用データベースの利用方法を「調べもの講座」などでテーマとして取り上げ、周知を図ります。	参加人数	人	26 (19)	利用者自身に調べものの手ほどきをする「一般向け調べもの応援講座」を開催した。	2
	③デジタルサイネージを受付カウンターに設置し、イベント告知や利用案内などをスライド放映し、図書館活動や方針を周知します。	—	—	—	館内入り口正面に設置し、イベント告知、利用案内、図書館理念などのコンテンツをスライドショー放映している。	2
VI 図書館環境の整備						
28利用者満足度の高い図書館運営	①四谷図書館の月曜日開館(火曜日休館)を継続して実施します。	—	—	—	四谷図書館のみ単館での月曜日開館(火曜日休館)を継続して実施した。平成31年4月1日から全館で実施する「毎日開館体制」に貢献できた。	3
	②利用者の意向を的確に把握するため、アンケートを実施しニーズを分析し、今後の計画の参考にします。	—	—	—	利用者からの要望や意見などに対して、迅速かつ適切に対応し、職員間や関係者との情報共有を図った。	3
29人材の育成・活用	①安定した人材の確保と配置を行い、職員研修の受講内容の情報共有を図ります。	—	—	—	安定した人材の確保と配置を行うとともに、職員研修の受講内容の情報共有を図った。	3
30利用者の快適な環境づくり	①防災マニュアルを見直し、防災(避難)訓練を継続して実施します。	回数	回	1 (1)	防災マニュアルを見直し、独自に実施している防災訓練の充実を図った。	3
	②アロマディフューザーを設置し、利用者に快適な読書環境を提供します。	—	—	—	アロマディフューザーに加え新たに空気清浄機2台を設置。消臭剤やサーキュレーターも増設し利用者に快適な読書環境を提供した。	3

鶴巻図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量		実績	自己評価	
				上段:30年度	(下段:29年度)			
I 区民に伝える図書館								
1資料の充実	①館の象徴として「夏目漱石」常設展示コーナーを継続して設置します。	貸出点数	点	474	(634)	毎月、一定数の貸出は記録しているが、宣伝を兼ねて「今月の1冊」と題して紹介しているおすすめ図書は絶えず貸出の対象となった。また、資料収集の面においても定期的に遺書・購入を行い、書架の充実、鮮度の保持に努めた。	2	
	②「2020東京 特設展示」東京2020オリンピック・パラリンピックの魅力を紹介します。	貸出点数	点	232	(—)	「2020年東京オリンピックに向けたおもてなし企画～東京の魅力再発見!～」と題して企画展示を行った。東京での「おもてなし」をテーマに東京都内の観光スポットや、商業施設など、地域資料を中心に紹介。またオリンピックの歴史や、2020年に向けて様々な角度から見たオリンピックの資料を収集展示した。	2	
2地域資料の充実	①印刷・製本等、地域産業関連の資料を「地場産業コーナー」として常設展示します。	貸出点数	点	72	(—)	新居の地場産業を紹介する「新居地場産業関連コーナー」を設置した。一般の流通で出版する資料は少ないうえ、展示資料の入替えが難しく、注目度を心配したが、夏休みの時期に貸出が増加した。自由研究のテーマなどに利用してもらえたと推測できる。	2	
II 区民を支える図書館								
7利用者にわかりやすく役立つサービスの提供	①館内案内図や書架情報など分かりやすいサイン(パネル)やチャラシを作成し掲示します。	—	—	—	—	館内案内図は利用者が一番目にしやすい1階入り口に掲示し、請求記号がOPACと同じ表示になるように工夫した。合わせて配布用の館内案内も用意したこともあり、初めて来館した方も比較的スムーズに書架に辿りついているように感じた。利用者用インターネットには、閲覧可能なデータベースの一覧を掲示し、自動貸出機については、利用方法の案内版を掲示するなど、多くの方に館内端末を使っているよう努めた。また、資料検索用OPACについては、使い方の分からない方に積極的に声をかけを行い、丁寧な説明を行った。	2	
8外国人・障害者・高齢者に対する支援	①館利用に障害がある方への利用援助や、家庭記本サービスによる訪問貸出・返却・レファレンス等、特に高齢者へは積極的な働きかけを行います。	—	—	—	—	新規登録の際は必ず訪問貸出・返却等の利用援助について説明することを徹底した。また、来館するのにより時間を要する利用者には電話でできるサービスを改めて説明し、来館による手間を軽減しよう努めた。	2	
	②「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づきコミュニケーションボードや筆談ボード等のハード面と、ホスピタリティ等ソフト面において、図書館利用の必要な工夫を行います。	—	—	—	—	コミュニケーションボードや筆談ボードはカウンター前の目立つ分かり易い場所に設置し備えた。特に障害者への方への接遇対応については全体ミーティングなどでこまめにミニ研修を行いホスピタリティの意識向上に努めた。	2	
9区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援	①新宿区の2大地場産業である印刷・製本産業ワークショップを行います。	参加人数	人	9	(8)	新宿区の地場産業である「印刷・製本」についての知識や理解を深めていただく機会として、私がらにより製本講座を行った。アンケートでも、「丁寧に教えて頂きよかったです」「とても楽しかった」など、大変好評であった。	3	
	②区内でご活躍の有識者による夏目漱石講演会を開催します。	参加人数	人	67	(70)	夏目漱石の研究をされている先生により、「地下鉄丸の内線から、漱石作品を読み解く」と題し、地図と電車乗降材料に漱石の当時の人間関係および時代背景について、2回の講演を開催しました。	2	
	③新宿区内で視覚障害者・乳幼児・高齢者などを対象に活動している朗読ボランティアによる朗読会を開催します。	参加人数	人	37	(28)	朗読グループの方々にご協力いただき、テーマ「犬の話」を7月に、「猫の話」を11月にそれぞれ小説・詩の朗読や絵本朗読劇などを行った。11月の「猫の話」の回では、夏目漱石作品が演目には選ばれていたこともあり、参加者の注目度も高かった。	2	
III 区民が集う図書館								
12魅力あるイベントの実施	①暮らしの講座「旅行会社添乗員による旅行セミナー」アロマを知る・楽しむ」「行政書士による熟年世代のライフプランニング」を開催します。	参加人数	人	46	(40)	恒例の継続事業で、いずれも座学以外のワークショップを取り入れた。モノ作りなどの体験を取り入れることにより、マンネリ化を防ぎ、初めて参加・体験する新鮮な感覚で楽しんでいただけた。	3	
	②知的好奇心を刺激する「ワールドカフェ」(※)を開催します。(※)テーマに対し、意見を出し合って考え、わかりやすい情報をまとめ直し、より深く理解する参加型グループワークです。	参加人数	人	16	(—)	ワールドカフェの方法や目的を説明した後、アイスブレイクとして、本気の挨拶やじゃんけんを参加者同士で行ってもらうなど、イベントは終始リラックスした雰囲気で行った。一つのテーマに対し参加者同士が自由に意見を出し合い、存分に楽しみ、最後は発表という形で情報の共有を行う学び合いの空間を創り出すことに成功した。	2	
	③「ペーパークラフト」精密な模型を作る大人の方向け工作会を開催します。	参加人数	人	10	(7)	EF52形電気機関車を作るイベント。宣伝ポスターと共に電気機関車の完成品をカウンター前に展示したこともあり、早々に定員に達し予約終了となった。当日は、参加者の質問にも対応できるよう、講師・スタッフを含め4名体制で指導に当たった。そのため、滞りなく作業を進めることができた。	3	
	④絵本作家を講師に迎え「ボールペン画教室」を開催します。	参加人数	人	8	(11)	ボールペンを用いた独自の作画方法とその技法を学んで実際に描く体験をしていただいた。女性の参加者だけでなく、男性や子どもなど、幅広い層の方々に参加していただいた。イベントは終始、和やかな雰囲気で行い、アンケートにも「色のぬり方が勉強になりました」といった感想も見られ、大変好評であった。	2	
	⑤落語会「鶴巻図書館寄席」を開催します。演者は桂屋さんです。	参加人数	人	73	(60)	落生さんには、昨年のアンケートでいただいた「大ネタを聞きたい」という意見を取り入れて、落語会後半で「扇穴」という人情話をやっていた。その甲斐もあり、今回のアンケートでは久しぶりに良い落語を聞きました!「見事な話所にひきこまれました」といった感想も多く見受けられ、大変好評であった。	3	
	⑥自分の好きな本の「帯」を作って紹介・展示する工作会を開催します。	参加人数	人	6	(8)	「作って飾らう本の帯andポップにこの本のココが好き!」と題し、帯原型の色画用紙・装飾用の色紙や千代紙・型抜きをしたパーツなどを複数種類用意し、帯とポップを作成してもらった。「参加者の自由な発想に基づいて、考え・試行し・削り上げてゆく」というコンセプトで参加者から好評を得ることができた。	2	
	⑦「絵本作家による講演会」を開催します。	参加人数	人	7	(6)	テレビCMや雑誌などで活躍される絵本作家 立本倫子氏を講師に迎え、絵本の制作背景を踏まえた作品紹介や著作の読みきかせなどを行った。児童絵本や辞書等自身の著作を用いての絵本の活用方法についても触れることで、それぞれの対象に合った作品選びについても解説した。	2	
	⑧映画会を年2回開催します。(一般向け)	参加人数	人	24	(23)	9月に「若草物語」11月に「シェーン」をDVD上映した。若草物語は予約時点で定員に達したが、シェーンは西部劇ということも影響してか、女性に不人気だった感があり定員を下回った。	2	
	13多様な学習機会の提供	①「ニュース性のあるスポット企画」として時事展示を行います。	回数	回	24	(23)	月に2回のペースで、その時期の話題や時事をテーマに、情報を発信しているタイムリーな展示。普段光の当たらない資料にも興味を持って手に取っていた。	2
	14情報の生産・発信・交流の支援	①平和・戦争について考える契機となる図書収集・展示及びイベントを行います。	①貸出点数 ②配布冊数 ③参加人数	点 点 人	145 (95) 34 (34) 20 (9)	—	今年度は「戦争と動物」をテーマにして①図書展示・②自録展示・③映画会を開催した。映画会は16日映画機で「かわいそうなゾウ」と「トビウオの坊や」は病気で2本の2本を上映した。アンケートからも「子どもが戦争について知る時間としてふさわしい映画で良かった」と好評であった。	3
②新宿区立図書館4館(戸山・鶴巻・角倉・下落合)連携グローバル展示「世界とつながる扉をひらこう」と題して館それぞれの特徴を生かした展示を行います。鶴巻は世界の歴史ある街など海外のサークルの協力で得た地域交流の場を形成します。		展示点数 貸出点数	点 点	116 260	(—) (—)	2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れた「グローバル」をキーワードに企画展示を行い、「海外」と利用者をつなぐものを目指した。また、4館合同で連携した展示を行うことで、広く図書館の取り組みを知ってもらい、地域の情報発信拠点としての役割を担う。鶴巻は館の特色のひとつである「文学」を通して、観光の視点だけでなく、多角的な視点で世界を捉えることのできる資料も展示し、現代作家の作品やあまり知られていない土地の作品まで幅広く情報を提供する。また海外の異文化を紹介するだけでなく、世界の見方や考え方を考えることで、日本を見つけるおす機会の提供も目指した。	2	
15区民との協働	①地域連携・協働事業の一環として、ろくな写真館と連携し、種々の行事を開催します。早稲田大学のサークルの協力も得て地域交流の場を形成します。	参加人数 回数	人 回	448 (—) 14 (—)	—	地域事業者のろくな写真館と早稲田大学生によるコラボで1年間毎月1回のペースで、地域の子育て世代を対象にしたお楽しみ会を定期開催した。その他、新たに弁天町保育園PTAの要望により、こちらも適時出張おはなし会やクリスマスのスペシャルおはなし会等を開催した。	3	
IV 子どもの成長を応援する図書館								
18読書活動への支援	①地域の家庭支援センター等、児童園遊施設に出張しておはなし会を開催します。	回数	回	10	(12)	横町子ども家庭支援センターにおいては、毎月1回様々な年齢層に対応出来るように手遊び・わらべうた・ペープサート等、柔軟なプログラムで取り組み、1年を通じ楽しんでいただけた。9月と12月は月曜日の祝日による火曜休館が重なり、開催を見送った。	2	

鶴巻図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量		実績	自己評価	
				上段:30年度	下段:29年度			
19区立図書館の利用促進	①季節の風物を題材としたおりがみ会を開催します。完成した作品は児童室の壁面に飾り展示します。	回数	回	4	(4)	季節の風物のおりがみを折り、みんなで台紙に貼り付け1枚の絵として完成させ、作品は児童室の壁面に飾り展示した。季節感を大事にすること、子どもたちの身近なおりがみ作品を選ぶことで、子どもたちも積極的に参加してくれていた。多くの参加者が親子で参加しており、親子の交流の場としても提供できた。また、自分のおりがみ作品が児童室に飾られるということで、図書館を身近に感じ、来館促進にも繋がる目玉イベントとなった。	4	
	②子ども向け映画会を開催します。	参加人数	人	計32	(計38)	9月に「ふしぎの国のアリス」、12月に「白雪姫」をDVD上映した。どちらも上映時間が長めの作品だったが、最後まで集中して楽しんでいただくと、保護者の方からも「自宅では見られない子どもの成長を感じられた」との感想をいただく好評を得た。	2	
	③人形劇を開催します。	参加人数	人	78	(63)	人形劇団ブークによる人形劇を開催した。演目は「もりのへなそらる」・「はるなつあきふゆ森の四季」公演には、家族連れの方だけでなく、一人で参加された大人の方も見受けられ、幅広い年代の方が観劇された。お子さんだけでなく、大人の方も笑顔で観劇される姿が印象的であった。	2	
	④乳児と保護者を対象とした「小さい子向けおはなし会」および幼児～小学生を対象とした「おはなし会」を定期開催します。	参加人数 回数	人 回	①297 (361) 34 (33) ②542 (677) 101 (97)		小さい子向けおはなし会は、子どもたちがおはなしを聞くだけでなく、手遊びやおはなしの合間に入れ、緩急をつけることで、保護者も一緒になって参加できる場を提供することができた。また、大きい子向けおはなし会では、参加する子どもたちの年齢層を見極めながら資料を選択し、飽きることなく楽しんでもらえるよう工夫を行った。どちらのおはなし会も定期的に開催している子どもがおり、おはなし会に参加してくれた子に押しつけているおはなしカードのスタンプが、1年で3～4回くらいコンプリートする子どもも見られた。	2	
	⑤「親子で一緒に！楽しくリフレッシュ体操」を開催します。	参加人数	人	8	(11)	毎年人気のある「リフレッシュ体操」、体を動かすことはもちろん、親子の触れ合いや乳児期に大切な親の声をたくさん子どもに聞かせることができ、毎年参加者から好評の声をいただいている。日常では知ることができない最近の子ども事情や、子どもと触れ合いながら体を動かす方法を体験することの意義を実感できた。	2	
	⑥スペシャル工作会を開催します。	参加人数	人	13	(9)	こどもスペシャル工作会は「ペーパークラフト・おさかなさんの帽子」を開催した。昨年度の経験を活かし、難易度の高い部位を加工不要化することで、より広い年齢層の子どもたちに、無理なく楽しんでもらうことができた。完成作品の写真を2F児童室に飾り、成果のお披露目と図書館における行事故知力の向上を図った。	2	
	⑦絵本を音や楽曲に合わせて読み歌うイベント「絵本ライブ」を開催します。	参加人数	人	33	(28)	「ばんばかぼーん！絵本のショータイム！」と題し、絵本作家2名によるパフォーマンスや手作り楽器を用いた読み語りなどを行った。前半は効果音付きの読み語りに加え、即興芝居を織り交ぜた形で進んだ。後半はジャグリングや血回といった大道芸のパフォーマンスと自作絵本の読み語りで行った。いずれも参加者からの反応は大変好評であり、絵本の世界観やパフォーマンスに引き込まれていた様子であった。	3	
	⑧「本を借りてオリジナルレーディングカードを集めよう！」を行います。	参加人数	人	296	(265)	【レーディングカードの内容と内訳】シール台紙 382枚(2種類合計)・カード配布枚数:乗り物74枚(3種類合計):妖怪92枚(3種類合計)レーディングカードを手にした子どもが目を輝かせて喜んでくれている姿を見られたのは嬉しかった。シール台紙・カード配布枚数・参加者共に去年より増加しており、毎日のように来館してくれる子どもが多数いたこともあり、当イベントの人気の高さが窺えた。	2	
	⑨クリスマス・スペシャルおはなし会を開催します。	参加人数	人	計31	(計38)	大きい子向け・小さい子向けのそれぞれで通常のおはなし会で実施している読み聞かせや手遊びに加え、クリスマス仕様の特別なおはなし会としてゲームや歌など様々な要素を加えて実施した。サンタクロースによるプレゼント配布も行った。	2	
	⑩つるまきカルタ大会を開催します。	参加人数	人	8	(3)	絵本カルタを3回戦行い、取り札が一番多かった子どもに表彰状と折り紙で作成したメダル、2位以下の子どもに参加賞として取得枚数を記載した用紙を渡した。絵本カルタは今回で3回目だが、優勝者は毎回年齢に関係なく、読書量・考える力の差によって決まっているように感じる。継続イベントにすることにより、本への関心が深まり、読書リーダーなどに繋がっていくことを期待する。	3	
20学校等との連携	①「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ①地域の学校に対し作品応募の動誘と支援を行い、レプリカを作成します。 ②調べる学習ガイド ③調べる学習個別相談会 ④「百科事典の使い方」講座 ⑤ビルの中の野菜農場見学ツアー	①参加人数 ②回数 ③回数 ④回数 ⑤参加人数	①人 ②回 ③回 ④回 ⑤人	①— ②182 (84) 7 (5) ③33 (3) ④41 (1) ⑤29 (11)		①担当校に対しそれぞれ訪問し今年度の流れを含む丁寧な説明を行い、調べる学習コンクールへの理解を求め応募に務めた。また早稲田小・鶴巻小においては出張授業の形で作品作りを支援した。 ②調べる学習に参加したことのない児童に向けて、導入篇として、テーマ決め、資料の調べ方、まとめ方についての講義を行った。 ③担当校が個別に必要な情報・資料の提供を行い、後日、完成させた作品を持参した児童には、題部の修正箇所や補足可能な部分の助言も行った。 ④百科事典とは何か、国語辞典との違いは何か、調べもののどのよう役立つかについて説明から始め、具体的な使い方方を説明、最後にゲーム形式で実際に調査を行ってもらった。 ⑤今年度は野菜農場の見学が先方の都合で中断のため、同じくリンナブルが運営する「大手町牧場」にて牧場見学ツアーに変更し開催した。多くの動物に触れ、牛乳に関するクイズを解くことで、「酪農」への興味関心を喚起した。	3	
	①保健センターで3歳児健診および3～4か月児健診の幼児、保護者を対象に、おはなし会、図書館の利用案内等、ブックスタート事業を行います。	回数	回	24	(24)	新宿区の推薦図書を読み聞かせを市谷小学校のボランティアの方が適宜行い、新宿区内の図書館の利用案内図書館スタッフが行った。健診の日には鶴巻図書館おはなし会の当日又は前日のことが多く、度々おはなし会に参加している利用者を見かけることができ、図書館の利用に繋がった。7月から3歳児健診の読み聞かせの場所が個室から廊下に変更したことにより、多くの人の目に留まり、より多くの方に図書館利用案内が実施できた。	3	
	②子育て親子のための「わらべ歌読み聞かせ」を行います。	参加人数	人	12	(12)	はじめに講師が、わらべうたは子どもの発達に役立つこと、根気よく続けていくことが大切であることなど、わらべうたの役割を丁寧に説明したことで、参加者にはその効果や楽しみ方をじっくり伝えることができた。	2	
	V ICTの利活用の推進							
	24ICTのさらなる活用	①利用者用インターネットパソコンから閲覧可能なデータベースを利用者に広く周知し、活用できるように利用方法の案内を充実します。	—	—	—	—	今年度も引き続き、利用者用PCには、閲覧可能なデータベースの一覧を掲示し、データベースの活用を促した。また、問い合わせに際して迅速な回答を提供できるように、1階カウンター内に、データベースマニュアル・プリントアウト申込書・プリントアウトマニュアルをまとめた「データベース」ファイルを常備している。	2
VI 図書館環境の整備								
28利用満足度の高い図書館運営	①すべてのイベントごとにアンケートを行い、利用者の鮮度の高い要望や意見を参考に満足度向上に努めます。	—	—	—	—	当初の計画通り、すべてのイベントでアンケートを実施し、参加者の満足度調査に加え、利用者が今何を望んでいるのかを把握し次の一歩に役立てた。特に子どものイベントでは貴重な意見である開催日時については大変参考になり、多くの利用者が参加できるように試行錯誤した。	3	
29人材の育成・活用	①充分な人材確保と安定した人員配置、必須の充実した研修でスキル向上を図り、高いホスピタリティで利用者サービスに努めます。	—	—	—	—	1年間異動や退職もなく、落ち着いた環境で業務に従事できた。責任者とスタッフの間でも絶えずコミュニケーションを取り合い信頼関係をより深く構築出来ていた。スタッフが希望する研修は優先的に奨励しスキルアップにも繋げ、夏の講習も積極的に支援し、今年度は2名司書資格を取得した。	3	
30利用者の快適な環境づくり	①防災マニュアルを点検し、館内整理日に防災訓練を行います。	—	—	—	—	危機管理マニュアルや緊急時の連絡フローは随所に設置しており、館内整理日には防火管理者による防災講座も適宜行っている。今年度2回行った防災訓練では消防署の協力を得て、実際の消火器を使用する放水訓練も行い方が一の有事に備えた。	2	

西落合図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量		実績	自己評価
				上段:30年度	下段:29年度		
I 区民に伝える図書館							
2地域資料の充実	①「落合文豪散策マップ」を活用するとともに、新宿区、近隣施設、図書館が作成した地域情報子コーナーを充実していきます。	配付冊数	冊	1,200 (750)		落合文豪散策マップに加え、需要の多い観光マップ、東京くらし防災等は初回受領数に終わらず、在庫がある限り追加を依頼し配布を続けた。	3
5他自治体等との連携	①隣接区の図書館との情報交換を行い、相互で情報を発信していきます。	回数	回	3 (3)		イベントポスター等を相互で掲示し情報発信を行った。	2
II 区民を支える図書館							
6区民の課題解決支援	①時事的な話題、地域での共通の関心事及び問い合わせの多い事項についてバスファインダーを作成し、活用します。	—	—	—		今、最も関心が高いと思われるオリパラ関連のバスファインダーを中心に作成した。しかしオリパラに限らずバスファインダーの活用が少ないのが課題となっている。	1
	②レファレンス事例を掲示して、どのようなことが調べられるのか図書館のレファレンスサービス機能の周知を図ります。また同様の調べ物がある時の参考にさせていただきます。	参加人数	人	1		事例の掲示ではなく、図書館の使い方講座に変えて行った。しかし、参加者が少なく新たなレファレンスサービス周知の方法を検討する。	1
	③子育てで抱える不安や疑問を解決できるように子育て講座を開催します。	参加人数	人	43 (36)		保育園と協働でアンガーマネジメント講座を開催した。託児サービスが大変好評でご夫婦の参加が多かった。	3
	④病人や障害者を抱えている方の不安や課題解決に繋がる講座を開催します。	参加人数	人	85 (-)		ダウン症の子どものいる女優さんに生活や学校選びについて語ってもらった。日本ダウン症協会から広報協力をいただき、想定を大きく上回る参加があった。また、他の障害のある参加者もいたことから、手話通訳手配や聞こえ支援スピーカー(磁気ループ)を用意した。	4
8外国人・障害者・高齢者に対する支援	①「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づき、筆談ボードを活用したコミュニケーションや読み上げなどの合理的配慮を行います。	—	—	—		障害の種別や程度に合わせて機器を用意している。	2
	②身体障害者・高齢者が職員に補助を求め易いよう無線呼び出しベルを活用するとともに、リーディングトラックの館外貸し出しを行います。※リーディングトラック・読書をサポートする補助具	—	—	—		車椅子利用の方々に呼び出しベルの貸し出しはあるが、リーディングトラックは館内利用があるだけで貸し出しはなかった。	2
9区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援	①落合地区染めの街地域活性化事業「百人染」に参加し、毎年2月に開催される「染めの小道」イベントに出展する「染め物」を利用者と協働で作成します。	参加人数	人	31 (38)		漱石山房記念館開館1周年を記念して下絵を夏目漱石のイラストにした。地域イベント「染めの小道」でも作品を展示した。	2
10博物館・大学等との連携	①博物館・大学から講師を招き「新宿学」講演を開催します。	参加人数	人	57 (25)		「京王電鉄と新宿の歴史」をテーマにしたことで、地元にある世界有数の鉄道模型会社の会場を借りて開催した。地元の歴史と鉄道の関わりを再認識してもらい、地元への愛着と興味を一層深めてもらうことができた。模型会社の広報の協力もいただき、広域から鉄道ファンや歴史愛好家が想定以上に集まった。アンケートでも図書館が主催していることの驚きの声をはじめ多くの高評価をいただいた。	4
	②大学保育学科との共同プロジェクトで親子講座を開催します。	参加人数	人	86 (-)		大学教授の指導の下で学生達が毎回違う様々な手作りの仕掛けを使った幼児向けプログラム。参加希望者が多く1日2回そして半年に1度開催してもらうことになった。	3
11行政支援	①環境対策の一環として、利用者と一緒に打ち水を行い、ヒートアイランド現象についての意識を高めます。	参加人数	人	27 (40)		環境対策課からの呼びかけに応じ打ち水を行った。計画は3回だったが台風の影響で2回の開催となった。	2
	②保健センターの企画事業と連動した図書展示を行います。	展示点数	回	148 (204)		依頼に応じて「健康生活」「自殺予防」「女性の健康」をテーマに実施した。	2
III 区民が集う図書館							
12魅力あるイベントの実施	①特定のテーマや住民が興味を持っているテーマなどでテーマ展示を行うとともに、展示本のリストを作成し、配布します。	展示点数	点	5,437 (4,757)		一般展示・子ども展示とも合わせて資料回転率は164.34%。子ども展示は貸出数が多く、資料不足を防ぐためテーマを2つに分けて展示している。	3*
	②地域にゆかりのある人物や史跡をテーマとした朗読会を開催します。	参加人数	人	16 (15)		漱石山房記念館開館1周年を記念して夏目漱石作品にしほり実施した。新宿フィールドミュージアムでも情報が掲載されちらをみて参加されるかたもいた。	2
	③夏目漱石をテーマとしたミステリークエストを漱石山房と連携し実施します。	問題配付数	部	764 (-)		漱石山房記念館との協働事業。夏休み期間中に施設を訪れないと解けない問題集を館で配付。問題を解きながら漱石をしってもらう企画。漱石山房記念館でブックトークも行った。想定を大きく超える問題集を配付した。	4
13多様な学習機会の提供	①クラシック音楽講座を開催します。	参加人数	人	19 (19)		ピアノの歴史を名曲でたどりながら語ってもらった。クラシック音楽講座は毎回好評で当館の定番講座となっている。	2
	②英語資格試験の受験を視野に入れた英語学習に関する講座を行います。	参加人数	人	25 (21)		翻訳家に身近な「サザエさん」を教材に英語学習法を学んでもらった。	2
15区民との協働	①利用者からしほりのデザインを募集し、オリジナルしほりを作成・配布します。	応募点数	点	58 (48)		幼児も参加しやすいようにデザインだけでなく塗り絵も用意した。	2
	②利用者からかるたの絵札デザインを募集し、かるた会で使用します。	応募点数	点	36 (40)		正月に行うカルタ会に興味をつなげた。	2
IV 子どもの成長を応援する図書館							
16「新宿区子ども読書活動推進計画」	①子ども読書の日と読書週間に合わせ、ぬいぐるみお泊まり会を行い、読書へのきっかけを作ります。	参加人数	人	41 (47)		お泊まり会でぬいぐるみが読んだ絵本を紹介すると絵本に対する興味が高まり読書のきっかけとなる。それだけでなく子どもたちの想像力を豊かにしてくれると保護者からの意見を多くいただく。	3
	②子ども読書の日と読書週間に合わせ、屋外で青空紙芝居を開催します。	参加人数	人	55 (40)		緑の環境を活かした青空紙芝居は大人も子どもと一緒に楽しめる。評価は毎回参加者も多く評価も高いので継続行事となっている。	2
	③東京2020オリンピック・パラリンピックに関する展示コーナーの設置とバスファインダーを作成します。	—	—	—		東京2020オリンピック・パラリンピックに関する展示コーナーを設置しバスファインダーも作成した。	2
18読書活動への支援	①区立小学校の朝読書に協力します。	—	—	—		朝読書の保護者ボランティアが多いとのことと要請はなかった。代わりに読書支援としてピリオバトルを提案したところ小学校3年生2クラスから依頼があり、開催をサポートした。教師・学校図書司書・保護者の協力をとりつけ高レベルのピリオバトルを行うことができ、本に興味をもってもらうきっかけづくりができた。	3
19区立図書館の利用促進	①たなばた会、かるた会など地域に根づき愛されている事業を開催します。	参加人数	人	58 (86)		たなばた会は都会で見ることができなくなってきている生徒を配付しており参加者からの評判がよい。	2
	②英語のおはなし会をハロウィンとクリスマス時に開催します。	参加人数	人	75 (93)		外国語のおはなし会は大変喜ばれ評判もよいが英語が全くわからない幼児とある程度理解する幼児があり、わからない子どもに合わせたレベルで行うため一部不満も出ている。今後は参加申込時のレベル事前告知も必要と思われる。	2
	③乳児向けのおはなし会を開催します。	参加人数	人	169 (111)		少しずつだが、参加者が増えてきている。	2
	④幼児・小学生向けのおはなし会を開催します。	参加人数	人	974 (1,118)		下落合図書館の開設で減少した参加者が回復してきている。幼稚園や子ども園への出張読み聞かせの効果と思われる。	2
	⑤16ミリ映画会とDVD映画会を開催します。	参加人数	人	54 (52)		幼児の参加が多いため、集中力を保つために途中に工作を入れる工夫をしている。	2
	⑥人形劇を開催します。	参加人数	人	51 (47)		開催場所(会議室)の収容人数を超える参加応募があるため、次回からは別の施設で開催することとした。	2

西落合図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量		実績	自己評価
				上段・30年度	(下段・29年度)		
20学校等との連携	①「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ①地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レブリカを作成します。 ②家族と一緒に学習できる理科読イベント ③工作会 ④自由研究個別相談会 ⑤近隣小中学校への出張講座	参加人数	人	455	(277)	理科イベントはトヨタ自動車の協力をもらい、ホバークラフトの仕組みについて座学を含め工作を通して学んだ。さらに完成品を競走させ、いかに遠く直進させるかなども学んだ。工作会はハーバリウムを作った。参加希望者全員を受け付けるために4回に分けて行った。自由研究個別相談会は相談に来やすいように1回6時間の幅を設けて4回行った。中学校で夏休み中の調べる学習支援プログラムの説明と参加を呼びかけた。	3
	②教師と学習課題を共有し必要な資料を揃えて活用してもらいます。	回数	回	2	(2)	調べ学習講座を開催し、特にテーマやまとめ方について教えた。	2
	③中高生の職場体験を行い、おはなし会で読み聞かせも体験してもらいます。	参加人数	人	6	(9)	一般的な図書館業務の他にもおはなし会で幼児たちに読み聞かせを行ってもらった。さらに一般的なビジネスマナーも学んでもらった。この二つのプログラムがよかつとの感想ももらった。	2
21絵本でふれあう子育て支援	①幼児保護者向けの絵本読み聞かせ講座を行い、家庭読書の普及を図ります。	回数	回	1	—	読み聞かせを行うことで子どもたちにおこる変化や期待される効果効果等を説明し家庭読書の普及を図った。	2
	②新宿子育てメッセにて子ども読書活動の普及啓発を行います。	—	—	—	—	来訪者に子育て支援事業の内容をアピールした。	2
V ICTの利活用の推進							
24ICTのさらなる活用	①情報探索講習会を開催します。	参加人数	人	17	(27)	昨年度は初級に加え中級コースを設けたが、両コースとも参加者がほとんど同じであったため、初級コースのみ開催した。	2
	②SNSで情報を発信します。	回数	回	2	(3)	イベント情報なので、定員を超えるイベントが多く発信は抑えた。	2
	③利用可能なデータベースの紹介に加えて活用する方法も提案します。	—	—	—	—	無料で調べられる有料データベース一覧のポスターを掲示して利用をアピールしているが、利用は若干名にとどまっている。	2
	④子ども向けのコンピュータプログラミング講座を開催します。	参加人数	人	34	(39)	昨年度開催し、定員オーバーで参加出来ない子どもたちが大勢いたため、同じ内容で開催した。今回も定員を上回る申し込みがあり保護者から論理的思考力が高まるなど評価は高かった。	3
VI 図書館環境の整備							
28利用満足度の高い図書館運営	①利用者の意向を的確に把握するため、アンケートを実施しニーズを分析し、今後の計画の参考にします。	回数	回	27	(21)	イベント終了後には必ずアンケートを実施し、結果は講師とも共有して次回に活かしている。満足度調査アンケートの結果については、サービス改善の資料として活かしているご意見をもとに自動貸出機横に荷物置き台を設置した。利用満足度調査において職員への対応については普通以下がゼロで全て普通以上という結果が出た。	3
29人材の育成・活用	①安定した人材の確保と配置を行い、職員研修の受講内容の情報共有を図ります。	—	—	—	—	昨年とほぼ同じメンバーが継続して運営にあたった。研修に参加した職員は研修報告と資料の回覧を行い情報共有を行った。夏期に1名を司書講習へ行かせるため、事業本部内で応援態勢を整えてもらい、大きなトラブルも起きずに運営することができた。	3
30利用者の快適な環境づくり	①防災マニュアルを点検し、防災訓練を行います。	回数	回	1	(1)	防災訓練と停電時対応の訓練を行った。図書館システム障害が発生したが、訓練通り適切な対応を取ることができた。ウィルスやPM2.5及び花粉に対し安心してご利用いただけるよう全ての部屋に空気清浄機を配置した。	2

戸山図書館サービス計画

基本方針		提案事業		指標	単位	数量 上段:30年度 (下段:29年度)	実績	自己評価
I 区民に伝える図書館								
1資料の充実	①障害者サービスと障害児教育、闘病記介護をテーマの常設展示と資料収集を行います。	展示点数	点	341 (一)			障害をテーマにした書籍や障害がある方の著作等を収集し、常設展示とした。同じ棚で、関連するパンフレットや冊子になった情報提供も行い、総合的に情報を得られるようにした。また、わかりやすい医療情報を提供するために、闘病記と介護をテーマにした新しい資料を収集し、常設展示とした。	3
	②新宿区立図書館4館(戸山・鶴巻・角管・下落合)連携グローバル展示を行います。戸山図書館は、世界遺産のヨーロッパとアジアの建造物を紹介します。	展示点数	点	122 (一)			2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れた、戸山図書館、角管図書館、鶴巻図書館との合同企画展示を行った。「グローバル」をキーワードに、各館の特徴を活かした企画展示を行い、「海外」と利用者をつなぐものを目指した。戸山では、WORLD(ワールド)VISION(ヴィジョン)～「世界」とつながる扉をひらこう～「世界遺産ストーリーズ～ロマンあふれる歴史的建造物～」を行った。	4
3電子資料等の活用	①電子化した新宿区発行の「新宿と庭園」及びマルチメディアDAISYに収録された絵本、企画展示の記事などを音声付資料としてタブレットで体験できます。	展示点数	点	86 (82)			電子化した新宿区発行の「新宿と庭園」とマルチメディアDAISYに収録された絵本の音声付電子書籍をタブレットに搭載し、カウンター前に常設、電子書籍をいつでも体験できるようにした。文部科学省許諾の上、教科書のマルチメディアDAISYも日本リハビリテーション協会より貸出を受け、学習障害のある児童の相談に役立て、貸出につなげた。	3
II 区民を支える図書館								
8外国人・障害者・高齢者に対する支援	①「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、検索等の補助など、図書館利用の工夫を行います。	—	—	—	—	—	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の内容を理解し、遵守するよう努め、必要な措置を講じた。日本図書館協会作成の障害者サービスガイドラインのアンケート項目からどのくらい実施しているかを確認、108項目中95項目をクリアできた。	4
	②外国語で書かれているテーマ別パンフレット・外国人が暮らしやすいよう案内した行政パンフレットを収集し、活用します。	—	—	—	—	—	暮らしに役立つ新宿区発行の行政パンフレットの多言語版をテーマ別に収集を行い、書架に配置、一般書籍資料と一緒に活用できるようにした。	2
	③日本点字図書館・日本リハビリテーション協会をはじめとした近隣の団体や国立国会図書館・サビエ図書館との連携、情報交換を行い、協働を図ります。	回数	回	国会図書館ダウンロード7,247 (6,515)			近隣の障害者施設、団体等14か所と連携、情報共有、協働につなげた。他、新宿区障害者福祉課、高齢者支援課および日本点字図書館、東京都盲人福祉協会、職能開発センターなどの民間、東京都福祉施設を訪問し、利用案内を配布、連携を呼びかけ、図書館で行っている障害者サービスを周知した。各施設利用者にも戸山図書館作成の音声資料を利用できるようにサビエ図書館や国立国会図書館の利用方法を伝えた。 国会図書館へ音声DAISYデータ提供年間58タイトル、総タイトル数498点、貸出ダウンロード数7247。(昨年比732増)プレーンテキストデータ提供5タイトル。国立国会図書館へのデジタルポジティブシステム利用登録。7月6日に行われた2018年度サビエ図書館利用者研修会での最もダウンロード件数が多いことから、公立図書館における事例発表を行った。	4
	④ラジオ日本「わたしの図書室」のDAISY版の製作、貸出サービスを行います。	貸出点数	回	貸出116 (105)			ラジオ日本「わたしの図書室」の音源提供を受け、DAISY編集を行い貸出サービスを行った。同時にサビエ図書館に資料提供を行った。	3
	⑤拡大読書機や音声読み上げ機「よむべえ」を設置し、利用促進を図ります。	—	—	—	—	—	自由に使用できるよう分かりやすい場所に設置、利用促進に努めた。年度末には新機種を設置、職員への操作研修を行った。	2
	⑥ボランティア活動の支援をし、必要な方々への対面相談を行います。	回数	回	66 (95)			相談のあった方々に新宿区家庭配本サービス事業実施要綱に則り、迅速に実施した。	3
	⑦DAISY・マルチメディアDAISYの利用促進に努めます。	回数	回	取材視察対応 11 (8)			マルチメディアDAISYの収集、利用促進を行った。iPad等を用いたおはなし会と障害者週間展示にてDAISY再生機やタブレットによるディスプレイ展示を行った。視察取材対応、意見交換会、他「マルチメディアDAISY図書 わいわい文庫活用術」に実績活動の記事を掲載した。文教子ども家庭委員会・シンガポール図書館・世田谷区政策経営部広報課・世田谷区音訳ボランティア・朝日新聞社総合プロデュース室・多摩六都図書館担当者等の視察があり、製作方法、利用方法、効果を伝えた。	4
	⑧音声による図書館報「声の図書館だより」を発行します。	回数	回	6 (6)			障害者サービス登録者に向け、2か月に1回、新着CDと新作DAISY、新刊の書評や活動報告などを掲載したテキストデータによる音声図書館報「声の図書館だより」(年6回、各70部)の原稿作成を行い、音訳に変換し郵送した。リクエストに役立てていただいた。	3
	⑨障害者や高齢者に優しい副音声付、日本語字幕スーパー付で製作されたバリアフリー映画会を開催します。	参加人数	人	75 (60)			障害者週間を知ってもらうために、毎年12月上旬バリアフリー映画会を行っている。平成30年度は年度内に2回行うことができた。2010年日本アカデミー賞受賞作品「重力ピエロ」と第70回毎日映画コンクール優秀賞・第20回日本映画批評家大賞受賞作品「春と旅」を上映し、どちらも感動的な作品であり、障害のある方と健常者の方が一緒に楽しむことができた。	4
	⑩日本語と英語の自館作成のユニバーサルデザイン、コミュニケーションボードを活用します。	—	—	—	—	—	筆談ボード、ピクトグラムを使用したコミュニケーションボード日本語と英語版それぞれを設置し、カウンターでの対応をスムーズに行った。	3
10博物館・大学等との連携	⑪近隣の障害児のための保育所、東京女子医科大学病院附属保育所へ出張お話を実施し、地域の人々を支えます。	参加人数	人	障害児10回 202 (8回181) 病児保育6回 212 (20回 270) 病棟12回 34 (12回70)			消毒済みの絵本を持参し、病児保育を実施しているま保育園、東京女子医科大学附属病院小児科病棟、障害児保育を行うあいあい年間とおして出張お話をを行った。衛生面を配慮し、それぞれの体調に合わせた対応を取った。	3
	⑫早稲田大学教育学部と連携し、新しい斬新な(オリンピック・パラリンピックなどの)企画で大学生と小中高校生を含めた区民との交流を図ります。	展示点数	点	80 (障害者スポーツ展69)			早稲田大学教育学部での生涯学習授業(48人)への協力として、5月の「生涯学習として図書館利用」から始まり、生涯学習につながる講座やイベントのやり方についてのレクチャーを行った。その企画から図書館での実践を考えた。	3
III 区民が集う図書館								
12魅力あるイベントの実施	①新春「初笑」真打による戸山寄席を開催します。	参加人数	人	84 (86)			日本の古典芸能である落語を通して、日本の伝統芸能と江戸庶民文化に触れていただく機会を提供した。	2
	②プロ演奏家による「春クラシックコンサート」を開催します。	参加人数	人	100 (100)			プロによる弦楽四重奏、迫力ある演奏だけではなく、楽曲や作曲家のエピソードも分かりやすく解説してもらい、より深く演奏を楽しめるようにした。	3
	③大人のための工作オリジナル手帳作り講座を開催します。	参加人数	人	20 (19)			編纂者の講師が手帳作成作業の工程表を用意し、初めての人でも本格的な製本作業に挑戦できるよう指導した。2019年版は祝祭日の変更を周知した。	3
	④戸山クラシックシネマDVDや16ミリ映画会を開催します。	参加人数	人	6回227 (7回446)			過去の名作といわれる映画の上映会を行った。会場には映画に合わせた音楽を用意し、上映前に解説を加え、より深く味わえるようにした。	2
13多様な学習機会の提供	①ボランティア団体「こはこの会」による文学作品朗読会を行います。	参加人数	人	3回82 (4回108)			健常者と障害者というバリアをなくしての年3回の朗読会を行った。3回目はホールを使用し、出演者と聞き手どちらにも好評であった。読み手は公演も行う視覚障害者。	2
	②国立国際医療研究センターと連携し、医療セミナーを開催します。	参加人数	人	27 (38)			国立国際医療研究センター病院との連携事業にて、医療・健康についての新しい情報を提供、今回は「栄養学」。	3
	③暮らしに役立つ生き方への提案をわかりやすいセミナーで開催します。	参加人数	人	11 (一)			旅行セミナー「なにが選べる?どこにいける?親子3世代で行く海外旅行プラン」海外旅行を賢く、安全に、楽しむために、ガイドブックの編集者の取材経験豊富な目線から旅行計画の立て方をレクチャーした。	3

戸山図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量 上段:30年度 (下段:29年度)	実績	自己評価
13多様な学習機会の提供	④身近な法律や経済問題をテーマにした講演会を行います。	参加人数	人	33 (38)	行政書士の方を講師にお招きし、「資産運用」について初歩の知識から講義していただいた。専門家の目線から、正しい知識を得ることができたイベントだった。	2
	⑤地域・世相・ブーム・歴史などのテーマや、ニュース性のあるタイムリーな展示を行います。	展示点数	点	32 (40)	表情美学を学ぶ第2弾。人間関係を良くするため、「表情美学」にでいかに対人関係の開運と幸福を創造するかについて講演していただいた。	3
	⑥新宿ゆかりの文豪・夏目漱石の常設展示コーナーを新設します。	展示点数	点	児童68 (-) 一般112 (-)	夏目漱石の作品、研究書などを含め、夏目漱石に関連のある、戸山図書館の資料を展示した。パスファインダーを作り、図書館の紹介のほか、夏目漱石の生涯について簡単にまとめたものを作成し配布した。一般書、児童書分け隔てなく図書を集めた。	4
14情報の生産・発信・交流の支援	①多言語での子ども向けやゲーム等を取り入れたイベントを開催し、日本で暮らす外国人との交流イベントを開催します。(外国語お話し会と一緒に開催)	参加人数	人	3回107 (4回134)	ネイティブスピーカーのフランス語や英語での歌や手遊び、読み聞かせを楽しんだ。おはなし会を通し、日本との言葉や文化の違いを感じてもらおうと、他国への興味を持つきっかけにもなった。会の始まりと終わりの合図としてフルートを奏でていた。読み聞かせだけでなくペープサートや歌を含めるとアニメーション(※)に富んだおはなし会とした。※遊びを繰り返すうちに、(子どもの中から)自然に読むための力を引き出すこと。	3
15区民との協働	①生涯学習館まつりに参加し、親子向け「青空かみしばい」を行います。	参加人数	人	39 (46)	昭和の文化に親しんでもらうと同時に、普段は味わうことのできない紙芝居の楽しさを味わってもらった。	2
IV 子どもの成長を応援する図書館						
16「新宿区子ども読書活動推進計画」	①子ども読書の日と読書週間合わせた展示や特別お話し会を開催します。	展示点数	点	1,103 (1,080)	購べたくなる、調べたいとき役に立つ資料を集めて展示し、「しらべろ⇒なっとくステーション」として様々な分野を紹介した。	3
19区立図書館の利用促進	①季節感のある工夫を凝らした親子で楽しめる工作会を開催します。	参加人数	人	39 (17)	梅雨時の紙コップの飛ぶカエルや節分の鬼のお面などに季節や歳時に関連する工作会を開いた。鬼のお面は紙のお皿を利用して、ちぎり絵で仕上げたものを親子で作ってもらった。	4
	②芸術性の高い人形劇を開催します。	参加人数	人	100 (100)	芸術性が高く、迫力満点の人形劇団を招致し、親子で楽しんでもらった。タイトルは「もりのへなそうら」	3
	③クリスマスおはなし会に絵本作家による絵本ライブを開催します。	参加人数	人	56 (52)	絵本作家の北島剛毅さん、パフォーマー・絵本作家の高橋徹さんをお招きして絵本ライブを行った。昔の演出やバントタイムなどを交えた普段味わうことのできない読み聞かせとなった。	3
	④ 海外大学製作、日本語訳を付した学習コンテンツを使って、知的好奇心を刺激するワールドカフェ(※)を行います。(※)テーマに対し、意見を話し合ったり考え、わかりやすく情報をまとめ直し、より深く理解する参加型グループワークです。	参加人数	人	2回34 (14)	学校教育でも注目されているアクティブラーニングを取り入れることで、図書館を利用する老若男女、国籍問わず、多くの方に「学ぶ喜び」を提供し、さらに図書館資料を活用しやすくなった。1回目イギリスのOpen University製作の英語のコンテンツを使い、ケインズの経済学やピケティの理論も会話に交え、2回目は自動運転のテクノロジーをテーマとして自由に意見を出し合った。最終的に人生や、理想の生活、国のあり方、についてそれぞれ自分の意見を述べる事ができた。最後の発表を終え、参加者の満足度は高かった。	4
20学校等との連携	①「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ①地域の学校に対し作品募集と学習支援を行い、レプリカを作成します。 ②調べる学習個別相談会 ③百科事典講座 ④理科実験教室 ⑤(新規)東京都下水道局水再生センターの見学 ⑥JICA地球広場の見学	参加人数	人	532 (434)	[平成30年度 図書館を使った調べる学習コンクール](図書館振興財団・主催、文部科学省・観光庁・日本教育振興財団・他 後援)の地域コンクールとして実施した。生涯学習として有効な「調べる学習」を図書館の利用を通じて行ってもらい、その発表の場として活用してもらった。小中学校・高校8校を担当、戸山図書館では542作品/532名の応募があり、ページ数、内容ともに充実したものが集まった。地域コンクール入賞は館長賞5作品、優秀賞8作品、奨励賞41作品となり、表彰式は新宿区立図書館合同で実施した。館長賞・優秀賞の13作品は全国コンクールである「第22回図書館を使った調べる学習コンクール」の3次審査へ出品し、結果は奨励賞2作品、佳作11作品であった。	4
21絵本でふれあう子育て支援	①図書館での定期お話し会他、近隣の保育園、幼稚園等へのお話し会を行います。	回数	回	123回1,440 (132回1,381)	テーマのあるお話し会を開催、絵本や紙芝居、わらべ歌や手遊びを通じて交流をはかり、お話しの世界へ想像力を膨らませ、楽しいひとときを過ごしてもらった。	3
V ICTの利活用の推進						
24ICTのさらなる活用	①ウェブ上で公開されているデータベースの使い方を教えます。	-	-	通年	図書館の資料は活字だけではなくことを伝え様々な統計情報や過去の事件などを簡単に調べられることを知らせた。ジャパンナレッジ利用を教えた。ビジネスに生かすようなデータの活用はほとんどなかった。	2
	②音声資料等をテキストDAISY化し、製作期間の短縮化と製作コストの削減を図ります。	資料点数	点	5 (1)	読み調査などにかかる時間をテキスト化を進めることで短縮し、コストを抑えることを目的に、職員によるテキスト化や、有償ボランティアにテキストDAISY化を進めた。合成音声DAISY化とそれに伴うマニュアル作成を行った。	3
	③マルチメディアDAISYを使ってお話し会を開催します。	参加人数	人	10 (24)	読書に困難を持つ人のために開発された電子書籍、マルチメディアDAISYを使ったお話し会を開催した。iPadを使用し、自分で操作しながら、誰もが楽しめる読書への理解を深めた。	3
VI 図書館環境の整備						
28利用満足度の高い図書館運営	①利用者の意向を的確に把握するため、アンケートを実施しニーズを分析し、今後の計画の参考にします。	参加人数	人	142 (153)	利用者満足度調査を行い、意見を集約し、運営に生かすことができた。同様のアンケートを毎年行い、継続したデータ集積から分析している。	2
29人材の育成・活用	①人員配置計画に基づき、司書取得者の確保も進め、人材の確保と適正配置を行います。職員研修を積極的に進め、その受講内容は全員での情報共有を図ります。	回数	回	6 (3)	館の特徴を最良な運営とするため、適正な人員配置の中、十分な研修を行った。特に障害者サービスについては職員全員に業務内容を研修し、登録や機器の使い方、障害の方の初期対応をできるようにした。	3
30利用者の快適な環境づくり	①防災マニュアルを点検し、生涯学習館や住民と防災訓練を行います。	回数	回	3 (2)	牛込消防署の指導の下、戸山ハイ11号棟の住民の方、図書館利用者、生涯学習館利用者、職員の参加を含めた地域交流大規模訓練を行った。他、防災訓練を2回行った。	3
	②書籍消毒機・アロマディフューザーを設置し、快適な読書環境を提供します。	回数	回	12 (12)	アロマ及び消毒機は毎月点検をし、常に最適な状態とした。どちらも好評である。	2

北新宿図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量		実績	自己評価
				上段:30年度	(下段:29年度)		
I 区民に伝える図書館							
1資料の充実	①外国人の多く住む地域にふさわしい外国語資料を充実させるとともに、多言語による館内表示を行います。	資料点数	点	66 (68)		多文化共生地区にふさわしく、外国語資料を充実させ、多言語による館内表示を行った。	2
2地域資料の充実	①柏木地区に関する資料や、地域の団体とその活動に関する情報を積極的に収集し提供します。	資料点数	点	90 (140)		新宿区、柏木地区に関する資料を収集した。今年度は新たに地域の団体やベトナム人向けの生活情報紙を収集提供した。	2
II 区民を支える図書館							
6区民の課題解決支援	①多く寄せられるレファレンス質問や地域をテーマにバスファインダーと参考調査資料の使い方を案内したパンフレットを年3回・各100部作成します。	作成枚数	枚	160 (160)		小学生低学年・中学年・高学年と中学生・高校生向けのバスファインダーを作成した。計画では、年3回の予定でしたが2回とし、部数については実績を元に減らしたが、区民の課題解決支援に貢献できた。	2
7利用者にわかりやすく役立つサービスの提供	①利用者の関心のあるテーマや紹介したい資料群をテーマ付けし、ブックリストを作成して提供します。その一つとして夏目漱石のブックリストを改定します。	展示点数	点	2,197 (2,292)		利用者の関心のあるテーマや紹介したい資料群をテーマ付けし、ブックリストを作成して提供した。今年度は、「ワンプレートごはん」「グルメブック」などの展示を始め、「漱石三昧」と題する展示などを行った。漱石に関しては、展示した資料の貸出も多く、展示した資料の1.2倍の資料が貸し出された。	2
	②東京2020オリンピック・パラリンピックなど、タイムリーなテーマ展示を行ない、展示リストを配付します。	展示点数	点	95 (-)		東京2020オリンピック・パラリンピックをテーマにした展示を行った。4月に「パラリンピック・オリンピック」と題する展示を、9月に「オリンピック・パラリンピックと東京」を行い、49点の貸出があった。	2
8外国人・障害者・高齢者に対する支援	①「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、検索等の補助など、図書館利用の工夫を行います。	-	-	-		障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の内容を理解し、遵守するよう努め、必要な措置を講じた。	2
	②館利用に障害がある方への利用援助や、家庭配本サービスの拡大を図ります。また、高齢者及び外国人利用者にわかりやすい館内表示を行います。	回数	回	68 (57)		家庭配本の紹介と利用促進した。高齢者の利用が多いので、資料の案内などに必要に応じて丁寧に行った。また、館内を利用する外国人にわかりやすい案内を行った。	3
	③日本語学校と連携し、外国人と日本人が交流できる機会「外国語おはなし会」「文化理解講座・留学生から『世界』を学ぶ」を設け、お互いが理解できるような支援事業を行います。	参加人数	人	46 (33)		留学生による絵本の読み聞かせに加え、日本の祝祭日を学ぶことのできるカルタを使ったレクリエーションや、母の日のプレゼントとして贈れるメッセージカードやフォトフレームの工作会も実施した。	2
9区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援	①柏木地区協議会が主催する「きずなカフェ」にミニ図書館を開設します。	-	-	-		計画策定時には知られておらず、「きずなカフェ」は昨年度で終了してしまっ。ミニ図書館は好評であったため残念な展開となった。	2
	②北新宿第二地域交流館が行っている「脳トレ」で朗読会を開催します。	参加人数	人	187 (206)		北新宿第二地域交流館で開催している脳トレ講座に毎月出張し、朗読をした。毎回14～15名の参加者があり、定着した講座であると実感できた。	2
	③北新宿生涯学習館等併設施設合同のまつりに参加し、リサイクル図書を提供します。	資料点数	点	132 (98)		北新宿生涯学習館など併設の施設すべてが参加する「きたさんまつり」で、リサイクル本を提供した。タ方にはリサイクル本が全てなくなり、盛況のうちに終了した。	2
III 区民が集う図書館							
13多様な学習機会の提供	①季節をテーマにした朗読会を行います。	参加人数	人	82 (84)		計画どおり、年4回の「北新朗読会」を開催した。NPO日本朗読文化協会に講師をお願いして、名作等数点を朗読してもらった。9月には、『夢十夜』より『第6夜』、『文鳥』ほか3点、夏目漱石の作品の朗読を行った。また、12月には、朗読の後、講師への質疑応答時間を設け、朗読をより身近に感じていただく「交流のひとつとき」を実感した。基本方針の「区民が集う図書館」に貢献できた。	3
	②多文化共生地域を意識したテーマを設定して講演会を開催します。	参加人数	人	410 (347)		多文化共生を考えたテーマを設定して講演会・二胡の演奏会・韓国伝統舞踊体験・ベトナム映画会・ベトナム料理教室などを実施した。7月は「ユネスコ世界記憶遺産 朝鮮通信使の過去・現在・未来」と題する講演会を朝鮮通信使研究の方に、9月は、南極越冬隊で調理を担当されていた方をお招きし、南極の生活についてお話いただいた。テーマを工夫したことで、昨年よりも大幅に参加人数が増え、どのイベントも好評であった。	4
	③製本工作会を行います。	参加人数	人	30 (42)		他様な本の作り方を学ぶ中で本に触れることを楽しめるようになってもらう工作会を行った。5月には和とじノート、7月は革の手帳、9月はフェルト表紙のノート、12月は封筒とじの本作り、2月はポストカードを織る製作体験など、毎回テーマと講師を工夫した。	2
	④陶芸体験やアクセサリ製作する北新ハンドメイド講座を行います。	参加人数	人	47 (48)		アクセサリを作る北新ハンドメイド講座を計画どおり年4回開催した。カルチャースクールの講師や芸術学院の講師などを迎え、水引むすびによるキーホルダー(福鈴)や、アロマキャンドルなどを作り、大変好評であった。	2
	⑤柏木地域センターのオープンカフェ・柏木フレンドパーク・新宿かしわまつりに参加して、出張図書館の開設、工作会、おはなし会を行います。	参加人数	人	69 (238)		柏木地域センター主催の「柏木フレンドパーク」に協力して参加した。万華鏡の工作キットに加え、筒をデコレーションしてもらうための折り紙やレースなどを用意し、世界に一つしかない自分だけの万華鏡を作ってもらった。	2
	⑥落語会を開催します。	参加人数	人	60 (61)		落語芸術協会の協力により北新宿寄席を開催した。毎回、すぐに定員に達してしまう人気のあるイベントとなった。安定した参加者数を得ることができ、地域に定着したよう見受けられる。	2
	⑦韓国料理を中心とした料理教室、語学講座を行います。	参加人数	人	48 (44) 84 (-)		料理教室は6月、10月、12月、3月に季節ごとの韓国薬膳料理講座を開催した。また、3月には「ベトナム料理教室」も開催した。語学講座は、今年度初めて開催し、6月に「はじめてのマンマー語講座(17名)、1月に「はじめてのベトナム語講座(35名)、2月に「いつまでも初級のままとは言わせない究極の韓国語講座(32名)」を行った。どの講座も定員に満ちた、参加者から好評であった。	4
14情報の生産・発信・交流の支援	①全国の旅先や韓国の地方都市を紹介する資料を収集して提供するとともに、利用者からの紹介も受け付けます。	回数	回	3 (4)		全国の旅先を紹介する資料を収集して提供した。利用者からも紹介資料の提供を受け付けた。また、韓国のフリーペーパー新たに設置した。	3
	②図書館だよりを発行し、図書館が行う事業等をお知らせします。	回数	回	12 (12)		図書館を身近に感じてもらえるような図書館だよりを毎月発行して図書館が行う事業等をお知らせした。	3

北新宿図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量		実績	自己評価
				上段:30年度	(下段:29年度)		
15区民との協働	①ボランティア体験講座を開催します。	参加人数	人	17	(20)	図書館サポーターとして活動できるようなボランティア体験講座を計画どおり年4回開催した。毎回4~5人の参加があった。今後の活動には直接結びつかなかったが、有意義な体験講座となった。	2
IV 子どもの成長を応援する図書館							
17読書環境の充実	①定例おはなし会のほか、土曜名作おはなし会、外国語おはなし会を行います。	参加人数	人	559	(792)	おはなし会・ちいさい子向けおはなし会・土曜名作おはなし会を定期的に行なった。昨年度よりも人数は減ったが、土曜名作おはなし会は安定した参加者数が得られ、定着した行事となった。また、ラポ日本語教育研修所の協力により外国語おはなし会を開催した。こちらは、昨年度よりも参加者数が増えた。12月に行った際は、いつもおはなし会を行っている部屋をクリスマス仕様に装飾し、スタッフもサンタクロースとトナカイに扮装をして子どもたちを迎えに行った。	2
	②子どもの読書週間と秋の読書週間に読書意欲を引き出すパネルや缶バッジを作成します。また、児童オリジナルブックリストを作成・配布します。	配布枚数	枚	300	(300)		
18読書活動への支援	①人形劇を開催します。	参加人数	人	36	(33)	図書館スタッフによる注意事項のアナウンスの後、上演スタートとなった。手遊びの入った楽しい小演目『ミイちゃんのわくわく弁当』が披露され、子どもたちが劇場空間に馴染んだ頃合いで、メインである『プレーメンの音楽隊』が始まった。プロによる絶妙な演技、独特のリズムや音楽を間近で堪能した子どもたちは、とても楽しそうな様子だった。保護者にも楽しんでもらえたようで、もっと頻りに開催して欲しいなど嬉しい感想を頂けた。	2
	②映画会を開催します。	参加人数	人	79	(47)	中央図書館所蔵の映画フィルム、映写機を使用して子ども向けの映画会を行った。また、フィルム入替時にはブックトークを行なった。上演中は子どもも大人も、映画に夢中になっている様子が印象的だった。休憩時間や終演後には、展示していた絵本を読む子どもが多かった。保護者にも、上映した作品だけでなく、同じ絵本シリーズの他の作品にも興味を持ってもらえたようだった。子どもにぜひ読ませたいという声も多く、図書館の利用促進につながる有意義なイベントだったと感じている。	3
19区立図書館の利用促進	①季節の行事を行います。 ①「こいのぼりぬえをしよう」 ②「七夕のたんざくを書こう」 ③「夏休みかがくあそび」 ④「ハロウィン工作会」 ⑤「クリスマス工作会」 ⑥「正月カルタ大会」	貸出点数	人	①7 (9) ②28 (46) ③22 (16) ④20 (25) ⑤34 (21) ⑥11 (23)		①こいのぼりのぬえをしてもらい完成した絵は、館内に掲示した。友達同士で参加した子どもたちが、館内に設置した専用スペースで、品評しながら楽しそうにぬえをしているのが印象的だった。 ②七夕用の笹竹を購入し、短冊に願いを書いて飾った。家族のための願いごとや、自分の将来の夢の願いごとなど、様々な内容があり、みんな楽しそうに飾ってくれて、館内が華やかになった。 ③身近な素材の化学反応を体感する実験を行った。「またこのような機会を設けて欲しい」など、子どもたちからも保護者からの喜びの声をいただき、とても賑やかで充実したひとときとなった。 ④最初にハロウィン関連の絵本の読み聞かせを行い、ハロウィンの雰囲気が高まったところで工作を行い、粘土と絵の具だけで好きな形に仕上げることのできるランタンが出来上がった。 ⑤、最初にクリスマス絵本のよみきかせ(2冊)で雰囲気盛り上げた後、工作を行い、全員がオリジナルのスノードームを完成させ、満足して帰られた。 ⑥カルタ取りは計三回行ったが、一回戦ごとに白熱していく様子が印象的だった。子どもたちはみんな真剣に札を見つめ、必死に手を伸ばしていた。	2
	②読書手帳を配布し、読書意欲を引き出します。	-	-	-	-	お誕生日カードから読書手帳に変更して配布した。その結果大好評となった。	2
20学校等との連携	①「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ①地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レブリカを作成します。 ②調べる学習コンクール相談会 ③東京大学宇宙工学部航空宇宙工学研究室の訪問見学 ④調べたまとめるブックの配布	①②③参加者数 ④配布枚数	①②人 ③人 ④枚	①567 (476) ②13 (21) ③41 (24) ④40 (40)		①調べる学習コンクールに参加した。担当学校への説明会、作品収集、返送などを行った。表彰、作品集の印刷等、他図書館と連携して行うことができた。 ②講師を頼んで夏休みに一週ごステップ学習を行った。 ③東京大学宇宙工学部航空宇宙工学研究室を訪問見学しました。最初に宇宙やロケット開発にまつわる講義を受けた。2班に分かれて開発室や屋上をめぐる、講義に登壇した人工衛星などを実際に見学した。 ④児童バスファインダーを作成・配布しました。 昨年度より応募数も増え、作品の質も向上している様子が見受けられた。また、学校との連携もよりスムーズに、かつ深くなってきた。しかし、これは新宿区全体にも言えることだが、入賞者はやはり常連の面々が多く、保護者が熱心な児童以外にも、調べることの楽しさやノウハウを伝えていくことが今後の課題ではないかと感じた。	2
	②幼稚園・小学校・子ども園・子ども家庭支援センターへの訪問おはなし会、幼稚園児・小学生が来館するおはなし会を行います。	回数	回	9	(13)	北新宿子ども園の要請に応じて出向き、おはなし会を行った。また、北新宿子ども家庭支援センターの要請に応じて出向き、年齢ごとのサークルや学童クラブでもおはなし会を行った。	2
V ICTの利活用の推進							
24ICTのさらなる活用	①SNSでイベント情報を配信していきます。	回数	回	20	(13)	イベント講師の方にSNSでイベントをPRして頂いた。	2
VI 図書館環境の整備							
28利用者満足度の高い図書館運営	①利用者の意向を的確に把握するため、アンケートを実施しニーズを分析し、今後の計画の参考にします。	参加人数	人	92	(118)	利用者アンケートを実施し、ニーズを取り入れ次年度の計画づくりに役立てた。	2
29人材の育成・活用	①安定した人材の確保と配置を行い、職員研修の受講内容の情報共有を図ります。	参加人数	人	117	(150)	中央図書館で主催の研修を始め、指定管理事業者で行うリファレンス研修などに参加した。職員が受講した研修を基に、職員間で情報共有を行った。	2
30利用者の快適な環境づくり	①防災マニュアルを点検し、併設施設と合同防災訓練を行います。	回数	回	2	(2)	北新宿子ども家庭支援センター等併設施設と連携し避難訓練を行った。	2

中町図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量 上段:30年度 (下段:29年度)	実績	自己 評価
I 区民に伝える図書館						
1資料の充実	①神楽坂に関連する小説やエッセイ、史跡、名所、施設に関連する資料(能楽、関孝和、宮城道雄、古今亭志ん朝、東京理科大学など)を収集します。	資料点数	点	19 (26)	30年度に新しく出版された「浄瑠璃坂の仇討ち」「火のないところに煙は」や既刊本「クレーンホーフ光子の手記」「三上義夫著作集・関孝和」などを収集した。利用者から神楽坂に関する本の問い合わせも多く、地域資料コーナーを設置したことにより、利用者が資料に早く辿り着ける場所となっている。	3
	②新設した「子育て支援コーナー」充実のため、子育て支援に関する本を収集します。	資料点数	点	6 (3)	子育て支援コーナーには、ご要望の多い内容について対応を行ったことを掲示するとともに、「2歳児サバイバルライフ」「ママががんばらないで離乳食」など分類をこえて広く収集した。	2
II 区民を支える図書館						
6区民の課題解決支援	①図書館だよりを毎月発行し、図書館での調べもののヒントを掲載してリファレンスの活用を促します。	回数	回	12 (12)	図書館だより「神楽坂散歩」は神楽坂地名の由来Ⅱとして、地域の地名の由来を紹介した。また、表紙を図書館員が撮った地域の写真にしたり、参考資料を記載したりし、地域の調べもののきっかけにつなげた。	3
	②一般・児童それぞれを対象としたパスファインダーを作成・配布します。	作成点数	点	4 (4)	一般向けに「日本茶・茶道」「刀剣」の2種類と、児童向け「オリンピック・パラリンピック」「犬」の2種類のパスファインダーを作成した。	2
8外国人・障害者・高齢者に対する支援	①「障害者サービスに対する図書館の姿勢を正しく認識し、様々な障害者サービスを提供できるよう、障害者対応に関するスタッフ研修を企画・実施します。	参加人数	人	7 (12)	中町図書館はエレベーターがない地下に位置することで、図書館を利用する方に様々なサービスが出来るよう、スタッフ全員がサービス助手の資格を取得した。図書館の入口にあるインターホンで、地下に降りられない方のために、スタッフが1階まで行って、予約本の受取り代行などの対応も行った。	4
9区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援	①地域の施設と連携して、リサイクル図書を提供する「中町まちかど図書館」を実施します。	—	件	2 (2)	リサイクル図書の活用で偶数月に各20冊、高齢者福祉施設神楽坂と牛込草管地域センターの書架に本を入れ替える。図書館だより「神楽坂散歩」やイベントのチラシも置き、中町図書館をアピールした。	2
10博物館・大学等との連携	①地域の大学と連携して児童向け算数教室を行うとともに関連展示を行います。	回数	回	2 (2)	東京理科大学大学院生の協力の元、大道仮説実験をテーマに算数おもしろランドを2回行った。1回目は「ころがり大実験・一番早いのはどれ?」、2回目は「しゅぼしゅぼ〜空気がみえる?」。仮説を立てることにより、子ども達は想像を膨らませ、実際に実験することで、驚き楽しんでくれた。関連展示も好評であった。	3
III 区民が集う図書館						
12魅力あるイベントの実施	①映画会(一般向け、児童向け各2回)を開催します。	回数	回	4 (4)	一般向けの映画会は、中町交流館との共催行事とし、児童向けについては、中町児童館との共催事業として開催した。	2
	②子どもから大人まで楽しめる映画会を開催します。	回数	回	1 (1)	子供から大人まで楽しめる「なから映画会」を開催した。牛込草管地域センターで「ジュラシックワールド」を上映し、参加者35名のうち、大人20名、子ども15名であった。	2
	③外部講師を招聘して、歴史講座を開催します。	参加人数	人	14 (12)	地域にお住いの郷土史研究家の案内で、夏目漱石の足跡を辿る企画「漱石の神楽坂を歩く」を開催した。キャンセル待ちが多数出るなど大人気で、また開催して欲しいとの声が多かった。	3
	④文学作品の朗読会を開催します(3回連続)。	参加人数	人	176 (161)	平成28年度からの続いている飯田すみこ氏の朗読会を3回連続で開催した。第1回は、芥川龍之介の「羅生門」ほか2作品で、59名が参加し、第2回は、宮部みゆきほか1作品で、50名が参加、第3回は、連城三紀彦ほか2作品で67名が参加した。朗読された図書館所蔵の本も受付に置き、参加者からは是非借りに図書館へ行きたいとの声があった。	3
	⑤「中町落語会」を開催します。	参加人数	人	36 (34)	今回で4回目となる真打・桂やまと師匠の落語会を開催した。小泉八雲の怪談話「鳥取の布団」ほか2席で、笑いあり涙ありの構成のため、参加者のほとんどが満足された。	3
	⑥古書の稀覯本(希少価値の高い古書)を展示します。	回数	回	1 (1)	古書展示「原書で見る絵本・児童書」では『デンスローのハンプティダンプティ』ほか3点を著者などの解説とともにガラスケースに入れ毎日ページを変えて展示した。展示した資料の関連本のブックリスを作成し、配布も行った。	2
	⑦読書週間企画として、大人を対象に、図書館員が選んでセットにした3冊程度の本を、題名を隠して「本のお楽しみ袋」として貸し出します。	貸出点数	点	13 (13)	図書館員がおすすめする本を3冊1セットとし、テーマのみを掲示し、書名が分からないように貸出した。包装紙を黒、リボンを赤にして玉手箱風に仕上げた。	2
13多様な学習機会の提供	⑧大人を対象に、本に関連する地域の会社の見学を行います。	参加人数	人	6 (-)	平成23年に新宿区地域文化財登録された佐々木活字店を訪ね、活版印刷の工程を見学した。参加者からは「ますます活字が好きになった」「以前から活字店とはどんな所なのか気になっていたので、良い機会になった」などアンケートは全員満足との結果だった。	3
	⑨大人のための朗読会の演者を講師に迎え、朗読を学ぶ会を開催します。	参加人数	人	30	朗読教室「声に出して読む文学」。朗読会で人気の飯田すみえ氏を講師に迎え、7月から9月にかけて3回連続講座として行った。一人一人じっくり読んで指導してもらい、参加者は今後の活動の場を模索していた。	3
14情報の生産・発信・交流の支援	①地域行事「まち飛びフェスタ」に参加し、リサイクル図書の提供やオリジナルしおりの配布を行います。	回数	回	1 (1)	毎年開催されている「神楽坂まち飛びフェスタ」に参加した。今年は神楽坂伝統芸能をテーマとしたしおり「失楽楽楽堂」など4種類を作成し、予定数の484点を配布した。また、リサイクル本は一般と児童書合わせて340点配布した。	3
	②利用者からのおすすめの本とコメントを図書館スタッフの感想コメントとともに展示する利用者参加型展示「わたしの本棚」を行います。	回数	回	2 (2)	「わたしの本棚」と題して、利用者のおすすめしてくれた本を展示し、おすすめの理由もカードに書いてもらった。スタッフも本を読んだ感想を書いて一緒に展示した。	2
	③利用者懇談会を開催します。	回数	回	1 (1)	昨年度に引き続き、小さい子向けおはなし会の後に実施。読み聞かせボランティア5名とおはなし会に参加してくれた1名が参加。昨年度、要望があった赤ちゃんとタイムを毎週開催したことや、幼児用便座の設置や階段手すりの改善などを説明した。今後の要望を聞いて、次年度に向けての改善点が見つかり、有意義な意見を伺うことができた。	3
	④一般の利用者向けに、季節や社会情勢に合わせた展示を行います。東京2020オリンピック・パラリンピックの関連展示や夏目漱石をテーマとした展示も行います。	回数	回	28 (25)	一般展示、ミニ展示、児童展示と展示コーナーを3箇所も設け、東京2020オリンピック・パラリンピック、夏目漱石、中町主催のイベント関連など、利用者に手に取って見てもらう工夫をし展示した。貸出回転率が200%を超えた展示は12回あった。	2
15区民との協働	①「読み聞かせ実践講座」を実施し、中町図書館での読み聞かせボランティア活動に繋がるよう育成・支援します。	回数	回	3 (1)	これから読み聞かせ活動を行いたい方を対象に、絵本が専門の司書講師を迎え3回連続講座を実施した。14名の受講者のうち、2名が図書館サポーターに登録し、おはなし会での活動を始めた。	3

中町図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量		実績	自己評価
				上段:30年度	(下段:29年度)		
IV 子どもの成長を応援する図書館							
19区立図書館の利用促進	① 工作会を開催します。	回数	回	2 (2)	8月の「音の出るおもちゃをつくろう!」では、カプセルトイのカプセルやペットボトルを再利用したマラカスなどを作成し、音を鳴らして楽しんだ。また、12月の「クリスマスブーツをつくろう!」では、牛乳パックに色画用紙やモールで装飾した作品ができあがった。	2	
	② 人形劇を開催します。	参加人数	人	84 (55)	なるべく多くの方に参加していただけるように、キャンセル待ちの方にもお声掛けし、84名の方に参加していただいた。	2	
	③ 赤ちゃん連れの利用者が気兼ねなく利用できるよう、他の利用者に赤ちゃんの泣き声などに配慮していただく時間「赤ちゃんタイム」を設けます。	回数	回	43 (23)	平成30年度から毎週火曜日の10:30~12:00を「赤ちゃんタイム」として設定し、おはなし会のない週も「赤ちゃんタイム」としてベビーベッドを設置し、赤ちゃん連れの方も気軽に図書館を利用できるように促した。	2	
	④ 子ども読書スタンプラリーを開催します。	参加人数	人	452 (494)	1日1スタンプで10個達成を目指す「夏休み子ども読書スタンプラリー」を実施した。スタンプカードは452枚配布し、3個・6個を貯めた子ども192人にしおりを、10個達成した子ども20人には缶バッジを配布した。平成28年度からの恒例行事であり、今後も読書への関心を持ってもらうため、魅力ある行事にしていきたい。	3	
	⑤ 幼児から小学生を対象に、おはなし会を行います。	参加人数	人	1,280 (1,070)	10回参加達成者には手作りポンポンのマスコットをプレゼントした。常連の子も達も増えて、参加人数も多く、賑やかな雰囲気のおはなし会が行えた。	2	
	⑥ 乳幼児向けおはなし会を行います。	参加人数	人	172 (248)	参加型のおはなし会など、ボランティアさんのアイデアで様々な形のおはなし会を行うことが出来た。利用者さん達の交流も見られ、和気あいあいとした雰囲気で行えた。	2	
	⑦ 子ども向けオリエンテーション(小学生を対象に、本の分類や探し方、OPACの使い方を説明)を開催します。	参加人数	人	14 (4)	バルーンアートをテーマに、実際にスタッフが作るのを見学し、体験してもらった。その後、館内のOPACを使って本の調べ方、探し方をレクチャーした。オリエンテーション後には探し出した本が全て貸出となった。	2	
	⑧ 「子ども読書の日」関連企画として、幼児から小学生を対象に、図書館員が選んだ3冊程度の本を、題名を隠して「本のお楽しみ袋」として貸し出します。	参加人数	人	20 (20)	対象を①0・1・2歳②3・4・5歳③6・7・8歳④9・10・11歳⑤12歳以上の5グループに分けた。全スタッフがテーマを考え、ミニ展示コーナーにオススメの一言を貼りだした。	2	
	⑨ 小学生を対象に本の整理や装備、探し方など図書館員の仕事を体験する「としよかん職場体験」を行います。	参加人数	人	9 (8)	今年で5年目の「なままち調査隊」は、図書館員の仕事や分類、レファレンス体験、装備体験などをオリジナル調査ノートに沿って説明した。参加者には「なままち調査隊認定証」と記念品を贈呈した。	3	
	⑩ 英語絵本のおはなし会を行います。	参加人数	人	77 (56)	私立小学校での英語教諭経験者と助手により、季節に合ったテーマに合わせて、英語圏の風習や文化を取り入れて実施した。毎回楽しみに参加してくれる子どもや、しばらく参加がなかったがまた戻ってくる方達もあり、安定した参加人数が得られた。	2	
⑪ 複合施設の児童館や近隣の児童館・保育園と連携し、出張おはなし会を実施します。	回数	回	30 (19)	昨年度より回数も増え、図書館スタッフが行うおはなし会を楽しみにしているとの声をいただいている。 ①あいじつ子ども園:10回②中町児童館:2回③北山伏児童館:8回④北山伏児童館:10回	3		
20学校等との連携	① 中学校の司書・図書委員と連携して、おすすめ本とおすすめコメントを中町図書館内に展示するとともにブックリストを作成・配布します。	資料点数	点	130 (100)	牛込第一中学校と牛込第三中学校との共催事業とし、中学生と先生のオススメの本Vol.4のブックリストを作成した。ブックリストの表紙は牛込三中の生徒に描いてもらった。また、可能な限り出版社の許諾を得て書影データを手直し、ブックリストに書影を掲載するなど、工夫を凝らした。	4	
	② 「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ① 地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レプリカを作成します。 ② 出張授業 ③ 社会科見学 ④ 調べる学習ガイドンス	① 点数 ② 回数 ③ 回数 ④ 回数	① 点 ② 回 ③ 回 ④ 回	① 577 (526) ② 4 (2) ③ 2 (2) ④ 3 (3)	① 応募作品数は577点で新宿区立図書館の中で一番多かった。応募作品の中から、全国コンクールの優秀賞の日本児童教育振興財団賞を受賞し、優秀な成績を収めた。② 調べる学習コンクール出張授業は4回行った③ 夏休み社会科見学はJICA地球広場と借成社を訪れた。④ 調べる学習ガイドンスは3回連続で開催し、1テーマの決め方、2調べ方、3まとめ方を行った。	4	
V ICTの利活用の推進							
24ICTのさらなる活用	① 地元企業と連携し、デジタル技術を活用したイベントを開催します。	回数	回	1 (1)	大日本印刷株式会社が所有するデータを使って、現存する最古の地球儀とされる「ペハイムの地球儀(1492年制作)」のレプリカを制作した。ペハイムの地球儀保存は当時の人が何を知り、何を知らなかったのかを知る大切な資料であり、デジタル技術の必要性を学ぶ場となった。	3	
	② Facebookでイベントなどの情報を掲載します。	回数	回	67 (149)	イベントや新刊案内をアップロードし、中町図書館のアピールにつなげている。	2	
VI 図書館環境の整備							
28 利用満足度の高い図書館運営	① 利用者アンケートを年2回実施し、ニーズを取り入れて運営に反映させ、次年度の計画づくりに役立てます。	回数	回	2 (2)	カウンターで利用者に声掛けし、アンケートに回答してもらう。要望を受け、出来る所から改善に努めている。	2	
29 人材の育成・活用	① 安定した職員体制を維持するように人材を確保し、必要な研修を実施します。			42 (77)	弊社主催研修として、図書館員のための英会話講座や接客研修など、利用者サービスに直結する研修に参加した。また、中央図書館が主催するレファレンス研修等に参加し、スタッフの育成に力を入れた。	3	
30 利用者の快適な環境づくり	① 防災マニュアルを見直し、併設施設と合同防災訓練を行います。	参加人数	人	11 (4)	防災マニュアルを更新し、常にスタッフが見れる場所に置いている。併設施設との合同防災訓練は、スムーズに行える様に、併設施設と図書館スタッフで、事前に打合せを行い、当日は利用者にも参加してもらい、実際にスタッフが誘導しながら、利用者を避難させ避難場所までの経路を確認した。	2	

角筈図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量 上段:30年度 (下段:29年度)	実績	自己 評価
I 区民に伝える図書館						
1資料の充実	①ビジネス関連資料(区内全域に所在する企業の社史、業界新聞・専門誌など)を積極的に収集し、提供します。	—	—	—	当館は、ビジネス支援に力を入れていることから常に業界紙は約350種類を確保し、その業界紙リストをその棚に準備している。(3、4ヶ月おきに定期的に最新リストに変更している)	3
	②増えつつあるビジネスコーナーの資料を整理し、充実したビジネスライブラリーの構築を図ります。	—	—	—	6階のフロア全体にビジネス関連の資料を設置している。ジャンル別に見やすく、わかりやすいビジネスコーナーを展開し、利用者へ活用して頂いた。	2
	③年鑑や政府が提供する統計類を充実します。	—	—	—	ビジネス支援の資料として、6階に参考調査室コーナーを設けて展開し、それらの資料は、古い情報では役に立たないが、常に最新情報の資料に取り換えることを意識し、運営に当たった。	2
II 区民を支える図書館						
6区民の課題解決支援	①中小企業診断士によるビジネス情報支援相談会を開催します。	参加人数	人	10名 (16名)	予約は入るが、当日キャンセルも多く、先生が毎年同じこともあり、利用者からは、違う先生の意見も聞きたいとのコメントがある。無料で相談を受けることができると受講者からは好評で、更に資料やビジネス講座との関連も大きいことから継続すべき事業である。次年度はポスターを変更し、鮮度を上げて取り組んで行く。	2
	②ファッション関連者によるファッションビジネス講座を開催します。	参加人数	人	39名 (30名)	前年度スタートし、ファッション・ビジネスジャーナリストを講師に招いてのセミナーを年間2回実施した。ファッション関係者の参加が多く、「無料でこのレベルの講座が受けられるとはありがたい」等、大好評である。	4
	③行政書士によるビジネス講座を開催します。	参加人数	人	53名 (—)	外国人労働問題、IT関連、働き方改革、起業と今話題の内容に取り組んだ講座を年間4回実施した。どの講座も参加者からは、評判が良く、今の潮流に合った内容の講座を進めた。講座と同時に、その内容に即した展示も行い、ビジネス資料の貸出拡大とビジネスライブラリーの紹介にも貢献できた。	4
	④(株)シナリオ・センターと組みビジネス講座を開催します。	参加人数	人	21名 (—)	初めて行った講座で「セルフ・プロデュース」と題し、シナリオを書く様に、参加者各々が今年の自分作りを表に作成し、講師の説明を聞きながら起承転結にまとめて上げた。今後それぞれに、面接を受ける時、会社の中でどの様に自分をアピールするか、友人との付き合い方等に当てはめて行きたいと参加者から多くの意見があった。	3
	⑤特定社会労務士によるハラスメント講座を開催します。	参加人数	人	8名 (—)	この講座も初めて行ったもので、ハラスメントの定義・事例・対策等講師より説明があった。参加者の関心も高く、講座終了後も質問・相談の順番待ちが出る程だった。	2
8外国人・障害者・高齢者に対する支援	①「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、検索等の補助など、図書館利用の工夫を行います。	—	—	—	障害のある方でも問題なく利用できるように、点字本や大文字本を用意して対応した。その他、往来しやすい通路の確保、手書きで会話ができるように「iPad」や「コミュニケーションボード」もカウンターに用意し、対応した。	3
9区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援	①リサイクル資料の一部を西新宿シニア活動館の文庫に提供します。	—	—	—	西新宿シニア活動館の文庫に毎年1回約50冊提供し、地域の皆さんとの交流を深めた。定期的に行われる地域の交流会では、毎回シニア館館長と情報交換を行い、お互いの運営状況について意見の交換を行った。	2
	②近隣の養護施設、介護施設などへの出張朗読会を開催します。	参加人数	人	55名 (54名)	近隣の養護学校へ出張おはなし会を4回実施した。また、小学校低学年・中学年・高学年と中学生のクラスに計4回の出張おはなし会を行った。	3
III 区民が集う図書館						
12魅力あるイベントの実施	①角筈寄席(日本の伝統芸能である落語会)を開催します。	参加人数	人	47名 (62名)	毎年行い、楽しみにされている方が多い人気のイベントである。この寄席も平坦なホールでの開催のため、利用者へ快適に見て頂くために、人数の制限をした。	2
	②角筈まちあるき(様々な歴史のある角筈地域を専門家と歩く)を開催します。	参加人数	人	14名 (19名)	予約では、昨年よりも多くの参加予定だったが、当日キャンセルもあり前年を参加者が下回った。地元密着のイベントで、角筈図書館の近隣を毎年探索するものなので、地域の方々との連携のできる重要なものである。	2
	③キネマ角筈と銘打ち、懐かしい映画会を開催します。	参加人数	人	86名 (96名)	前年度無制限に人数を入れ、見にくいとの意見があったことから定員を減らすことで、快適に映画鑑賞をして頂いた。	2
	④ビブリオバトル(本を基にした知的コミュニケーションゲーム)を開催します。	参加人数	人	52名 (55名)	スタートして2年目となり、初年度は、参加者が、区外の方中心だったが、今年度は人数は減ったものの区内の方中心に行うことができた。また、当初考えていたビブリオバトルの形で行えた。	2
	⑤ライブプランセミナー(年金等、地域住民に直結する講座)を開催します。	参加人数	人	21名 (7名)	今年度は、「ねんきん定期便」についての講座だったことで、予約の時点から多くの応募があり、具体的な事例を取り扱ったことで参加者からは好評だった。	4
	⑥ワールドカフェ(※)【学びのワークショップ】を開催します。(※)テーマに対し、意見を出し合って考え、わかりやすく情報をまとめ直し、より深く理解する参加型グループワークです。	参加人数	人	17名 (—)	今年度初めて開催したイベントでまだ、ワールドカフェというものが利用者に浸透していないが、参加した方からは、「楽しかった、次回も参加する」との意見を頂けた。テーマは、①「感情のあるロボットと暮らす!」②「人類滅亡...?~それでも生きのびるには~」を行い、テーマにより参加者の内容がガラッと変わった。	2
	⑦自宅で珈琲を美味しく入れるコツを伝授する珈琲講座を開催します。	参加人数	人	23名 (—)	初めて行った講座で、近隣のカフェオーナーにお願いし、実地講座を開催した。お湯の温度、豆の量、色々なサイフォンの利用等、違った形での入れ方を参加者に体験して頂き楽しんでもらった。参加者からは、続編の要望も多く、次年度も実施する予定である。同時に、珈琲関連の展示も行い、普段余り貸出のない資料が多く貸出された。	4
	⑧江戸東京野菜の復活と栽培状況の紹介講座を開催します。	参加人数	人	11名 (—)	初めて行った講座で、新宿の伝統野菜についての話が中心で、特に、地元の特産品であった「角筈かぼちゃ」については、細かく説明があり「へえ、そうだったんだ」との声があった。地元の参加者が多く、地域密着のイベントができた。	2
13多様な学習機会の提供	①東新宿保健センターと協力し、健康に関する展示を行います。	貸出点数	点	34点 (69点)	今年は東新宿保健センターの都合で、11月から9月に早まったため、例年メイン展示で行っていたものをミニ展示としたこと、また、テーマについても変更したため、前年に比べ、貸出冊数が伸びなかった。毎年秋に健康に関する展示を東新宿保健センターと共催することは、意義があるため、今後も継続して行く予定である。	2
	②夏目漱石に関連するオ・場所等、ゆかりの展示を行います。	貸出点数	点	33点 (—)	新宿区漱石山房オープン1周年を記念して、「漱石と月」と題し、漱石の名言のエピソード、また意外な一面など、漱石の人物像について語られている資料を中心に展示を1ヶ月間行った。	2
14情報の生産・発信・交流の支援	①区の平和事業に合わせ、戦争と平和、及び人権に関する資料の収集と展示を行います。	貸出点数	点	68点 (30点)	「平和をフィクションとノンフィクションから読む」と題し、平和や戦争が描かれた小説やエッセイを中心に展示し、その舞台となった場所や建物、歴史資料も紹介したことで、例年よりも多くの貸出があった。この展示を通し、平和に対する意識を少しでも持って頂けたことは重要である。	3
	②東京2020年オリンピック・パラリンピック開催に当たり、海外の情報を4館(戸山・鶴巻・下落合・角筈)合同テーマのもと各館独自の特徴を出した展示にて情報発信をします。角筈テーマ日本と海外ビジネスとの繋がりを。	貸出点数	点	161点 (—)	4館合同テーマ「WORLD-VISION ~「世界」とつながる扉を開こう~」のもとサブタイトルとして当館では、「日本と海外ビジネスとの繋がりと」題し展示を行った。GDP(国民総生産)前年比のランキングをもとに関連国を設定し、日本経済との係わりを含め、特集を組んだ。展示該当国の資料を頂くため、幾つかの大使館を訪問し、各国大使館から数多くの資料を頂き、それを展示することで、よりリアルな展示ができた。	4
IV 子どもの成長を応援する図書館						
16新宿区子ども読書活動推進計画	①子ども読書の日と読書週間に合わせて展示を行います。	貸出点数	点	112点 (—)	4月は入園や入学、進級など新しい生活が始まることから学校生活や人間関係をテーマに、新生活に役立つ本や友情がテーマの絵本及び小説も集めて展示した。	3

角筈図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量 上段:30年度 (下段:29年度)	実績	自己評価	
19区立図書館の利用促進	①年2回、角筈ミニシアターとして、少人数によることも向け映画会をおはなしの部屋を利用し、開催します。	参加人数	人	34名 (-)	例年人気のホールでの子ども映画会の回数増加の要望が高かったことから図書館内おはなしの部屋を利用して、短編映画3本によるミニシアターをスタートさせ、好評を得た。	3	
	②人形劇(年1回)を開催します。	参加人数	人	72名 (67名)	毎年1年に1回行っている人形劇団ブークによる人形劇を今年度も行った。今回も2作品を上演して頂き大盛況で、複数開催の要望が多い人気のイベントである。	4	
	③おはなし会を開催します。	参加人数	人	958名 (652名)	大きい子向けに44回、小さい子向けに23回実施した。出張おはなし会、地域内イベント参加時に当館で行うおはなし会の宣伝をしたため、今年度大幅に参加人数が増えた。また、おはなし会は、保護者連の情報交換の場としても活用され、毎回新しい参加者が増えて行くのが分かる状況だった。	4	
	④英語おはなし会を開催します。	参加人数	人	130名 (51名)	通常のおはなし会や出張おはなし会等時に、数多く宣伝した効果と英語教育への関心の高まりもあり、今年度大幅に参加人数が増えた。乳児親子から、小学生の低学年迄幅広い層の参加者があった。	4	
	⑤出張紙芝居&おはなし会を行います。 ①西新宿子ども園 ②西新宿児童館 ③西新宿アスク保育園	回数	回	15回 (15回)	子ども園年2回、児童館に年間12回、保育園に年間1回出張おはなし会を実施した。どの回にも大型本、パネルシアター、紙芝居、エプロンシアター、歌による手遊びを行い、参加者親子と職員が一体感となり、楽しいおはなし会を開催することができた。	3	
	⑥西新宿児童館まつりに参加し、大型本、紙芝居等の読み聞かせを行います。	参加人数	人	55名 (87名)	児童館まつりのテーマ『みらい』に合わせ、読み聞かせのプログラムは宇宙やロボットの物語を中心に、手遊びやパネルシアターを交えて構成した。前年度は4回のおはなし会だったが今年度は、2回だったこともあり合計人数は減ったが、地域密着イベントとして、お互い協力し合い、情報交換を進めて行く。	2	
	⑦中央公園まつりに参加し、大型本、紙芝居等の読み聞かせを行います。	参加人数	人	152名 (-)	前年度は、当日雷雨により、中止だったが、今年度は、晴天の中、開催することができた。『中央公園まつり』にたくさんの入場者があり、盛り上がりも同時に行われていたため、子ども連れの親子からシニア世代の方々まで大賑わいだった。その中で、ブースを頂き、18時から30分おきに4回のおはなし会を行った。当館の認知を上げるには、良い機会だった。	4	
	⑧角筈地域センター「わいわい広場」へ参加し、わいわい紙芝居を行います。	参加人数	人	90名 (96名)	区民センター主催の「わいわい祭り」の一環として、「わいわい紙芝居」を実施した。開催中、図書館入口エレベーターホールに、児童のリサイクルコーナーを設置し、多くの方々に持って帰って頂いた。おはなし会参加者は、若干減ったが、ビル全体の施設が一つになり、盛り上がる重要な地域のイベントである。	2	
	⑨理科の実験教室を開催します。	参加人数	人	24名 (7名)	毎年実施しているイベントで、調べる学習コンクールの一環事業である。「紙おむつを使って芳香剤を作る」というテーマも非常に興味を抱かせたこともあり、参加者は、でき上がった芳香剤を嬉しそうに持ち、家のどこに置こうかなど話しながら帰っていかれた。	3	
	⑩読み聞かせ&絵本講座を開催します。	参加人数	人	20名 (37名)	殆どが乳児と保護者の参加で、親子で体を動かす等、実験形式の講座で、講師から子育てに関するお話や年代別に読むと良い絵本の紹介等、今年度は参加人数は減ったが、終了後も保護者から講師に個別の質問も多く出る程で、満足度の高い講座である。	2	
20学校等との連携	①「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ①地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レプリカを作成します。 ②調べる学習個別相談会 ③「百科事典の使い方」講座 ④ICCギャラリートour「メディアアートに触れよう!」	回数	回	②~④ 10回 (8回)	当館では6校を担当し、「角筈職員による小学校への出張授業」「調べる学習ガイダンス」「個別相談会」「百科事典の使い方講座」「ICCギャラリートour」等の企画を行った。館長賞3名、優秀賞2名、奨励賞4名を授賞した。以上の9名の作品は全国大会での審査の結果、高校の部において、当館から「文部科学大臣賞」の栄誉に輝いた。これで、当館から提出した作品が2年連続で、「文部科学大臣賞」を頂く快挙を成し遂げた。	4	
	②近隣小中学校等からの依頼に応じ、図書館見学、団体貸出や出張おはなし会を行います。	-	-	-	西新宿小学校からの図書館見学、中学生4校・高校生6校のボランティア、職場体験の受け入れ事業を実施した。団体貸出に関しては、近隣小学校、保育園、児童館、子ども園、子ども食堂等の利用が定期的であり、今年度新たに2団体の登録があった。出張おはなし会に関しては、児童館、子ども園、養護学校、その他保育園等で数多く実施した。	4	
	①図書館ホームページ内の「ビジネス情報」のページを充実します。	-	-	-	今年度は、特に大きな変更を行わず、前年度からの内容継続で、運営した。次年度は、新しい角筈図書館のビジネス情報に入れ替える予定。	2	
	①利用者用インターネットパソコンから閲覧可能なデータベースを利用者に広く周知し、活用できるように利用方法の案内を充実します。	-	-	-	今年度も図書館設置の利用者用インターネットパソコンより、利用者の希望に応じてデータベースの印刷を実施した。インターネットパソコンには、閲覧できる内容をファイリングし、操作手順と一緒に設置した。特に、中央図書館と当館でしか閲覧できない市場情報ナビ[MieNa]に関しては、読本を作成し、設置している。	2	
	VI 図書館環境の整備						
	28利用者満足度の高い図書館運営	①利用者の意向を的確に把握するため、アンケートを実施しニーズを分析し、今後の計画の参考にします。	-	-	-	今年度も12月に205名の利用者に対し、アンケートを実施した。老若男女平均的になるようにカウンター業務時に、職員が積極的にお声掛けを行ない、利用状況、要望等に答えて頂いた。それにより当館の強み、弱みの確認と問題点に対する対応を短中、長期的に分けて対応を進めている。	2
	29人材の育成・活用	①設定に応じた人材の確保と適正配置を行い、職員研修の受講を積極的に進め、その受講内容の情報共有を図ります。司書取得者の安定した確保も進めます。	-	-	-	設定に応じた人材の確保と適正配置を常に行い、1年間人員体制での問題はなかった。自治体、本社での職員研修の受講を積極的に進め、その受講内容についての情報共有も館内整理日、朝礼時等に職員間で進めた。	2
	30利用者の快適な環境づくり	①防災マニュアルを点検し、併設施設と合同防災訓練を行います。	-	-	-	6月に図書館職員全員による避難場所、消火器の場所の確認を行い、10月に区民センター全施設合同の自衛消防訓練に職員全員参加した。2月に一時滞在施設立ち上げ机上訓練を同じく区民センター全施設各代表で行い、その後、図書館職員全員で共有した。	2
		②書籍消毒機・アロマディフューザーを設置し、快適な読書環境を提供します。	回数	回	8,834回 (5,816回)	今年度も継続し、快適な利用と、資料の保全に役立っている。以前は、子供の為に書籍消毒機を使用する姿が多かったが、認知が上がり、老若男女と幅広く使用されている。今年度視覚からの居心地の良い空間作りを考え、図書館内に大小幾つものアートフワワーを設置した。利用者からは、「とても綺麗だ、これからも飾って欲しい」「非常に癒される」等、多くのお褒めのご意見を頂いた。	3

大久保図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量		実績	自己評価
				上段(30年度)	下段(29年度)		
I 区民に伝える図書館							
1資料の充実	①多文化図書コーナーの充実を図るとともに、書架表示は4か国語(日・英・韓・中)で各種案内を掲示します。	—	—	—	—	韓国(朝鮮)語、中国語、タイ語、タガログ語の本を購入。また、ネパール語、ペルシャ語、アラビア語などの本の寄贈を受け入れた。様々な言語の外国語資料を所蔵していることが広く知られるようになり、多言語の寄贈の申し入れが急激に増え、外国語資料が充実した。	2
	②区内大型書店での店頭ブックフェアと連動した企画展を実施します。	貸出点数	点	244	(73)	「クリスマスまであと何日?」「ゆくとし、くるとし」をテーマにした児童書の展示において、書店のブックフェアの情報を活用した。「クリスマス」は貸出冊数を大幅に増加させることができ、特に親子での貸出に繋がることができた。	3
2地域資料の充実	①新宿区や、近隣施設、図書館の作成した地域情報の冊子の設置及び、外国語版の区政情報を積極的に収集し、提供します。	—	—	—	—	地域情報はできるだけ幅広く収集し、わかりやすく設置をした。また、外国の方に対しては、分別ごみの出し方(10言語)、就労に関する情報(6言語)、消費生活トラブル注意喚起のチラシ(6言語)などを設置し、生活に役立つ情報の発信に努めた。また随時、日本語学習のための情報も発信した。	3
II 区民を支える図書館							
7利用者にわかりやすく役立つサービスの提供	①レファレンス事例集やパスファインダー、インターネットを利用した情報の検索手法等を学ぶ情報検索講習会を行います。	参加人数	人	8	(20)	今年度は、図書館での調べものリンクさせ、専門性を高めた。年配者で、パソコンやインターネットは初心者で、検索や調べ物には関心があるという方々が参加をされ、熱心にメモをとられるなど、大変好評であり、継続しての開催の要望もあった。	2
8外国人・障害者・高齢者に対する支援	①「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、検索等の補助など、図書館利用の工夫を行います。	—	—	—	—	筆談ボードを使用して、円滑なコミュニケーションをこころがけたり、リーディングボードを設置したりしている。家庭配本については、利用者と一緒に連絡をとることに努めている。	2
	②親子で参加できる外国語おはなし会を行います。	参加人数	人	56	(67)	近隣の日本語学校との協力でスウェーデン語、スペイン語、ドイツ語、中国語、タイ語、スウェーデン語、スペイン語、カタロニア語、英語で行った。読み聞かせのほかに、外国語の伝言ゲームや手遊びを披露したり、出身国の文化を紹介するなど、読み聞かせを通しての国際交流・国際友好の場となった。	2
	③多様な言語による「大久保スペシャルおはなし会」を行います。特に関連団体等との連携でフィリピン・タイ・ミャンマー等の言語での本の読み聞かせ等、多文化の事業を行います。	参加人数	人	80	(83)	「アラブのヤシの木」は、好評のため4年連続で開催している。アラブの民族衣装の試着、アラビア文字で名前を書くなど、アラブの文化に親子で触れる場となり大盛況だった。また、ペルシャ語のおはなし会を初めて開催したところ盛況だった。「コア・スクエア・ガーデン」も、毎年恒例となり、チマチヨリの試着などを行い、台湾や日本の方々の参加が多数あり、たいへんに喜ばれた。	3
	④大久保地域で生活する在日外国人とともに「地域資料・地域コンテンツコーナー」を設置します。	参加人数	人	368	(228)	夏に「エジプトアップリケ写真展」を、冬には「エチオピアの民話の絵画展」を開催した。いずれも、生活・文化を紹介する内容であり、日本では見ることができない内容の数々に、鑑賞する方が後を絶たず、好評だった。展示の最後尾には、感想コーナーを設けたが、様々な方々からの書き込みをいただいた。	4
	⑤中国語・韓国(朝鮮)語で対応が可能なスタッフを配置し、母語によるレファレンス対応を行います。	—	—	—	—	日本語が難しい方々へ案内内や書架の案内などを行い、図書館と利用者との距離を縮めることに大きく貢献した。特に、「やさしい日本語の本を読んでみませんか?」ビブリオバトル・国際・オオクボ」に、普段から熱意にしている利用者に参加をよびかけたり、外国の方々へのアンケートなども積極的に推進した。	3
	⑥「ポロニー子ども絵本展」等との連携で世界の国々の絵本をはじめ、多文化に関する展示を行います。	参加人数	人	474	(503)	板橋区と協力し「お国はどちら?地球です」とのタイトルで、「地球にくらす家族たち」&「スポーツは国境をこえて」の展示を行った。毎年実施しているが、言語はわからなくても、絵を目で追いつながりながら楽しんでいる親子の姿を多く見かけている。絵本を通して、外国の文化に触れる場となっている。	2
	⑦多文化サービスをすすめる団体である「むすびめの会」等多文化他機関との連携及び「多文化防災フェスタしんじゆく」等へ参加します。	—	—	—	—	「むすびめの会」等と連携し、多文化サービスの取り組みの発展につなげた。また、区主催の「多文化共生連絡会」に出席し、連携を強めている。その他「多文化防災フェスタ」や「ふれあいフェスタ」にも参加し、多言語の読み聞かせをはじめ、利用者の開拓に努めた。	2
	⑧日本語多読等による在日外国人の方の日本語学習の支援事業を行います。	参加人数	人	15	(41)	NPO団体と協力し、日本語を習得するためのサポートとして、ワークショップを開催した。参加者から好評が得られ、日本語教育の関係者の間でも関心が高まった。開催曜日を土曜に変更するなど、試行錯誤を重ねているが、より多くの外国の方々に周知していくかが課題である。	2
	⑨日本語学校、日本語教室等、日本語学習の機関・団体と連携し、図書館見学・利用案内、やさしい日本語での出張おはなし会や外国語の絵本の読み聞かせ等を行います。	—	—	—	—	日本語学校生の見学を受け入れ、図書館利用を促進した。また留学生にはおはなし会の企画に協力や、授業のなかで、「ビブリオバトル」を取り入れるようになった。当館で開催している「ビブリオバトル・国際・オオクボ」にも積極的に参加していただいた。	2
	⑩国際交流基金ライブラリー等と連携して、夏目漱石の特別展示を実施します。	参加人数	人	339	(95)	国際交流基金ライブラリーの協力により、「Around the World 特別展示」として、各国語に翻訳された漱石の作品を集めた「Soseki Natsume」展を実施した。様々な言語に翻訳された漱石は、日本が世界に誇ることができる作家との位置づけを行い、各国語に翻訳された作品の数々を目にして、足を止める方々が多かった。ロシア語が読める方、あるいはフランス語が読める方などが、当該する言語の本を熱心に見入っている姿などを見かけた。	3
9区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援	①地域センター主催「五月まつり」に参加し、「笑顔くれた大久保つつじ」を紹介しします。	回数	回	1	(1)	例年、つつじの花が咲く頃に開催される「五月まつり」ではおはなし会を行うが、「笑顔くれた大久保つつじ」の絵本の紹介と、読み聞かせを実施。地域の参加者に、「大久保つつじ」のアプリールを行い、普及に努めた。	2
	②地域の歴史の関連資料の展示やパネル展示を行います。	貸出点数	点	57	(—)	9月の一般図書展示で「東京再発見」というテーマで実施。地域資料の中から、多くの資料の展示を行い、地域資料の貸出につなげた。	2
III 区民が集う図書館							
12魅力あるイベントの実施	①大久保地域に関連した「新宿学」の講座や企画展示を行います。	参加人数	人	30	(28)	「神田上水と玉川上水」についての歴史講座を開催した。豊富な資料をもとに、丁寧でわかりやすい講座で、関心のある方々が参加をされ、たいへん好評だった。	2
	②地域住民の読書支援として「ビブリオバトル(知的書評合戦)」を開催します。	参加人数	人	32	(47)	今回で6回目の外国人と日本人とが一緒に参加してのビブリオバトルを開催した。近隣の日本語学校では、授業で取り入れ、今回は、外国の方4名(韓国、中国、台湾)、日本の方6名の参加があった。日本語教育関係の方々からも大きなご支援をいただき、「本を通しての国際交流」を強力に推し進めることができた。	2
	③暮らしに役立つ生活情報講座を開催します。	参加人数	人	20	(19)	発酵食品と甘酒の健康・効用に関する講座を行った。発酵の歴史やメカニズムを解説いただき、知識を深める内容となった。参加者からは、好評の声をいただいた。	2
	④「知る・楽しむ」をテーマとした新たな事業を実施します。	参加人数	人	98	(113)	シンガーソングライター、アーティスト、朗読のプロによるコンサートと朗読のライブを開催した。多く皆様のご要望に応え、毎年開催をし、毎回、大盛況で、好評の声をたくさんいただいている。	2
14情報の生産・発信・交流の支援	①図書館の事業内容の広報、図書館の活動報告などを載せた日本語版および外国語版の「図書館報」を発行します。	回数	回	4	(4)	4面仕様で、読書案内、イベントの紹介、実施したイベントの様子や内容を掲載したものを発行した。韓国語ダイジェスト版は、2面を韓国語に翻訳した。館内をはじめ、近隣の中学校、小学校、幼稚園、保育園等、区の施設や機関にも配布をして、図書館事業のアピールに努めた。過去1年に通って、バックナンバーがまとめて持ち帰られることもあり、必要に応じて増刷を行った。	2

大久保図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量 上段:30年度 (下段:29年度)	実績	自己評価
14情報の生産・発信・交流の支援	②来館した利用者の方への事業報告として「イベントニュース」を掲示します。	回数	回	5 (7)	「人形劇」「工作会」「めぐるみおとまり会」(絵本でセカイを広げるカイ)など、人気があり好評だったイベントをニュースとして紹介する記事を、図書館入口に設置した。情報発信に努めるとともに、参加をされた方々からも喜ばれ、リピーター参加者を生むことにも、大きくつながっている。	2
IV 子どもの成長を応援する図書館						
16新宿区子ども読書活動推進計画	①東京2020オリンピック・パラリンピックに関する展示コーナーの設置とバスファインダーを作成します。	貸出点数	点	36 (-)	9月に実施した中学生の職場体験で、中学生と一緒に、オリンピックをテーマにした展示コーナーを設置した。中学生の視点から展示資料を選定し、POPも中学生が作成をした。	2
	②子ども読書の日と読書週間に合わせた展示を行います。	貸出点数	点	95 (141)	「ことばのほんだな」「春がいっぱい」とのテーマで、新学期、季節にあわせた児童展示を実施した。親子で閲覧している姿を頻りに見かけた。展示資料の充実をはかり、貸出の増加につなげていきたい。	2
19区立図書館の利用促進	①児童向けに工作会・理科誌等を開催します。	参加人数	人	37 (25)	「アルミホイルできょうりゅうをつくろう!」を実施した。講師が丁寧にアドバイスをすることにより、参加者はコツをどんどん覚えて、自分で思い通りの恐竜をつくりはじめ、たいへんに盛り上がった。ほとんどが親子同伴の参加であり、父兄の方も夢中になって恐竜をつくれ、親子で楽しむことのできる充実した工作会となった。	2
	②「めいぐるみおとまり会」などの親子向け事業を実施します。	参加人数	人	17/10 (21/10)	たいへん好評につき、毎年行っているイベントである。親子と一緒に参加をしていただき、「写真をいつも傍に置いて大事にしている」というお声もいただいております。お子さんにとっては、かけがえのない思い出となっている。	2
	③人形劇を開催します。	参加人数	人	67 (86)	人形劇の進行中に、帽子や船、洋服など次々と形を変える新聞紙が出てきて、参加している父兄の方々からも驚きの声があがるなど、たくさんの方々に喜ばれ、好評をいただいた。終演後、人形との記念撮影に長い列ができた。	2
	④赤ちゃん連れの利用者が気兼ねなく利用できるよう、他の利用者の赤ちゃんの泣き声などに配慮していただく時間「赤ちゃんタイム」を設けます。	—	—	—	第2水曜日に「ちいさいおはなし会」を行っているが、そのタイミングにあわせて、「赤ちゃんタイム」を設けた。「赤ちゃんタイム実施」を明示した館内表示を行うことにより、気兼ねなく図書館を利用していたりようになった。更に「赤ちゃんタイム」に限らず、赤ちゃんを連れた利用者を頻りに館内で見かけるようになった。	2
20学校等との連携	①「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ①地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レプリカを作成します。 ②調べる学習個別相談会	参加人数	人	178 (251)	小学校3校、中学校1校の参加で、178作品と、多くの作品が集まった。うち館長賞が2作品、全国コンクールに出品、いずれも佳作に選出された。ほかに15作品が奨励賞となった。夏休み期間中は、随時、個別相談を受け付けた。また、外国籍の児童が多い小学校には、やさしい日本語で作成した案内と、韓国語と中国語で翻訳した案内も作成、配布。更に当該言語での作品提出を受け入れることもアナウンスし、窓口を広げることに努めた。	2
	②出張おはなし会や、図書館見学及び職場体験の受け入れ等、近隣の学校や、教育施設を支援します。	—	—	—	幼稚園への多言語出張おはなし会、館内での読み聞かせ、小学校での朝読読み聞かせ、ブックトーク、図書館見学、中学校の職場体験、高校の奉仕活動、大学・大学院生の図書館見学、多文化サービスの取材、日本語学校の図書館見学等、積極的に受け入れをし、学校支援、多文化サービスの情報発信に努めた。特に図書館見学の受入が大幅に伸びた。また、30年度は新たに保育園への多言語出張おはなし会を実施、子ども園の行事協力も行った	3
	③小中学生と協力してブックリスト・POPの作成や、展示コーナーを充実します。	回数	回	1 (1)	中学生の職場体験の一環として実施。展示をするための本の選択、おすすめ本のPOPの作成などに取り組み、初めての挑戦ながらアイデアを出し合い、充実した内容に仕上げることができた。	2
21絵本でふれあう子育て支援	①保健センターで3歳児検診および3~4か月児検診の幼児、保護者を対象に、絵本の読み聞かせを行います。	回数	回	24 (24)	東新宿保健センターでの0歳児健診と3歳児健診の際に、乳幼児への絵本の読み聞かせを実施し、子どもが絵本と触れ合う場を提供することに積極的に協力を行った。また外国のお母さん方には、多文化サービスの情報を発信した。	2
V ICTの利活用の推進						
24ICTのさらなる活用	①利用者用インターネットパソコンから閲覧可能なデータベースを利用者に広く周知し、活用できるように利用方法の案内を充実します。	—	—	—	新聞のデータベースを使用したレファレンスを随時受けている。特に過去の新聞の記事の閲覧を希望される方が増えている。またそのようなレファレンスを円滑に行うために、職員の研修を定期的に行い、レファレンスサービスの向上を図っている。	2
	②SNSで情報を発信します。	回数	回	1 (1)	指定管理事業者が管理しているインターネット上のサイトに「やさしい日本語の本を読んでみませんか?」のポスターを掲示する。日本語の習得に関心がある外国人を対象に、Facebookでのアクセスを可能にし、情報発信に努めた。	2
VI 図書館環境の整備						
28利用者満足度の高い図書館運営	①利用者の意向を的確に把握するため、アンケートを実施しニーズを分析し、今後の計画の参考にします。	—	—	—	毎年12月に実施しているアンケートでは、外国の方用に、ふりがなを施し、簡易な日本語に変換したアンケート用紙を使用し、外国の方のお声も積極的に吸い上げる努力をした。閲覧席の数に関するご意見ご要望は多く、できるだけ多くの方が、公平かつ平等に席が使用できるよう、館内の巡回を徹底している。その他のご要望にも可能な限りお応えをしている。イベントで実施しているアンケートでは、好評をいただいている。	2
29人材の育成・活用	①安定した人材の確保と配置を行い、職員研修の受講内容の情報共有を図ります。	—	—	—	人員の配置は、適切に業務が遂行できるように配慮をしている。一人一人の勤務時間も、偏りが生じていることがないように、役割分担をバランスよく均等にしている。多文化サービス実現と向上の為、中国語及び韓国・朝鮮語の堪能な職員(中国・韓国出身者)を配置した。この他にも英語の技能を有する職員も配置している。更に、日本語教育に関わるものも配置し、「日本語支援」の体制も厚くした。児童サービスの技能を持った職員の配置を厚くし、学校連携や調べる学習コンクール、児童向け企画といった事業に力を入れることができた。また、職員全員参加による接遇研修を行い、接遇のスキルアップに努めた。ほかに外部で実施している研修、講習、講座等にも積極的に参加をし、内容等の伝達も行い、情報共有を図った。研修内容も、多文化サービス、児童サービス、図書館運営、マネジメント、レファレンスに関する内容など多岐にわたった。	2
30利用者の快適な環境づくり	①空気清浄機、消臭剤、エアフレッシュナー及びアロマディフューザーを設置し、快適な読書環境を提供します。	—	—	—	空気清浄機は、常時稼働している。消臭剤は、館内の定点に設置しているが、必要に応じて、数量を増減させたり、位置を変動させ、快適な環境の維持に努めている。また、エアフレッシュナーの設置により、化粧室の美化にも努めている。アロマディフューザーは、設置以来、多くの方々から好評の声をいただいております。快適な読書環境を提供できている。	2
	②防災マニュアルを見直し、併設施設と合同防災訓練を行います。	—	—	—	特別出張所との合同での避難訓練に参加した。地震による火災の発生を想定して、避難訓練を行い、その後、「帰宅困難者一時滞在施設」として開設するまでの流れを、マニュアルの読み合わせをして、基本的な事項を確認した。なお、危機管理マニュアルは、随時確認をしている。	2

下落合図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量		実績	自己評価
				上段:30年度	(下段:29年度)		
I 区民に伝える図書館							
1資料の充実	①介護・高齢者支援をテーマにした常設展示を行います。	展示点数	点	1,246 (1,048)		高齢者の健康や生活、社会問題、そして介護職員のための実用的な資料などを積極的に収集し、200冊近く蔵書が増加した。また、関連パンフレットの収集・配布も行い情報提供に努めたほか、「認知症」や「熱中症」、「相続」など、時節を意識したテーマでバスファインダーを作成し、レファレンスツールの充実にも取り組んだ。	2
	②育児・家庭支援をテーマにした常設展示を行います。	展示点数	点	5,059 (4,780)		育児・家庭支援といった身近なキーワードでわけ、わかりやすい書架づくりを行った。また関連する育児・健康関連パンフレットを保健センターを始めとする関連施設より取り寄せ、情報提供に努めたほか、「産後鬱」や「乳がん」に関するバスファインダーを作成・配布することで、レファレンスツールの充実も図った。	2
	③2020東京オリンピック・パラリンピックに関する展示を行います。	展示点数	点	88 (80)		常設にて、オリンピック・パラリンピックの精神、学べるスポーツの本、アスリートの伝記、障害をテーマにしている本、我が国の伝統文化など、様々な観点から平昌オリンピック・パラリンピック開催から東京開催へ機運を高める展示を行った。	2
2地域資料の充実	①地場産業のひとつである染色業をはじめとし、地域に関する資料を収集し展示を行います。	展示点数	点	107 (-)		染色業、地場産業などを紹介する資料を収集し、コーナー作りを行った。特に、今年度より新たに林美美子や尾崎翠、佐伯裕三など「ゆかりの作家・芸術家」として、見出しわけをしてわかりやすい書架づくりを行ったほか、「目白文化村」をテーマとしたバスファインダーを作成・配布し、利用者より好評を頂くことができた。	2
	②地域ゆかりの「手塚治虫」「赤塚不二夫」に関する展示を行います。	展示点数	点	166 (148)		今年度は日本を代表する漫画家である両名の魅力を紹介した関連書籍も積極的に収集し、コレクションを充実することができた。また、その魅力を発信するために、昨年度に引き続きpepperを活用した紹介ができた。	2
	③新宿ゆかりの作家「夏目漱石」に関する特別展示を行います。	貸出点数	点	145 (108)		漱石山房記念館の開館一周年記念に合わせ、特別展示を実施した。期間中は、関連資料の展示のほかに、Pepperによる漱石作品の朗読コンテンツや、好きな夏目漱石の作品に投票してもらう参加型企画も行い、pepperの朗読コンテンツの利用回数が312回、作品投票参加者数は362名、資料貸出数は昨年度を約1.5倍上回るなど、多くの方々で多く利用者に夏目漱石の魅力を伝えることができた。	3
II 区民を支える図書館							
6区民の課題解決支援	①課題解決に役立つ、バスファインダーを作成します。	回数	回	8 (-)		主にイベントや企画展示などで取り扱うニーズの多いテーマを中心に、バスファインダーを作成・配布した。イベントや展示に合わせて配布を行うことで、多くの方に手に取ってもらうことができた。	2
7利用者にわかりやすく役立つサービスの提供	①館内案内図や書架情報など分かりやすいサインやチラシを作成し掲示します。	-	-	-		初めて来館しても理解できるように閲覧席用のデジタルサイネージや自動貸出機などの使い方を案内を新設した。また、開館情報などを掲示することで、利用に支障が出ないように心がけた。利用促進の目的で展示書架の移動を行った際は、掲示物や配布チラシで周知を行い、利用者の混乱を招かないよう配慮した。	2
8外国人・障害者・高齢者に対する支援	①「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に伴い、ユニバーサルデザインの筆談ボードやわかりやすい案内板を設置し、それらを活用したホスピタリティのあるコミュニケーションなどソフト面で図書館利用の工夫を行います。	-	-	-		筆談ボードやコミュニケーションボードを設置し、障害者や外国人利用者への配慮を行ったほか、リーディングトラックの使い方を案内を作成し設置した。そのほか、外国籍の方の利用が多く見込まれる閲覧席の利用方法などについては、英語と中国語の多言語版を作成し、外国人利用者への配慮も行うことでソフト面で図書館利用の促進に努めた。	2
	②館利用に障害がある方への利用援助や、家庭配本サービスによる訪問貸出・返却・レファレンス等、特に高齢者へは積極的な働きかけを行います。	-	-	-		ボランティアと連携した家庭配本や、スタッフ向けの手話研修に加え、今年度は高齢者がゆっくりと書架を閲覧できるようブラウジング用補助椅子の設置や、布給本を有効活用など図書館に来るのが楽しくなるような工夫を行った。	2
III 区民が集う図書館							
12魅力あるイベントの実施	①ファイナンシャルプランナーや医療関係の専門家をお招きし、知っておくと暮らしに役立つ「図書館で行う介護・高齢者支援セミナー」を開催します。	参加人数	人	29 (42)		ファイナンシャルプランナーによる相続セミナーや、高齢者支援センターと連携した認知症サポーター養成講座を開催した。昨年度に比べ参加者数が減少した点については残念だが、講座を奨励し6名が高齢者支援センターのボランティア登録していただけるなど、区民同士をつなげるきっかけを提供することができた。	2
	②幅広い年齢層で行う体験型ワークショップ「ワールドカフェ」(※)を開催します。(※)(※)テーマに対し、意見を出し合ってから考え、わかりやすく情報をまとめ直し、より深く理解する参加型グループワークです。	参加人数	人	28 (25)		「未来の食」や「宇宙と生命の可能性」をテーマとしたワークショップを開催した。小学生から60代までの幅広い世代の参加者が、一緒に自由な意見交換するワークショップは、学校等では味わえない「知識の世代間交流」であり、若者男女が集まる図書館ならではのイベントとして、子どもと大人、双方にとって知的好奇心と学習意欲を刺激するよい機会を提供することができた。	2
	③医療関係者など専門家をお招きし、子育てに役立つ「図書館で行う子育て・家庭支援セミナー」を開催します。	参加人数	人	34 (56)		保健センターや子育て支援員養成講座でも教鞭を執られた専門家による講座を開催した。今年度は参加する親子がゆったりと安心して参加できることを意識し、少人数制のものを選んだ結果、昨年度より参加者数は減少したが、親子が一緒に参加するワークショップを盛り込んだことで、より実践的な知識を提供することができ、参加者からの満足の声を多くいただくことができた。	2
	④夜の時間帯に行う「アカデミアナイト」を開催します。	参加人数	人	73 (42)		昨年度より回数を増やして開催した。毎月色々の違うイベントを揃えることで、多角度から「自分磨き」や「スキルアップ」のきっかけを提供することができ、また、どの日も大変ご好評だった点で、利用者の知的好奇心を刺激し、生涯学習の支援につながる機会を提供できた。	2
	⑤映画上映会「下落合シネマ」を開催します。	参加人数	人	154 (191)		昨年度より回数を減らして開催した。トータル参加者数は減少したものの、バリアフリー映画など上映作品を厳選し、メッセージ性が強く、赴き深い作品を上映したことで、毎回ほぼ定員の参加があった。会場設営方法や児童向けの映画会にあわせて作成する関連資料リストなども好評で、次回開催を待ち望む声も多くあるため今後も定期的な開催と作品の選定に力を入れていきたい。	3
	⑥「図書館で行う行政書士無料相談会」を開催します。	参加人数	人	23 (-)		区民や利用者が、法律や制度に関する不安や悩みを、安心して相談できる機会と場の提供を目指し、行政書士による個別の無料相談会を月1回開催した。開始当初は参加者が少なかったが、次第に受付開始から即募集定員に達する好評ぶりだった。相談内容は主に相続に関するものが多く、高齢者とその家族に対する支援にもつながる機会を提供できた。	3
	⑦下落合寄席を開催します。	参加人数	人	32 (33)		下落合図書館の開館記念恒例行事と3月10日「東京都の平和の日」を合わせた寄席を開催した。平和を願い、笑って過ごせる喜びを参加者全員で分かち合った点で、大変有意義なものとなった。	2
	⑧オープンスペースを生かし、プロ演奏者によるスプリングコンサートを開催します。	参加人数	人	45 (65)		春の恒例イベントとして、図書館の特徴のひとつであるオープンスペースを開放したコンサートを計画した。しかし、当日の天候不良のため、室内開催への変更を余儀なくされた。そのため、収容人数が制限されたにもかかわらず、大きなトラブルもなく、幅広い年齢の方に生の演奏を楽しんでいただくことができた。	2
	14情報の生産・発信・交流の支援	①新宿区立図書館4館(戸山・鶴巻・角筈・下落合)連携グローバル展示を行います。下落合図書館は、海外の子育て・教育などを紹介します。	貸出点数	点	202 (-)		区内図書館4館による合同展示を行った。当館では、世界各国の子育て事情を紹介する関係資料や自作の動画をプロジェクトナーにて放映、さらに関係機関よりパンフレットを収集して展示した。展示資料の回転率は38%と非常に高く、また、テーマごとに作成した解説付きブックリストもご好評頂き、地域館同士でよい連携を行うことができた。
②平和・戦争について考える契機となる図書収集と展示、関連行事を行います。		①貸出点数 ②読書会参加人数 ③おはなし会参加人数 ④目録配布数	①点 ②人 ③人 ④点	①203 (90) ②30 (18) ③23 (14) ④116 (25)		新宿区の平和事業に合わせ「物語に描かれた戦争と平和」というテーマで展示を行った。関連事業としては、平和映画会、平和おはなし会なども開催したほか、年代別にまとめた平和図書目録の配布数は、116冊と昨年度を大きく上回る結果となった。またPepperにて新宿区立図書館各館の平和事業の取り組みについても紹介し、図書館利用を通じて平和について考えるきっかけを提供することができた。	4

下落合図書館サービス計画

基本方針	提案事業	指標	単位	数量 上段:30年度 (下段:29年度)	実績	自己評価	
IV 子どもの成長を応援する図書館							
16	新宿区子ども読書活動推進計画	①図書館を知ってもらい楽しんでもらう「こども司書認定講座」を行います。	参加人数	人	13 (11)	「OPACを知って“Pepperくん”からの謎を解こう！」と「作ろう！ボクらの図書館MAP」と題し、謎解きゲームを開催した。子ども読書推進計画の「子ども読書リーダー講座」に該当する事業として、参加した子ども達に楽しく図書館の仕組みを理解してもらうことができた。	2
18	読書活動への支援	①川と自然に囲まれた地域の特徴を生かし、館内に水槽を設置し、「生物多様性の展示」を通じて生物多様性の理解や、調べ学習を支援します。	資料点数	点	72 (70)	地域の特徴と館内のビオトープを生かし、子ども大人も生物多様性への理解を深める取り組みを行った。地域の生態系について実物と図書を絡めることで、子ども達の生き物への興味を増進することができ、調べ学習への支援ができた。	2
19	区立図書館の利用促進	①子ども読書週間に合わせ、オープンスペースを活用し日本芸能の1つ「かみしばい」を行います。	参加人数	人	62 (61)	読書推進週間に合わせプロの紙芝居士による街頭紙芝居の公演を行った。当日は晴天にも恵まれ、親子のほか、音を懐かしむ大人の方まで昨年を超える幅広い年齢層に参加して頂くことができた。	2
		②多言語や季節に応じ楽しくおこなう「スペシャルおはなし会」を開催します。	参加人数	人	197 (130)	目白大学の児童教育学科の学生と連携した「スペシャルおはなし会」を開催した。昨年度を大きく上回る方が参加され、子ども達に聞くだけでなく、体を動かしながら能動的に国際語である英語を使って楽しみ、文化に触れる機会を提供できた。また、同じ年代を持つ保護者の方向士の交流のきっかけにもなった。	3
		③創造と作る喜びを感じる親子で楽しめる工作会を行います。	参加人数	人	30 (45)	牛乳パックや空き瓶など、身近にある材料を利用し、親子で楽しめる工作会を2回開催した。昨年度より参加人数は減少した点は残念ではあるが、親子、特に父親と子どもがコミュニケーションをとる良い機会なので、来年度も継続して開催していきたい。	2
		④科学に関する参加型イベントを開催します。	参加人数	人	45 (43)	夏休みの調べ学習支援に合わせ、JAXAの専門家と、神奈川県立生命の星・地球博物館の学芸員による講座を開催した。両講座ともに単なる講義に終始せず、ワークショップを取り入れたことで、大変好評を頂けた。また、それぞれのテーマに合わせ展示した関係資料も多く貸し出され、子ども達の自主的な学びを促す活動ができた。	2
		⑤業界の方に聞く「夢を叶えよう講座」を行います。	参加人数	人	6 (28)	新聞編集者を講師とし、新聞の見出しの作り方や構成の仕方などのワークショップを通じ、物事への多角的で深い見方について学びきっかけとなった。参加者から講師への質問も多く、充実した内容になったが、周知活動が弱く、参加者が昨年度を大きく下回る結果となった。将来を考える中高生が様々な業界と触れ合う良い機会だと思いうので、次回は地域の学校などへ積極的に広報を行って行きたい。	1
⑥親子で楽しめる人形劇を開催します。	参加人数	人	80 (55)	昨年度の参加者層から幼児の参加が多く見込まれたため、演目を幼児向けとし、落合第一出張所ホールに会場を変更して開催したが、大きなトラブルはなく、参加者には満足頂けた。また、参加者には図書館紹介を兼ねた手作りオリジナルおりを配布することで、その後の図書館利用を促す工夫も行った。	3		
20	学校等との連携	①「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」関連事業を行います。 ②地域の学校に対し作品応募の勧誘と支援を行い、レプリカを作成します。 ③調べる学習ガイダンス ④調べる学習個別相談会 ⑤「百科事典の使い方」講座	①応募点数 ②～④参加人数	①点 ②～④人	①321 (325) ②20 (27) ③12 (13) ④6 (7)	①昨年度不参加だった担当校4校の参加があった。作品応募点数は、前年度とほぼ同数だったが、何れも内容の濃い作品が多く、事業の成功へと繋げる活動となった。 ②調べる学習の進め方のガイダンスを開催した。講座内容を繰り返し確認する子どもの姿や、熱心に確認する保護者の姿が印象的で、生涯学習に繋がる調べ学習の大切さを伝えることができた。 ③8月14日～8月24日の毎日、「調べる学習相談week」として相談会を実施した。事前に開催した全3回のガイダンスのフォローアップができた。 ④夏休み期間に百科事典の引き方や調べ方をクイズ形式で楽しみながら学ぶ子ども向け講座を開催した。参加者は、クイズを通じて辞典を反復的に活用することで、使い方のコツをつかみ、自信を付けさせることができたほか、レファレンスも積極的に活用していた。	2
21	絵本でふれあう子育て支援	①親子で楽しめる「おはなし会」を開催します。	参加人数	人	780 (769)	月の半分のおはなし会をボランティアと連携して行うことで、区民の活躍の場を提供する事ができた。当館の特徴として、乳幼児とその保護者の参加が多いことから、来年度はそれらの世代に向けた取り組みを行うとともに、少し上の年代の子供の読書推進につながる取り組みも積極的に行っていきたい。	2
		②落合保健センターで3～4か月児健診および3歳児健診の幼児、保護者を対象に、おはなし会、図書館の利用案内等、ブックスタート事業を行います。	参加人数	人	788 (869)	3歳児健診、および3～4か月児健診への立会い、ボランティア管理及び出張お話を実施するとともにブックスタートの支援を行った。	2
V ICTの利活用の推進							
24	ICTのさらなる活用	①「Pepper」を活用し、利用案内の他、最新の展示、図書館行事や地域の情報をお伝えいたします。	—	—	—	案内ロボットの「pepper」を活用し、利用者自ら基本情報や新規情報を得られるように随時工夫を行った。職場体験の中学生や図書館実習生によるおすすめ図書紹介や、地域の作家・夏目漱石の作品朗読コンテストなど、それぞれの事業を盛り上げる一役を担うことができた。	2
		②テーマ別に製作した展示を映像化し、プロジェクターによる投影で誰でも閲覧できるようにします。	回数	回	4 (5)	主として一般企画展示で取り扱ったテーマに関する動画スライドを作成し、放映を行った。プロジェクターの故障により昨年度より放映タイトルは減ったものの、ビジュアル面で展示のアピールすることができた。	2
VI 図書館環境の整備							
28	利用者満足度の高い図書館運営	①利用者の意向を的確に把握するため、イベントアンケートなどを実施しニーズを分析し、今後の満足度向上への参考にします。	—	—	—	イベント開催時のアンケートや利用者満足度調査アンケートに加え、ご意見箱やカウンター、フロアなど直接を含め頂いた意見を記録し、関係各部への報告を適切に行うと同時に改善に役立てた。利用者満足度調査にて職員の接客満足度が5ポイント向上した。	3
29	人材の育成・活用	①安定した人材確保と適正配置を行い、子育てや介護を含めた充実した研修でスキル向上を図り、その受講内容の情報共有を図ります。	—	—	—	館内にて実施の個人情報管理研修をはじめ、館外研修を計画的に受講させ、専門スキル及びサービススキルの向上に努めた。子育て支援については区の「子育て支援員養成講座」を2名が受講し、介護・高齢者支援については、認知症患者やその家族などが抱える悩みなどの情報を積極的に収集し、情報共有することで、スタッフ全員が日常業務に反映してサービスを展開することができた。	3
30	利用者の快適な環境づくり	①集中力の向上やリラックス効果のある音響機材を設置した閲覧席や書籍消毒機、アロマディフューザーを設置し快適な読書環境を提供します。	—	—	—	書籍消毒機の設置に加え、図書館入口にリラックス効果の高い天然アロマの香りを噴霧するアロマディフューザー設置、階段の高い書架には緑のプランターフェイクを置くなどをし、利用者満足度調査にて83%の満足度を頂くことができた。	2
		②デジタルサイネージによる読書管理システムを導入し、公平かつ利便性の高い閲覧スペースを提供します。デジタルサイネージには利用案内も表示します。	—	—	—	利用登録や来館状況から外国人による利用が多く見込まれたため、英語や中国語の利用案内を新たに作成するとともに、アプリケーションに修正を加えるなど、利用者の利便性を向上する取り組みを行った。また、必要に応じてフロア巡回をし、システム自体の浸透を促し、初年度に比べてトラブルを減らすことができた。	2
		③防災マニュアルを点検し、館内整理日に防災訓練を行います。	—	—	—	消防計画などを必要に応じて修正し、スタッフ間で共有をおこなった。避難訓練に関しては、「火災」と「地震」のそれぞれのパターンを想定して行ったほか、AEDの使用法について再確認した。また、停電時やシステム障害時の対応を中心に確認し、偶然発生した3月のシステム障害時にもあわせてことなく、適切な行動をとることができた。	2

参考：アンケート用紙

**レファレンス(調べ物のお手伝い)サービス
満足度アンケートにご協力をお願いします**

図書館では、情報や資料を求めている方に、図書館員がそれらを提供して支援することを「レファレンス」と言います。このアンケートはサービス向上を図るために行っています。

Q1.これまでに新宿区立図書館でレファレンスを利用したことはありますか？ (いずれかに○をつけてください)

ある (Q2へ進む) ない (Q4へ進む)

Q2.(Q1で「ある」と答えた方) サービス内容(相談窓口のわかりやすさ、利用しやすさ、対応の仕方等)はいかがでしたか？ (いずれかに○をつけてください)

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
5	4	3	2	1

Q3.(Q1で「ある」と答えた方) あなたの質問に対する回答内容、的確さ等はいかがでしたか？ (いずれかに○をつけてください)

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
5	4	3	2	1

Q4.レファレンスサービスに関するご意見やご感想があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。

新宿区立図書館